



GT-6

GUITAR EFFECTS PROCESSOR

取扱説明書

このたびは、BOSS ギター・エフェクツ・プロセッサ GT-6 を
お買い上げいただきまして、ありがとうございます。

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に

- ・安全上のご注意 (P.2 ~ 3)
- ・使用上のご注意 (P.4)

をよくお読みください。

また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、この
取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐ
に見ることができるよう、手元に置いてください。

■ 文中の表記について

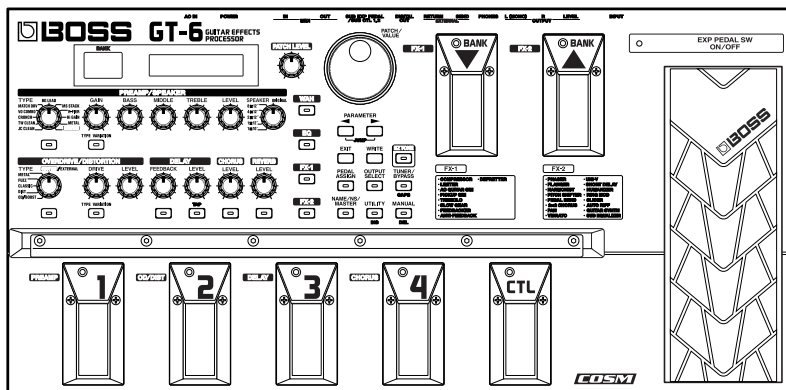
- [] で囲んだ英字／数字は、パネル上のボタンを表します。
[WRITE] WRITE ボタン
[UTILITY] UTILITY ボタン
- 文中の (P.***) は、参照ページを示しています。

※ MIDI は社団法人 音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

※ 文中記載の会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

2001 © ボス株式会社

本書の一部、または全部を無断で複写・転載することを禁じます。



取扱説明書の英語版 (有料) をご希望の方は、販売店にお問い合わせください。
If you should require an English Owner's Manual (at a modest fee), please
contact an authorized Roland distributor.

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

⚠ 警告と ⚠ 注意の意味について

 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表わしています。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表わしています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表わしています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表わしています。 具体的な注意内容は、△の中に描かれています。 左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表わしています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表わしています。 具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。 左図の場合は、「分解禁止」を表わしています。
	●は、強制（必ずすること）を表わしています。 具体的な強制内容は、●の中に描かれています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

警告

- この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。



- この機器および AC アダプターを分解したり、改造したりしないでください。



- 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。



- 次のような場所での使用や保存はしないでください。



- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 雨に濡れる場所
- ホコリの多い場所
- 振動の多い場所



- この機器を、ぐらついた台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。



- AC アダプターは、必ず付属のものを、AC 100 V の電源で使用してください。



警告

- 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。



- この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。



- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。



- 次のような場合は、直ちに電源を切って AC アダプターをコンセントから外し、お買い上げ店またはローランド・サービスに修理を依頼してください。



- AC アダプター本体、電源コード、またはプラグが破損したとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

⚠ 警告

- お子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。⚠

- この機器を落したり、この機器に強い衝撃を与えないでください。⊘

- 電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。⊘

- 外国で使用する場合は、お買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。⚠

⚠ 注意

- この機器と AC アダプターは、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。⚠

- AC アダプターを機器本体やコンセントに抜き差しするときは、必ずプラグを持ってください。⚠

- 長時間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから外してください。⚠

- 接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。⚠

- この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。⊘

- 濡れた手で AC アダプターのプラグを持って、機器本体やコンセントに抜き差ししないでください。⊘

- この機器を移動するときは、AC アダプターをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。⚠

- お手入れをするときには、電源を切って AC アダプターをコンセントから外してください (P.12)。⚠

- 落雷の恐れがあるときは、早めに AC アダプターをコンセントから外してください。⚠

使用上のご注意

2～3 ページに記載されている「安全上のご注意」以外に、次のことに注意してください。

電源について

- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きな機器とは、別のコンセントを使用してください。
- AC アダプターを長時間使用すると AC アダプター本体が多少発熱しますが、故障ではありません。
- 接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。

設置について

- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- 故障の原因になりますので、雨や水に濡れる場所で使用しないでください。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、強く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

修理について

- お客様がこの機器や AC アダプターを分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合があります。
- 修理に出される場合、記憶した内容が失われることがあります。大切な記憶内容は、他の MIDI 機器（シーケンサーなど）に保存するか、記憶内容をメモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、または最寄りのローランド・サービスにご相談ください。

メモリー・バックアップについて

- 本体内には、電源を切った後も記憶した内容を保持するための電池を装備しています。電池が消耗してくると、ディスプレイに次のように表示されます。電池が消耗すると記憶した内容が失われますので、早めに交換してください。交換するときは、必ずローランド・サービスに相談してください。

Battery Low !

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などにより、失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップとして他の MIDI 機器（シーケンサーなど）に保存しておいてください。
- 本体メモリーの失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は、音量に十分注意してください。ヘッドホンを使用すれば、気がねなくお楽しみいただけます。
- 輸送や引っ越しをするときは、この機器が入っていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの（別売：EV-5 または FV-300L）をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。
- 接続には、当社ケーブル（PCS シリーズなど）をご使用ください。他社製の接続ケーブルをご使用になる場合は、次の点にご注意ください。
 - 接続ケーブルには抵抗が入ったものがあります。本機との接続には、抵抗入りのケーブルを使用しないでください。音が極端に小さくなったり、全く聞こえなくなる場合があります。ケーブルの仕様につきましては、ケーブルのメーカーにお問い合わせください。

目次

安全上のご注意	2
---------	---

使用上のご注意	4
---------	---

主な特長	7
------	---

各部の名称と働き	8
----------	---

フロント・パネル	8
----------	---

リア・パネル	11
--------	----

第 1 章 音を出してみよう	12
----------------	----

接続のしかた	12
--------	----

電源を入れる	13
--------	----

出力レベルを調節する	13
------------	----

電源を切る	13
-------	----

接続する機器（アンプ）を設定する （アウトプット・セレクト）	14
-----------------------------------	----

パッチとは	15
-------	----

パッチの切り替えかた（パッチ・チェンジ）	15
----------------------	----

本体操作によるパッチの選びかた	15
-----------------	----

ナンバーだけを切り替える	15
--------------	----

バンクとナンバーを切り替える	16
----------------	----

ディスプレイの表示について	16
---------------	----

パッチが切り替わらないときは	16
----------------	----

第 2 章 好みの音色（パッチ）を作ってみよう	17
----------------------------	----

イメージに近い音色を探す（EZ トーン）	17
----------------------	----

各つまみによって音色を調節する	17
-----------------	----

エフェクトを加える	18
-----------	----

エフェクトの音色を設定する （クイック・セッティング）	19
--------------------------------	----

個々のパラメーターでより細かく設定する	19
---------------------	----

ペダル・エフェクト （ワウ、ペダル・ベンド）を使用する	20
--------------------------------	----

ワウ	20
----	----

ペダル・ベンド	20
---------	----

音色に名前をつける	21
-----------	----

エフェクトの順序を入れ替える （エフェクト・チェイン）	21
--------------------------------	----

第 3 章 作った音色を記憶させる	22
-------------------	----

ライト	22
-----	----

パッチをコピーする	22
-----------	----

パッチを入れ替える	23
-----------	----

第 4 章 エフェクトの紹介	24
----------------	----

PREAMP/SPEAKER （プリアンプ／スピーカー・シミュレーター）	24
---	----

OVERDRIVE/DISTORTION （オーバードライブ／ディストーション）	27
---	----

DELAY（ディレイ）	28
-------------	----

CHORUS（コーラス）	29
--------------	----

REVERB（リバーブ）	29
--------------	----

WAH（ワウ）	30
---------	----

■ WAH（ペダル・ワウ）	30
---------------	----

■ AW（オート・ワウ）	31
--------------	----

■ FW（フィックスド・ワウ）	31
-----------------	----

EQ（イコライザー）	32
------------	----

FX-1	32
------	----

■ CS（コンプレッサー）	33
---------------	----

■ LM（リミッター）	33
-------------	----

■ AC（アコースティック・ギター・シミュレーター）	33
----------------------------	----

■ PIC（ピックアップ・シミュレーター）	33
-----------------------	----

■ TR（トレモロ）	34
------------	----

■ SG（スロー・ギア）	34
--------------	----

■ FB（フィードバック）	34
---------------	----

■ AFB（アンチ・フィードバック）	35
--------------------	----

■ FRT（デフレッター）	35
---------------	----

FX-2	35
------	----

■ PH（フェイザー）	37
-------------	----

■ FL（フランジャー）	38
--------------	----

■ HR（ハーモニスト）	38
--------------	----

■ PS（ピッチ・シフター）	39
----------------	----

■ PB（ペダル・ベンド）	40
---------------	----

■ 2CE（2x2 コーラス）	40
-----------------	----

■ PAN（パン）	40
-----------	----

■ VB（ビブラート）	41
-------------	----

■ UV（ユニ V）	41
------------	----

■ SDD（ショート・ディレイ）	41
------------------	----

■ HU（ヒューマナイザー）	41
----------------	----

■ RM（リング・モジュレーター）	42
-------------------	----

■ SL（スライサー）	42
-------------	----

■ AR（オート・リフ）	42
--------------	----

■ SYN（ギター・シンセ）	43
----------------	----

■ SEQ（サブ・イコライザー）	45
------------------	----

NS（ノイズ・サプレッサー）	45
----------------	----

MASTER（マスター）	46
--------------	----

FV（フット・ボリューム）	46
---------------	----

第 5 章 エクスプレッション／CTL ペダルを 使うための設定 (ペダル・アサイン) 47

エクスプレッション・ペダルを使うための設定 47

エクスプレッション・ペダル・スイッチ／
CTL ペダルを使うための設定 47

時間をかけずに設定をする
(クイック・セッティング) 47

「クイック・セッティング」の設定を修正する 48

本体ペダル／外部ペダル／外部 MIDI 機器で
エフェクトをコントロールする 49

外部エクスプレッション・ペダルで、フット・ボリューム／
ワウ／ピッチ・ベンドをコントロールする 52

第 6 章 カスタマイズ機能を使う 53

プリアンプの「カスタム」を設定する 53

オーバードライブ／ディストーションの
「カスタム」を設定する 54

ペダル・ワウの「カスタム」を設定する 55

第 7 章 GT-6 の便利な機能 56

パッチの音量を素早く調節する
(PATCH LEVEL つまみ) 56

各エフェクトをペダルでオン／オフさせる
(マニュアル・モード) 56

マニュアル・モードに切り替える 56

ペダルでオン／オフさせるエフェクトを選ぶ 56

マニュアル・モードでプリアンプの音色を比較する 57

ギターをチューニングする 57

チューナー／バイパス機能をオンにする 57

チューニング時の表示について 57

チューニングのしかた 58

チューナーの設定を変える 58

ナンバー・ペダルで

チューナー／バイパスをオン／オフする 59

使用環境に応じて全体の音質を調節する
(グローバル) 59

外部エフェクターを使う 60

デジタル・アウトを使う 60

エフェクトの出力レベルをレベル・メーターで確認する 60

第 8 章 その他の機能 61

ディスプレイのコントラストを調節する
(LCD コントラスト) 61

PATCH/VALUE ダイアルの動作を設定する
(ダイアル・ファンクション) 61

パッチ切り替えのタイミングを設定する
(パッチ・チェンジ・モード) 61

切り替え可能なバンクを限定する
(バンク・エクステント) 61

「エクスプレッション・ペダル・ホールド」を
設定する 62

つまみの動作を設定する (ノブ・モード) 62

外部フット・スイッチの使いかたを設定する
(SUB CTL1, 2 ファンクション) 63

第 9 章 MIDI の使いかた 64

MIDI で何ができるのか 64

MIDI に関する機能を設定する 65

MIDI データを送受信する 67

外部 MIDI 機器にデータを送信する
(バルク・ダンプ) 67

外部 MIDI 機器からのデータを受信する
(バルク・ロード) 68

プログラム・チェンジ・マップを設定する 69

プログラム・チェンジ・マップの設定を
有効／無効にする (MIDI マップ・セレクト) 69

資料 70

MIDI について 70

MIDI 情報のやりとり 70

GT-6 で扱う主な MIDI 情報 70

MIDI インプリメンテーションについて 71

バンク・セレクト情報を利用した パッチの切り替え 72

GT-6 から
外部 MIDI 機器のパッチ・ナンバーを切り替える 72

外部 MIDI 機器から
GT-6 のパッチ・ナンバーを切り替える 73

工場出荷時の設定 74

工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット) 74

故障と思う前に～ ちょっとお調べください 75

エラー・メッセージ 76

MIDI インプリメンテーション・チャート 77

主な仕様 78

索引 80

エクスプレッション・ペダルの調整 82

主な特長

最強の歪み COSM アンプ & COSM オーバードライブ／ディストーションを搭載

より進化した COSM アンプと COSM オーバードライブ／ディストーションという組み合わせにより、最強の歪みを演出することができます。

COSM ワウ搭載

ビンテージ・ワウをはじめ 5 種類のタイプを持つ新開発の COSM ワウにより、さまざまなワウ・サウンドを演出することができます。

カスタマイズ機能

カスタマイズ機能の搭載により、「プリアンプ」「オーバードライブ／ディストーション」「ワウ」では、ユーザー自らがエフェクターを設計する感覚で設定を細かく変更し、「カスタム」の設定として本体に記憶させることができます。

EZ（イージー） トーン

音作り用に、代表的な音色を 30 種類搭載。簡単に好みの音を選ぶことができます。

クイック・セッティング

各エディット機能には、あらかじめプリセット・セッティングが記憶されています。使用する機能（エフェクト）のプリセット・セッティングを選ぶだけで簡単に好みのエフェクト音を作り出すことができます。

つまみによる直感的な操作系

主な内蔵エフェクトのパラメーターには、専用のつまみを装備。演奏中でも、リアルタイムに設定を変えることができます。

プロ・ユース・クオリティー

スタジオ機器並の高品位リバース、ディレイをはじめ、新開発のデフレッター、ユニ V まで、プロ・ユース・クオリティーのエフェクトを 37 種類搭載しています。

エクスプレッション・ペダル／エクスプレッション・ペダル・スイッチとコントロール・ペダルを装備

パッチごとに機能設定が可能なエクスプレッション・ペダルとコントロール・ペダルを装備しています。1 つのエクスプレッション・ペダルを、パッチによってワウ・ペダルやボリューム・ペダルなどに使い分けることができます。

さらにエクスプレッション・ペダルについては、つま先部分を強く踏み込むことによってコントロール可能な「エクスプレッション・ペダル・スイッチ」を使うことができます。

デジタル・アウト装備

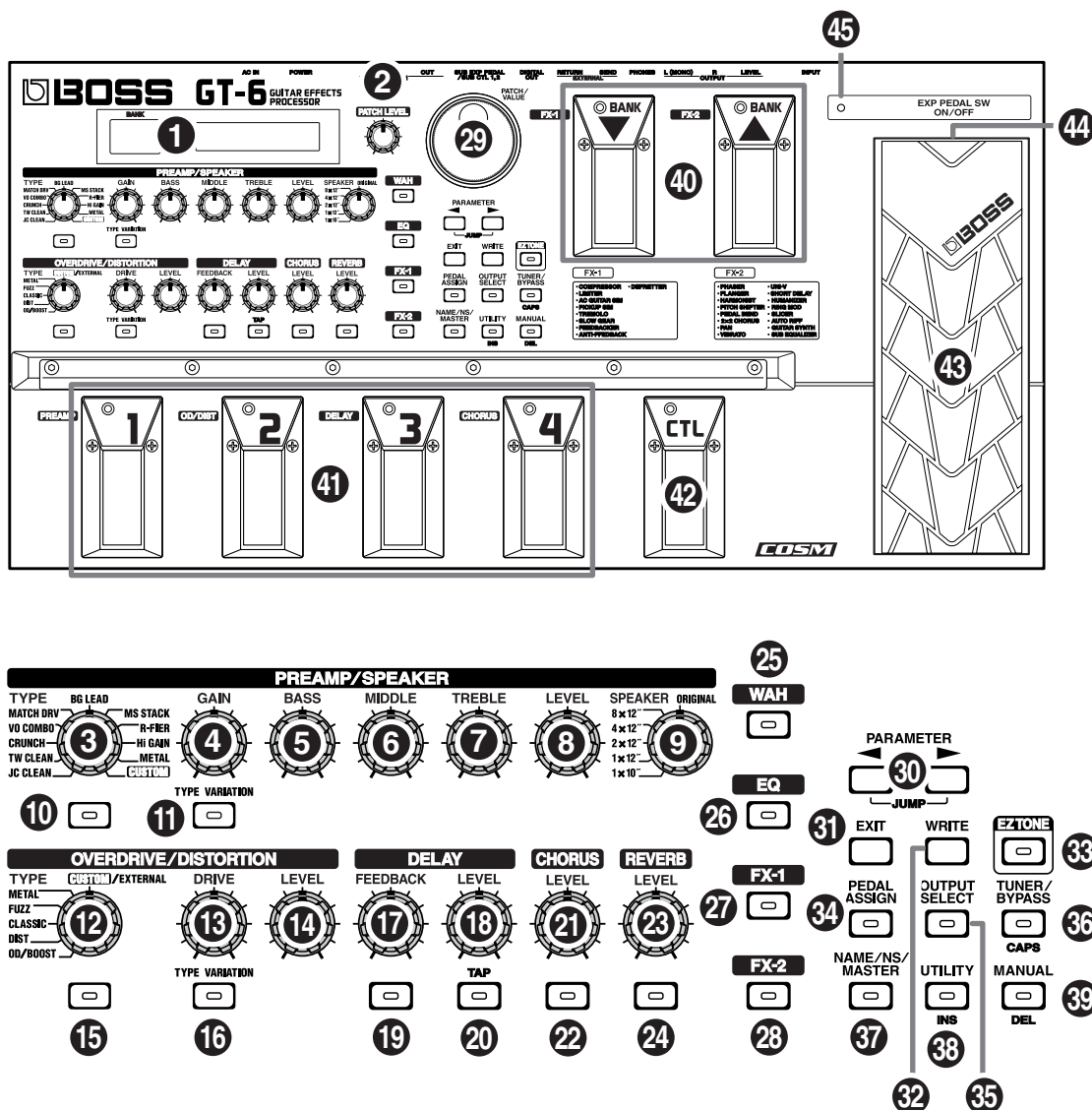
デジタル・レコーディングに便利な、デジタル・アウト端子（コアキシャル）を装備しています。

COSM（Composite Object Sound Modeling）

COSM とは、電気回路や構造、素材など、音に影響する様々な要素を解析し、それらを組み合わせて再構築していくローランド独自のモデリング技術です。

各部の名称と働き

フロント・パネル



1 ディスプレイ

GT-6 のいろいろな情報を表示します。左側のディスプレイは、バンクのナンバーを表示します。

2 PATCH LEVEL (パッチ・レベル) つまみ

現在選ばれているパッチの音量を調節します。

■ PREAMP/SPEAKER (P.24) (プリアンプ/スピーカー・シミュレーター)

3 TYPE (タイプ) つまみ

プリアンプの種類を選びます。

4 GAIN (ゲイン) つまみ

プリアンプの歪み感を調整します。

5 BASS (ベース) つまみ

プリアンプの低音域の音質を調節します。

6 MIDDLE (ミドル) つまみ

プリアンプの中音域の音質を調節します。

7 TREBLE (トレブル) つまみ

プリアンプの高音域の音質を調節します。

8 LEVEL (レベル) つまみ

プリアンプの音量を調節します。

9 SPEAKER (スピーカー) つまみ

スピーカーの種類を選びます。

10 PREAMP/SPEAKER オン／オフ・ボタン

設定を変えるときに押します。

11 TYPE VARIATION (タイプ・バリエーション) ボタン

タイプのバリエーションを切り替えます。

**■ OVERDRIVE/DISTORTION (P.27)
(オーバードライブ／ディストーション)****12 TYPE (タイプ) つまみ**

オーバードライブ／ディストーションの種類を選びます。

13 DRIVE (ドライブ) つまみ

オーバードライブ／ディストーションの歪み感を調整します。

14 LEVEL (レベル) つまみ

オーバードライブ／ディストーションの音量を調節します。

15 OVERDRIVE/DISTORTION オン／オフ・ボタン

設定を変えるときに押します。

16 TYPE VARIATION (タイプ・バリエーション) ボタン

タイプのバリエーションを切り替えます。

■ DELAY (ディレイ) (P.28)**17 FEEDBACK (フィードバック) つまみ**

ディレイの繰り返し回数を調節します。

18 LEVEL (レベル) つまみ

ディレイ音の音量を調節します。

19 DELAY オン／オフ・ボタン

設定を変えるときに押します。

20 TAP (タップ) ボタン

ディレイ・タイムをタップ入力で設定するときに使います。(P.28)

■ CHORUS (コーラス) (P.29)**21 LEVEL (レベル) つまみ**

コーラス音の音量を調節します。右に回すほどコーラス音が大きくなります。

22 CHORUS オン／オフ・ボタン

設定を変えるときに押します。

■ REVERB (リバーブ) (P.29)**23 LEVEL (レベル) つまみ**

リバーブ音の音量を調節します。

24 REVERB オン／オフ・ボタン

設定を変えるときに押します。

■ WAH (ワウ) (P.30)**25 WAH オン／オフ・ボタン**

設定を変えるときに押します。

■ EQ (イコライザー) (P.32)**26 EQ オン／オフ・ボタン**

設定を変えるときに押します。

■ FX-1 (P.32)**27 FX-1 オン／オフ・ボタン**

設定を変えるときに押します。

■ FX-2 (P.35)

28 FX-2 オン／オフ・ボタン

設定を変えるときに押します。

29 PATCH/VALUE (パッチ／バリュー) ダイアル

パッチの切り替えや、設定値を変更するときに使います。

30 PARAMETER (パラメーター) ボタン

パラメーターを選ぶときに押します。

※ 一方のボタンを押しながらもう一方のボタンを押すと、主要なパラメーターにジャンプします。パラメーター数が少ないときは、最終（先頭）のパラメーターにジャンプします。

31 EXIT (イグジット) ボタン

操作を取り消すときに使います。

32 WRITE (ライト) ボタン

設定を記憶させるときに使います。

33 EZ TONE (EZ トーン) ボタン

音色を探すときに使います。

34 PEDAL ASSIGN (ペダル・アサイン) ボタン

エクスプレッション・ペダルやコントロール・ペダルに関する設定をするときに使います。

35 OUTPUT SELECT (アウトプット・セレクト) ボタン

GT-6 の出力を、接続機器の出力に合わせます。

36 TUNER/BYPASS (チューナー／バイパス) ボタン

チューナー機能、バイパス機能を使うときに押します。

37 NAME/NS/MASTER ボタン (P.45, 46)

パッチに名前を付ける (NAME) ／ノイズ・サプレッサーの設定をする (NS) ／マスターの設定をする (MASTER) ときに使います。

38 UTILITY (ユーティリティー) ボタン

GT-6 の使用環境に関する設定をするときに使います。

39 MANUAL (マニュアル) ボタン

GT-6 をマニュアル・モードで使うときに押します。

40 BANK (バンク) ペダル

パッチ・バンクを切り替えます。

41 ナンバー・ペダル

パッチ・ナンバーを切り替えます。

42 CTL (コントロール) ペダル

チューナーのオン／オフなど、いろいろな機能を割り当ててコントロールします。

43 エクスプレッション・ペダル

音量（ボリューム）やワウなどをコントロールします。



エクスプレッション・ペダルを操作するときは、可動部と本体の間に指を挟まないように注意してください。

お子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。

44 EXP PEDAL SW

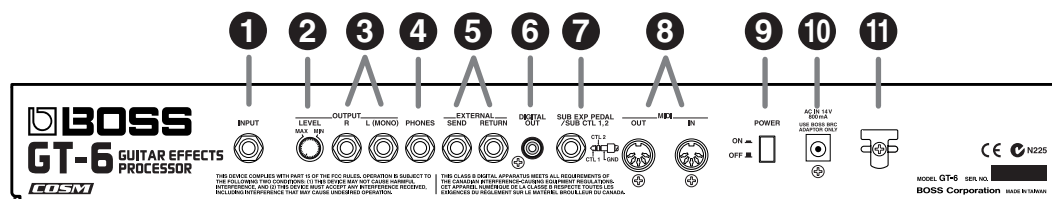
(エクスプレッション・ペダル・スイッチ)

ペダルのつま先部分を強く踏み込むことによってオン／オフさせることのできるスイッチです。

45 EXP PEDAL SW ON/OFF (エクスプレッション・ペダル・スイッチ・オン／オフ) インジケーター

エクスプレッション・ペダル・スイッチでコントロールしているエフェクトがオンのときは点灯し、オフのときは消灯します。

リア・パネル



- 1 **INPUT（インプット）ジャック**
ギターを接続します。
- 2 **OUTPUT LEVEL（アウトプット・レベル）つまみ**
アウトプット・ジャックとヘッドホン・ジャックから出力される音量を調節します。
- 3 **OUTPUT（アウトプット）ジャック R/L (MONO)**
アンプやミキサーなどと接続します。
- 4 **PHONES（ヘッドホン）ジャック**
ステレオ・ヘッドホンを接続します。
- 5 **SEND（センド）／ RETURN（リターン）ジャック**
外部エフェクターを接続します。
- 6 **DIGITAL OUT（デジタル・アウト）コネクタ**
デジタル・オーディオ信号が出力されます。
- 7 **SUB EXP PEDAL/SUB CTL 1,2 ジャック**
(サブ EXP ペダル／サブ・コントロール・ペダル)
別売のエクスプレッション・ペダル（EV-5 など）やフット・スイッチ（FS-5U など）を接続します。
- 8 **MIDI IN/OUT（MIDI イン／アウト）コネクタ**
外部 MIDI 機器を接続して、MIDI 情報の送信／受信をします。
- 9 **POWER（電源）スイッチ**
電源をオン／オフします。
- 10 **AC アダプター・ジャック**
付属の AC アダプター（BRC-100）を接続します。
- 11 **コード・フック**
AC アダプターのコードを掛けて、AC アダプターのプラグの抜けを防ぎます。

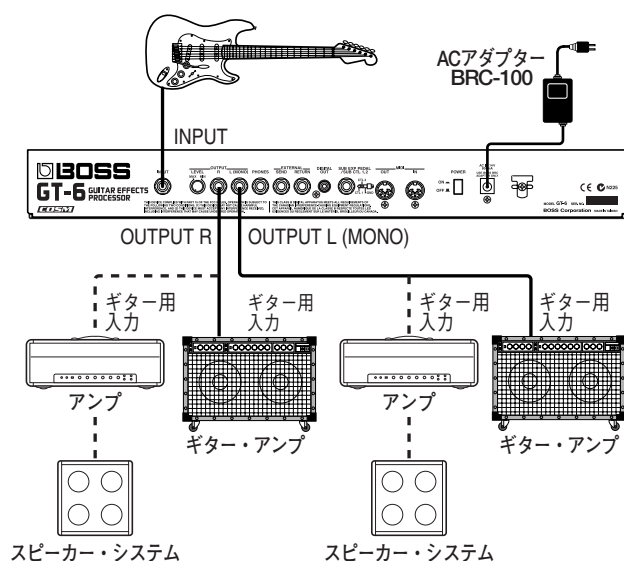
第 1 章 音を出してみよう

接続のしかた

- ※ 他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。
- ※ アンプのボリュームは、すべての機器の電源をオンにしたあとに上げてください。
- ※ モノで出力する場合は、OUTPUT L (MONO) ジャックだけにケーブルを接続してください。

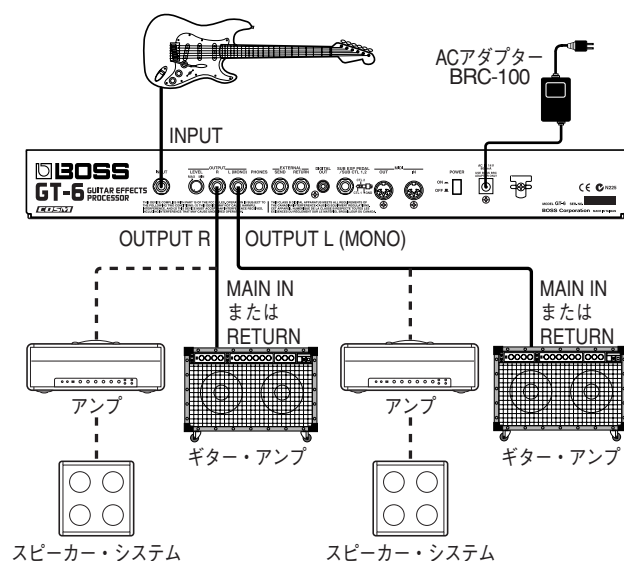
Output Select (P.14) :

JC-120, SMALL AMP, COMBO AMP, STACK AMP

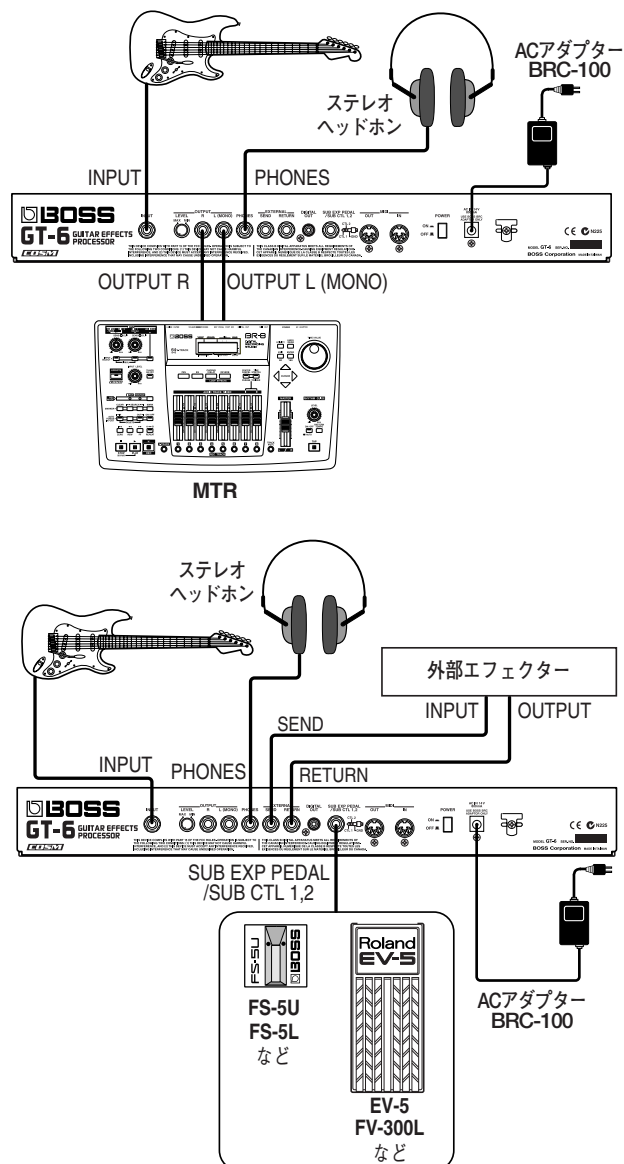


Output Select (P.14) :

COMBO RETURN, STACK RETURN

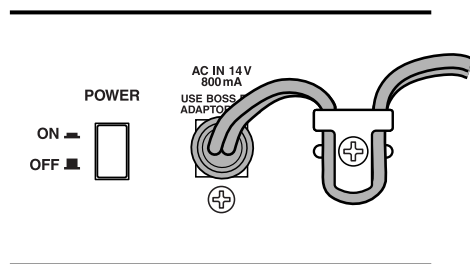


Output Select (P.14) : LINE/PHONES, LINE (PA)

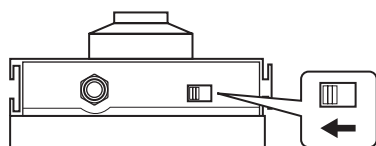


- ※ エクスプレッション・ペダルには、必ず指定のもの (別売 : EV-5 (Roland) もしくは FV-300L + PCS-33 (Roland)) をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

- ※ ACアダプターのコードは図のようにコード・フックに固定してください。誤ってコードを引っ張ってしまっても、プラグが抜けて電源が切れてしまうことや、ACアダプター・ジャックに無理な力が加わることを防ぐことができます。

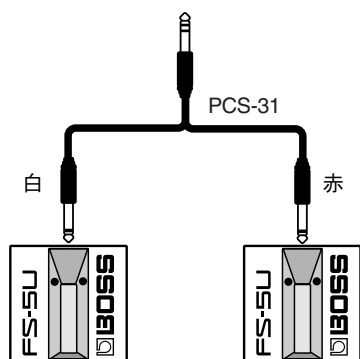


- ※ SUB EXP PEDAL/SUB CTL 1,2 ジャックにエクスプレッション・ペダルを接続する際は、ミニマム・ボリュームを“MIN”の位置でお使いください。
- ※ SUB EXP PEDAL/SUB CTL 1,2 ジャックにフット・スイッチ (FS-5U：別売) を接続する際は、ポラリティー・スイッチを次のように設定してください。



ポラリティー・スイッチ

- ※ 専用の接続コード PCS-31 (Roland：別売) を使えば、フット・スイッチを2つ接続することができます。



SUB EXP PEDAL/SUB CTL 1,2 ジャックにフット・スイッチを接続して使用するときは、P.63 の設定を行ってください。

電源を入れる

正しく接続したら、必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。

1. 電源を入れる前に次のことを確認します。

- 外部機器と正しく接続されていますか？
- 本体および接続するアンプなどの音量が最小になっていますか？

2. GT-6 のリア・パネルにある POWER スイッチをオンにします。

ディスプレイの表示が次のように変わり、数秒後に通常の演奏ができる状態になります。このときの画面を「プレイ画面」といいます。



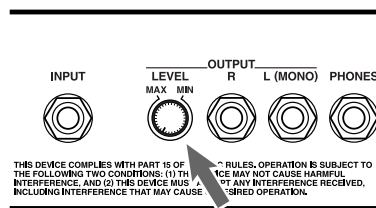
- ※ 電源投入時は、前回電源を切るときに選んでいたパッチが選ばれています。

- ※ この機器は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。

3. 外部エフェクター→ ギター・アンプ (パワー・アンプ) の順に電源をオンにします。

出力レベルを調節する

GT-6 の出力レベルを、リア・パネルの OUTPUT LEVEL つまみで調節します。



電源を切る

1. 電源を切る前に、次のことを確認します。

- 本体および接続しているアンプなどの音量が最小になっていますか？

2. 外部エフェクターやギター・アンプ (パワー・アンプ) などの電源をオフにします。

3. GT-6 の電源をオフにします。

接続する機器（アンプ）を設定する（アウトプット・セレクト）

OUTPUT ジャックに接続する機器の種類を設定します。

GT-6 の性能を最大限に発揮させるために、必ず使用環境に合わせたアウトプット・セレクトの設定をしてください。

■操作方法

1. [OUTPUT SELECT] を押してインジケータを点灯させます。
アウトプット・セレクトの設定画面が表示されます。

A screenshot of the 'Output Select' screen on the GT-6. The text 'Output Select' is displayed in a large, pixelated font, and 'COMBO AMP' is displayed below it in a smaller, pixelated font.

2. PATCH/VALUE ダイヤルで、OUTPUT ジャックに接続する機器の種類を設定します。

JC-120 :

ローランドのギター・アンプ JC-120 に接続する場合の設定です。

SMALL AMP :

小型のギター・アンプに接続する場合の設定です。

COMBO AMP :

JC-120 以外のコンボ・タイプ（アンプとスピーカーが一体になったタイプ）のギター・アンプのギター用入力に接続する場合の設定です。

- ※ 使用されるギター・アンプによっては、“JC-120” に設定すると良い結果が得られる場合があります。

STACK AMP :

スタック・タイプ（アンプとスピーカーが分離したタイプ）のギター・アンプのギター用入力に接続する場合の設定です。

COMBO RETURN :

コンボ・タイプのギター・アンプで、RETURN に接続する場合の設定です。

STACK RETURN :

スタック・タイプのギター・アンプで、RETURN に接続する場合の設定です。

LINE/PHONES :

ヘッドホンを使用するときや MTR に接続してレコーディングをする場合の設定です。

LINE (PA) :

ミキサー等の PA 用機器に接続する場合の設定です。

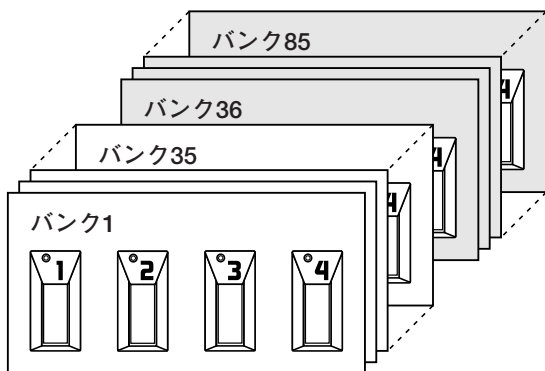
ギターのチューニング

GT-6 に内蔵された「チューナー機能」を使ってギターのチューニングをすることができます。

操作方法については、『ギターをチューニングする』（P.57）をご覧ください。

パッチとは

GT-6 は、エフェクトの組み合わせやパラメーターの設定を340種類記憶しています。このひとつひとつの設定を「パッチ」と呼び、次のようにバンク／ナンバーで整理されています。



ユーザー・バンク (1 ~ 35)

ユーザー・バンクには、新たに作ったエフェクトの設定を記憶できます。これらのバンクのパッチを「ユーザー・パッチ」といいます。

※ ユーザー・パッチの場合は、右側のディスプレイに“U”と表示されます。



プリセット・バンク (36 ~ 85)

プリセット・バンクには、GT-6 の特徴を生かしたエフェクトの設定が記憶されています。これらのバンクのパッチを「プリセット・パッチ」といいます。プリセット・パッチには書き込みはできませんが、プリセット・パッチの設定を変更（エディット）することはできます。変更した設定を保存したいときはユーザー・パッチに記憶してください。

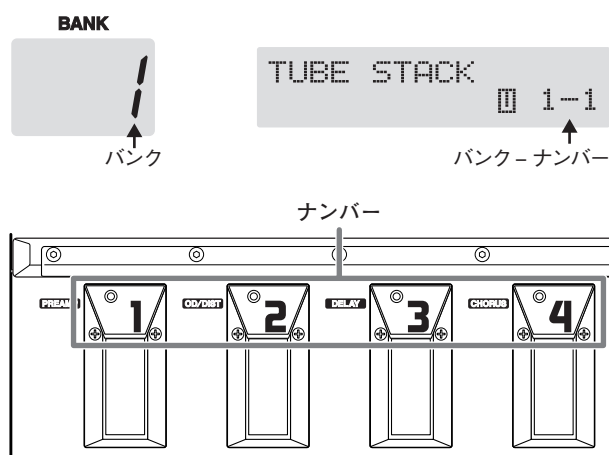
※ プリセット・パッチの場合は、右側のディスプレイに“P”と表示されます。



パッチの切り替えかた (パッチ・チェンジ)

本体操作によるパッチの選びかた

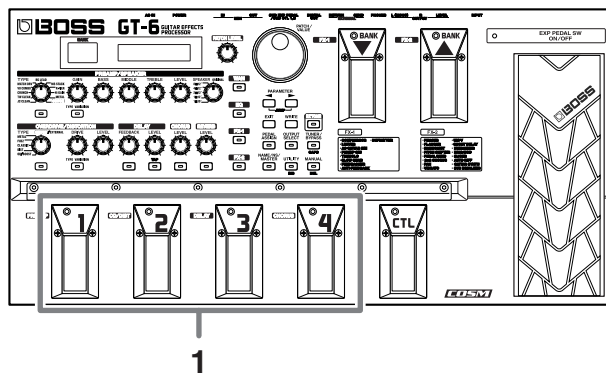
パッチは、「バンク」(1 ~ 85) と「ナンバー」(1 ~ 4) を切り替えて選びます。GT-6 では、バンク／ナンバーをそれぞれ次の位置に表示します。



※ パッチを選ぶ場合、バンクを切り替えても、ナンバーを選ぶまではパッチは切り替わりません。バンクを切り替えただけでパッチが切り替わるようにしたい場合は、パッチ・チェンジ・モード (P.61) の設定を行なってください。また、PATCH/VALUE ダイアルの操作でパッチを切り替えることもできます。

※ パッチを切り替えると、ディレイ音とリバーブ音は途切れます。

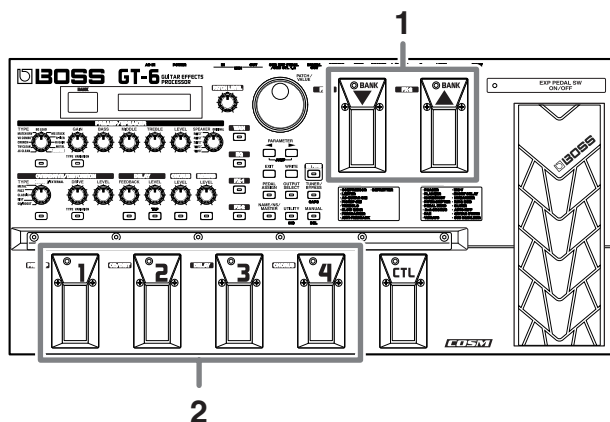
ナンバーだけを切り替える



1. 使いたいパッチのナンバーをナンバー・ペダルで選びます。

踏んだナンバー・ペダルのインジケーターが点灯し、パッチが切り替わります。

バンクとナンバーを切り替える



1. BANK ペダルを踏みます。

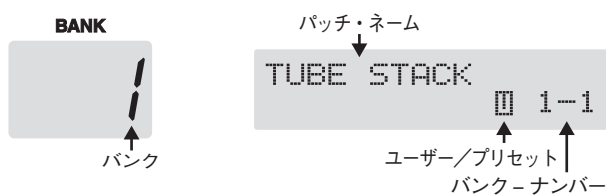
バンクが切り替わります。そして、BANK ペダルを踏む前のナンバー・ペダルのインジケーターが点滅し、パッチのナンバーを指定する状態になります（この状態では、まだパッチが切り替わっていません）。

2. 使いたいパッチのナンバーをナンバー・ペダルで選びます。

選んだナンバー・ペダルのインジケーターが点灯し、パッチが切り替わります。

ディスプレイの表示について

プレイ画面に表示される情報は次のとおりです。



パッチが切り替わらないときは

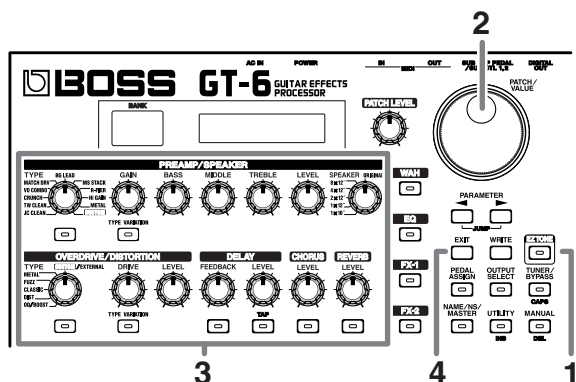
GT-6 では、プレイ画面以外ではパッチの切り替えができません。[EXIT] を押してプレイ画面に戻してください (P.13)。

第2章 好みの音色（パッチ）を作ってみよう

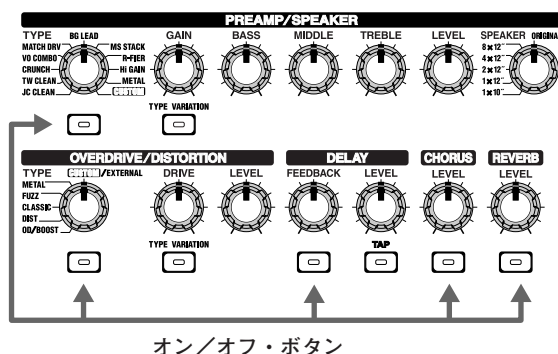
イメージに近い音色を探す（EZ トーン）

GT-6 には、実際に演奏に使う音色（パッチ）の他に、その音色を作る際の手助けとなるサンプル・セッティングが内蔵されています。これを「EZ トーン」と呼びます。

EZ トーン機能を使うと、作りたい音のイメージに近いセッティングを素早く探し出すことができます。



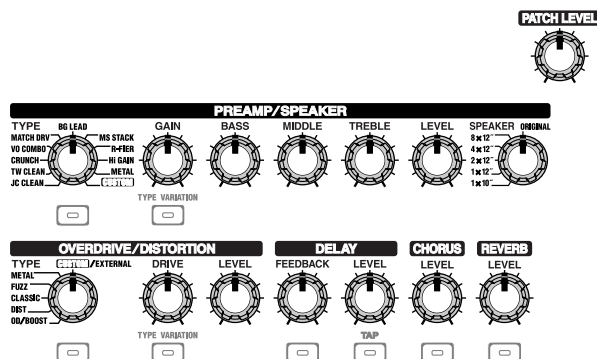
1. [EZ TONE] を押します。
2. VALUE ダイアルを回して、好みの音色に近いセッティングを選びます。
3. オン/オフ・ボタンを押してエフェクトをオン/オフさせ、つまみを回して音色を調節します。



- ※ [EZ TONE] を再度押すと、EZ トーン・モードになる前の音との比較ができます。
- 4. [EXIT] を押すと、プレイ画面に戻ります。
音色は、EZ トーンで選ばれた音になります。
- ※ ディスプレイ表示が点滅している（EZ トーン・モードになる前の音が選ばれている）ときに [EXIT] を押すと、EZ トーン・モードに入る前に選んでいたパッチに戻ります。
- ※ 作った音色を残しておきたいときは、ライト操作（P.22）でユーザー・パッチに記憶させてください。

各つまみによって音色を調節する

GT-6 のパネルには 15 個のつまみが用意されています。選んだパッチの音色に少し変化を付けたい場合、これらのつまみで簡単に行うことができます。



PREAMP TYPE（プリアンプ・タイプ）：
プリアンプの種類を選択します。

※ [TYPE VARIATION] を押すと、つまみ位置のタイプに対応したバリエーションが選べます。

PREAMP GAIN（プリアンプ・ゲイン）：
プリアンプの歪み感を調整します。右に回すほど歪み感が強くなります。

PREAMP BASS（プリアンプ・ベース）：
プリアンプの低音域の音質を調節します。右に回すほど低音域が強調されます。

PREAMP MIDDLE（プリアンプ・ミドル）：
プリアンプの中音域の音質を調節します。右に回すほど中音域が強調されます。

PREAMP TREBLE（プリアンプ・トレブル）：
プリアンプの高音域の音質を調節します。右に回すほど高音域が強調されます。

PREAMP LEVEL（プリアンプ・レベル）：
プリアンプの音量を調節します。右に回すほど大きな音になります。

SPEAKER（スピーカー）：
スピーカーの種類を選択します。
ORIGINAL を選ぶと、PREAMP TYPE の設定に適したスピーカーが選ばれます。

第2章 好みの音色（パッチ）を作ってみよう

OVERDRIVE/DISTORTION TYPE

(オーバードライブ／ディストーション・タイプ)：

オーバードライブ／ディストーションの種類を選びます。

※ [TYPE VARIATION] を押すと、つまみ位置のタイプに対応したバリエーションが選べます。

OVERDRIVE/DISTORTION DRIVE (オーバードライブ／ディストーション・ドライブ)：

オーバードライブ／ディストーションの歪み感を調整します。右に回すほど歪み感が強くなります。

OVERDRIVE/DISTORTION LEVEL (オーバードライブ／ディストーション・レベル)：

オーバードライブ／ディストーションの音量を調節します。右に回すほど大きな音になります。

DELAY FEEDBACK (ディレイ・フィードバック)：

ディレイの繰り返し回数を調節します。右に回すほど繰り返しが多くなります。

DELAY LEVEL (ディレイ・レベル)：

ディレイ音の音量を調節します。右に回すほどディレイ音が大きくなります。

CHORUS LEVEL (コーラス・レベル)：

コーラス音の音量を調節します。右に回すほどコーラス音が大きくなります。

REVERB LEVEL (リバーブ・レベル)：

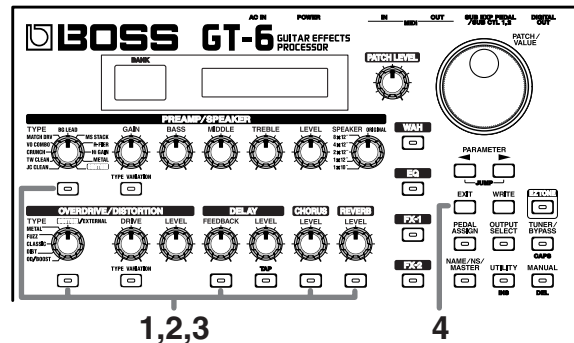
リバーブ音の音量を調節します。右に回すほどリバーブ音が大きくなります。

PATCH LEVEL (パッチ・レベル)：

全体の音量を調節します。右に回すほど大きな音になります。EZ トーンで作った音色やつまみで変化させた音色を残しておきたいときは、ライト操作 (P.22) でユーザー・パッチに記憶させてください。

エフェクトを加える

GT-6 では、内蔵エフェクトのオン／オフの切り替えをボタン操作で行ないます。エフェクト・オンに設定したエフェクトは、オン／オフ・ボタンのインジケーターが点灯します。



1. エフェクト・オン／オフを切り替えたいエフェクトのオン／オフ・ボタンを押します。

ディスプレイには、選択したエフェクトの設定が表示されます。

Ovrdrive/Dst On
Type Turbo OD

2. オン／オフ・ボタンをもう一度押すと、エフェクト・オン／オフが切り替わります。

※ エフェクト・オフに設定したエフェクトは、エフェクト名が点滅しながら表示されます。

※ 操作 1 で FX-1、FX-2、WAH を選んだ時には FX Select パラメーターで設定 (個々のパラメーターでより細かく設定する：P.19) したエフェクトのオン／オフが切り替わります。

3. 他のエフェクトのエフェクト・オン／オフを設定するには、操作 1 ～ 2 を繰り返します。

4. [EXIT] を押すとプレイ画面に戻ります。

※ 設定した音色を残しておきたいときは、ライト操作 (P.22) でユーザー・パッチに記憶させてください。

エフェクトの音色を設定する (クイック・セッティング)

各エフェクトには「クイック・セッティング」という、サンプル設定があらかじめ用意されています。細かい設定をしなくても、クイック・セッティングを選んで組み合わせるだけで、簡単に新しいエフェクト音を作り出すことができます。

1. 設定を変更したいエフェクトのオン/オフ・ボタンを押します。

ディスプレイには、選択したエフェクトのパラメーターが表示されます。

※ エディット中は、エフェクトごとに最後に操作したパラメーターが表示されます。

2. PARAMETER [◀] [▶] で、クイック・セッティングのパラメーターを選びます。

Ovrdrive/Dst On
P01:FAT BOOSTER

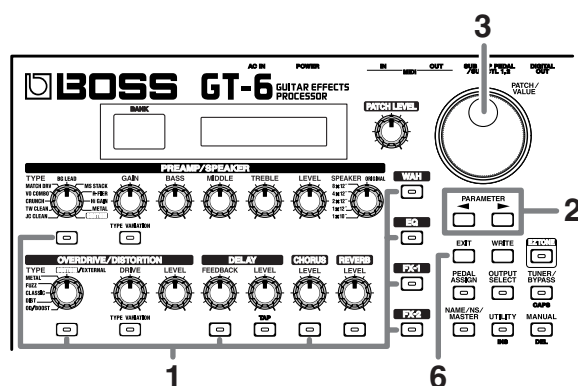
3. VALUE ダイヤルで、好みのエフェクト・セッティングを選びます。

※ “P00: User” は、画面上段に表示されているエフェクトが、現在選ばれているパッチに保存されている設定、または現在変更中の設定になっていることを表しています。

※ 操作1でFX-1、FX-2、WAHを選んだ時には、FX Selectパラメーター（次項参照）で設定したエフェクトのセッティングが切り替わります。

個々のパラメーターでより細かく設定する

各エフェクトは、それぞれ数種類のパラメーターによって構成されています。これらのパラメーターを1つ1つ修正することで、より繊細な音作りをすることができます。



1. 設定を変更したいエフェクトのオン/オフ・ボタンを押します。

ディスプレイには選択したエフェクトのパラメーターが表示されます。

2. PARAMETER [◀] [▶] で設定を変更するパラメーターを選びます。

一画面に複数のパラメーターが表示されている場合は、PARAMETER [◀] [▶] で設定するパラメーターにカーソルを合わせます。

メモ

PARAMETER [◀] ([▶]) を押しながら PARAMETER [▶] ([◀]) を押すと、要点となるパラメーターへジャンプします。パラメーター数が少ないエフェクトでは、最終（先頭）パラメーターへジャンプします。

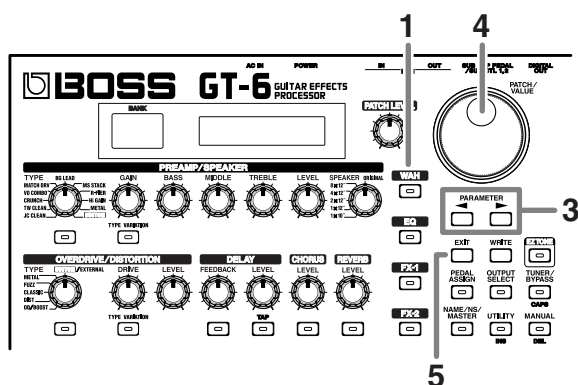
3. VALUE ダイヤルを回して設定値を変更します。
4. 他のパラメーターの設定を変更するときは、操作2～3を繰り返します。
5. さらに他のエフェクトのパラメーターを変更する場合は、操作1～4を繰り返します。
6. [EXIT] を押すとプレイ画面に戻ります。

※ 設定した音色を残しておきたいときは、ライト操作（P.22）でユーザー・パッチに記憶させてください。

ペダル・エフェクト（ワウ、ペダル・ベンド）を使用する

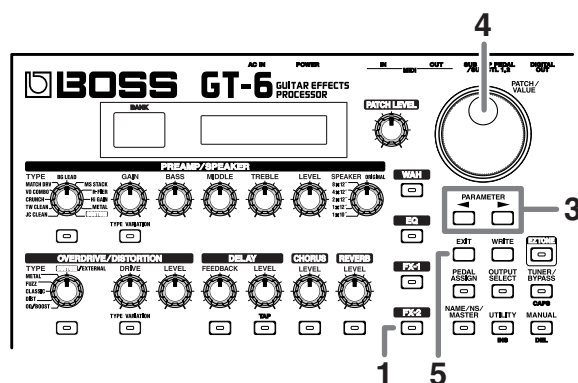
本体のエクспRESSION・ペダルを操作して、ワウやペダル・ベンド（ペダル操作によるピッチ・ベンド）の効果をすることができます。

ワウ



1. [WAH] を押します。
2. WAH をエフェクト・オンの状態にします。（『エフェクトを加える』P.18）
※ 既にエフェクト・オンになっている時にはこの操作は必要ありません。
3. PARAMETER[◀][▶] でFX Selectのパラメーターを選びます。
4. VALUE ダイアルで設定値を“WAH”にします。
エクспRESSION・ペダルを操作すると、ワウ効果が得られます。
※ エクспRESSION・ペダル・スイッチに WAH のオン／オフを割り当てると、ペダルのつま先部分を強く踏み込むことによってワウのオン／オフを切り替えることができます。
5. [EXIT] を押すとプレイ画面に戻ります。
※ 設定した音色を残しておきたいときは、ライト操作（P.22）でユーザー・パッチに記憶させてください。

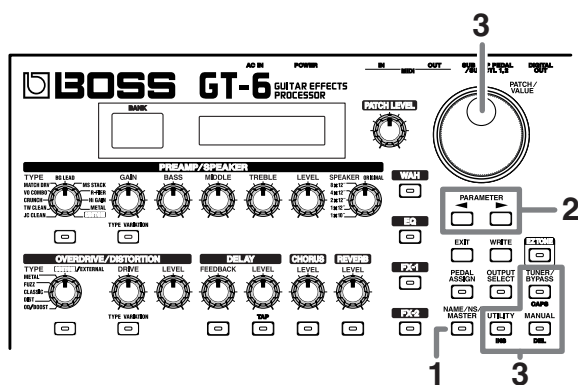
ペダル・ベンド



1. [FX-2] を押します。
2. FX-2 をエフェクト・オンの状態にします。（『エフェクトを加える』P.18）
※ 既にエフェクト・オンになっている時にはこの操作は必要ありません。
3. PARAMETER[◀][▶] でFX Selectのパラメーターを選びます。
4. VALUE ダイアルで設定値を“PB”にします。
エクспRESSION・ペダルを操作すると、ペダルベンド効果が得られます。
※ エクспRESSION・ペダル・スイッチに PB のオン／オフを割り当てると、ペダルのつま先部分を強く踏み込むことによってペダル・ベンドのオン／オフを切り替えることができます。

音色に名前をつける

各パッチには、最大 16 文字までの名前（パッチ・ネーム）をつけることができます。作成した音をイメージする名前や使用する曲名など、好みに応じて名前をつけることができます。



1. [NAME/NS/MASTER] を押して、ネーム修正画面を表示させます。

※ [NAME/NS/MASTER] は、押すたびに
NAME → NOISE SUPPRESSOR → MASTER → FOOT
VOLUME → EFFECT CHAIN と設定項目が変わります。



2. PARAMETER [◀] [▶] を押して、修正したい文字部分にカーソルを移動させます。
3. VALUE ダイアルで、文字を変更します。

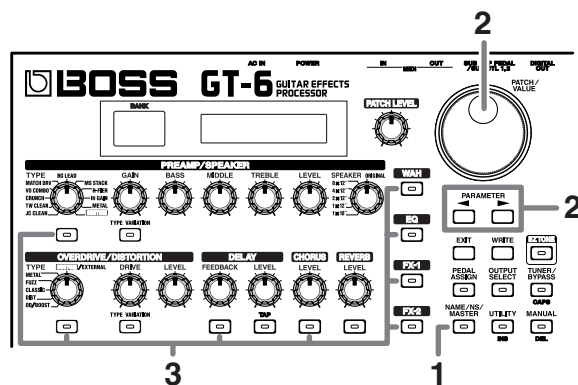
※ 文字の変更中には、次の機能が使えます。

CAPS: カーソルの位置の文字の大文字／小文字を切り替えます。
INS: カーソルの位置に空白を挿入します。
DEL: カーソルの位置の文字を削除し、それ以降の文字を左に詰めます。

4. さらに名前を修正するには、操作2～3を繰り返してください。
5. パッチ・ネームを残しておきたいときは、ライト操作 (P.22) を行います。
[EXIT] を押すとプレイ画面に戻ります。

エフェクトの順序を入れ替える (エフェクト・チェーン)

エフェクトの接続順序を自由に設定することができます。



1. [NAME/NS/MASTER] を押して、“Effect Chain” を表示させます。

※ [NAME/NS/MASTER] は、押すたびに
NAME → NOISE SUPPRESSOR → MASTER → FOOT
VOLUME → EFFECT CHAIN と設定項目が変わります。

Effect Chain
▼ Xcs → wah → OD

- ※ エフェクト・オフのエフェクトは小文字で表示されます。
2. VALUE ダイアルまたは PARAMETER [◀] [▶] で、エフェクトを挿入したい位置にカーソルを移動させます。
3. 挿入するエフェクトのオン／オフ・ボタンを押します。
カーソルの位置に、選択されたエフェクトが挿入されます。
- ※ フット・ボリュームは [PEDAL ASSIGN] で操作します。
4. さらに接続順序を変えるには、操作2～3を繰り返します。
5. 設定した接続順序を残しておきたいときは、ライト操作 (P.22) を行います。
[EXIT] を押すと、プレイ画面に戻ります。



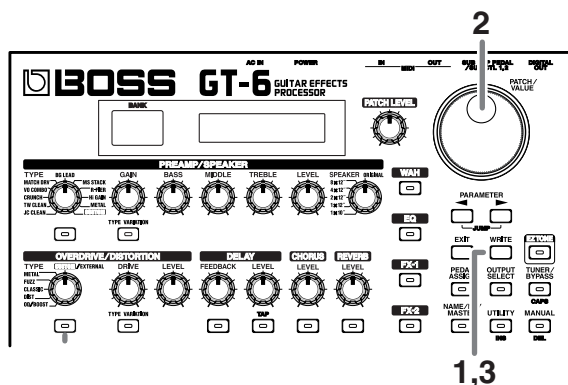
接続順序の設定中でも、エフェクト・オン／オフを切り替えることができます。カーソルの左右に表示されているエフェクトに限り、エフェクトに対応するオン／オフ・ボタンを押すとエフェクト・オン／オフが切り替わります。

第3章 作った音色を記憶させる

ライト

EZ トーンで作った音色や変化させた音色を残しておきたいときは、「ライト操作」でユーザー・パッチに記憶させます。

※ ライト操作をしておかなければ、電源を切ったり音色の切り替え（パッチ・チェンジ P.15）を行うと、作った音色は消えてしまいます。



1. [WRITE] を押します。

ディスプレイの表示が切り替わり、記憶先のユーザー・パッチを指定する状態になります。



2. VALUE ダイヤルで、記憶先のユーザー・パッチを選びます。

※ 現在のユーザー・パッチのままでよいときは、この操作は必要ありません。

※ ライト操作を中止するときは、[EXIT] を押してください。プレイ画面に戻ります。

※ 記憶先は『パッチの切り替えかた』（P.15）と同様の操作でも選ぶことができます。

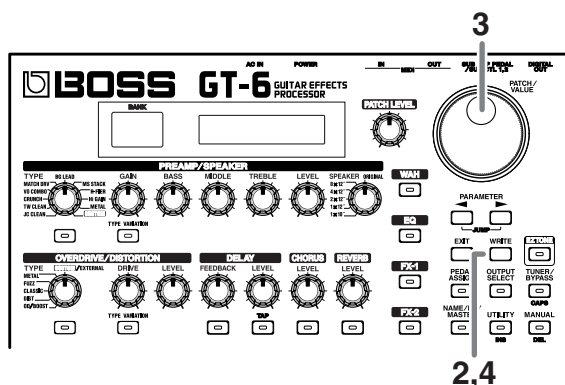
3. [WRITE] を押します。

ライト先のパッチに切り替わり、プレイ画面に戻ります。

※ いったんライト操作をすると、ライト先のパッチに記憶されていたパッチの音色は失われます。

パッチをコピーする

プリセットまたはユーザー・パッチを別のユーザー・パッチにコピーすることができます。



1. コピー元のパッチを選びます。

（P.15『パッチの切り替えかた』参照）

2. [WRITE] を押します。

ディスプレイの表示が切り替わり、コピー先のパッチ・ナンバーを指定する状態になります。



3. VALUE ダイヤルでコピー先のユーザー・パッチを選びます。

※ コピーを中止するときは、[EXIT] を押してください。プレイ画面に戻ります。

※ コピー先は『パッチの切り替えかた』（P.15）と同様の操作でも選ぶことができます。

4. [WRITE] を押します。

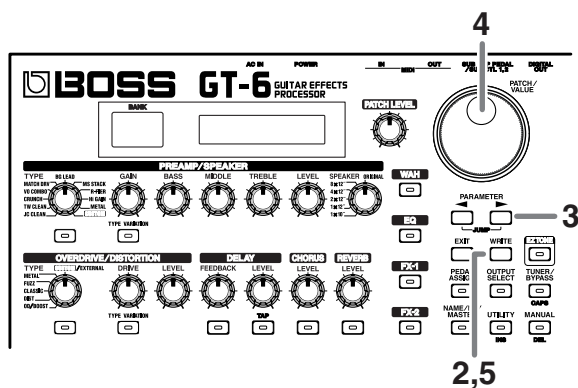
コピー先のパッチに切り替わり、プレイ画面に戻ります。

※ いったんコピー操作をするとコピー先のパッチに記憶されていたパッチの音色は失われます。

パッチを入れ替える

パッチの並びを変えてみましょう。

GT-6 では、ユーザー・パッチ同士を入れ替えることができます。



1. 入れ替え元のユーザー・パッチを選びます。

(P.15『パッチの切り替えかた』参照)

2. [WRITE] を押します。

3. PARAMETER [▶] を押します。

ディスプレイの表示が切り替わり、入れ替え先のパッチ・ナンバーを指定する状態になります。



4. VALUE ダイヤルで、入れ替え先のユーザー・パッチを選びます。

- ※ 入れ替えを中止するときは、[EXIT] を押してください。プレイ画面に戻ります。
- ※ 入れ替え先は『パッチの切り替えかた』(P.15)と同様の操作でも選ぶことができます。

5. [WRITE] を押します。

入れ替え元のメモリーに記憶されたパッチと入れ替え先のメモリーに記憶されたパッチが入れ替わり、プレイ画面に戻ります。

第 4 章 エフェクトの紹介

GT-6 に内蔵されているエフェクトの特長や効果、パラメーターについて説明します。

メモ

各エフェクトに入力された音を「**ダイレクト音**」、エフェクトによって変化した音を「**エフェクト音**」として表しています。

以降記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標でボスとは関係ありません。
本書ではCOSMによってシミュレートされたサウンドを適切に表現するために、これらの名称を使用しています。

PREAMP/SPEAKER (プリアンプ／スピーカー・シミュレーター)

COSM 技術により、「プリアンプ」ではギター・アンプの特性を、「スピーカー・シミュレーター」ではスピーカーのサイズとキャビネットの形状をシミュレートします。

パラメーター	設定値
On/Off	Off, On
Type	P.25 参照
Gain	0 ～ 100
Bass	0 ～ 100
Middle	0 ～ 100
Treble	0 ～ 100
Presence	0 ～ 100
Level	0 ～ 100
Bright	Off, On
Gain SW	Low, Middle, High
Speaker SW	Off, On
Speaker Type	1x10", 1x12", 2x12", 4x12", 8x12", ORIGINAL
Mic Setting (*)	Center, 1 cm ～ 10 cm
Mic Level (*)	0 ～ 100
Direct Level (*)	0 ～ 100

(*) OUTPUT SELECT が “LINE/PHONES”、“LINE (PA)”
のときに表示されます。

TYPE (タイプ)

プリアンプのタイプを設定します。

	[TYPE VARIATION]		
	消灯	赤点灯	緑点灯
JC CLEAN	JC-120	Jazz Combo	Full Range
	ローランド JC-120 のサウンドです。	ジャズに適したサウンドです。	フラットな特性のサウンドです。
TW CLEAN	Clean TWIN	Pro Crunch	Tweed
	Fender の Twin Reverb をモデリングしています。	Fender の Pro Reverb をモデリングしています。	Fender の Bassman 4 x 10" Combo をモデリングしています。
CRUNCH	Crunch	Blues	Stack Crunch
	自然な歪みの得られるクランチ・サウンドです。	ブルースに適したサウンドです。	ハイ・ゲインなクランチ・サウンドです。
VO COMBO	VO Drive	VO Lead	VO Clean
	VOX AC-30TB のドライブ・サウンドをモデリングしています。	VOX AC-30TB のリード・サウンドをモデリングしています。	VOX AC-30TB のクリーン・サウンドをモデリングしています。
MATCH DRV	MATCH Drive	MATCH Lead	Fat MATCH
	Matchless D/C-30 の左インプットに入力したサウンドをモデリングしています。	Matchless D/C-30 の右インプットに入力したサウンドをモデリングしています。	ハイ・ゲイン改造を施した MATCHLESS のサウンドをモデリングしています。
BG LEAD	BG Lead	BG Drive	BG Rhythm
	MESA/Boogie コンボ・アンプのリード・サウンドをモデリングしています。	MESA/Boogie の TREBLE SHIFT SW をオンにしたときのサウンドをモデリングしています。	MESA/Boogie のリズム・チャンネルのサウンドをモデリングしています。
MS STACK	MS1959(I)	MS1959(I+II)	MS HiGain
	Marshall 1959 のインプット I に入力したサウンドをモデリングしています。	Marshall 1959 のインプット I と II をパラレル接続したサウンドをモデリングしています。	中域ブースト改造を施した Marshall のサウンドをモデリングしています。
R-FIER	R-Fier RED	R-FierOrang	R-FierVint
	MESA/Boogie DUAL Rectifier の RED チャンネルをモデリングしています。	MESA/Boogie DUAL Rectifier の ORANGE チャンネルをモデリングしています。	MESA/Boogie Rectifier の VINTAGE SW をオンにしたときのサウンドをモデリングしています。
Hi GAIN	SLDN	Drive Stack	Lead Stack
	Soldano SLO-100 をモデリングしています。	ハイ・ゲインなドライブ・サウンドです。	ハイ・ゲインなリード・サウンドです。
METAL	5150 Drive	Metal Stack	Metal Lead
	Peavey EVH5150 のリード・チャンネルをモデリングしています。	メタルに適したドライブ・サウンドです。	メタルに適したリード・サウンドです。
CUSTOM	Custom1	Custom2	Custom3
	カスタム用アンプ 1	カスタム用アンプ 2	カスタム用アンプ 3

タイプに CUSTOM を選んだとき

TYPE が CUSTOM のときには、次のパラメーターを設定することができます。



『プリアンプの「カスタム」を設定する』(P.53)

第4章 エフェクトの紹介

パラメーター	設定値
Custom Type (1 ~ 3)	JC Clean, TW Clean, Crunch, VO Lead, BG Lead, MS1959 Stk, MODERN Stk
Custom Bottom (1 ~ 3)	-50 ~ +50
Custom Edge (1 ~ 3)	-50 ~ +50
Custom Bass Freq (1 ~ 3)	-50 ~ +50
Custom Treble Freq (1 ~ 3)	-50 ~ +50
Custom Preamp Low (1 ~ 3)	-50 ~ +50
Custom Preamp High (1 ~ 3)	-50 ~ +50
Custom SpeakerLow (1 ~ 3)	-50 ~ +50
Custom SpeakerHigh (1 ~ 3)	-50 ~ +50

Gain (ゲイン)

アンプの歪み具合を調節します。

Bass (ベース)

低音域の音質を調節します。

Middle (ミドル)

中音域の音質を調節します。

Treble (トレブル)

高音域の音質を調節します。

Presence (プレゼンス)

超高音域の音質を調節します。

※ タイプに「MATCH DRV」「VO COMBO」を選んだ場合、プレゼンスを上げると高域がカットされます（値は 0 から -100 に変化します）。

Level (レベル)

プリアンプ全体の音量を調節します。

※ Levelは上げ過ぎないように注意してください。

Bright (ブライツ)

ブライツ・オン／オフを設定します。

Off :

ブライツを使用しません。

On :

ブライツを使用して、より歯切れのよい明るい音質になります。

※ タイプの設定によっては、表示されないことがあります。

Gain SW (ゲイン・スイッチ)

アンプの歪み具合を Low/Middle/High の 3 段階で切り替えます。Low、Middle、High の順番で歪みが大きくなります。

※ 各タイプの音色は、ゲインが「Middle」のときを基準に音作りされています。通常は「Middle」の位置で使用してください。

Speaker SW (スピーカー・スイッチ)

スピーカー・シミュレーターのオン／オフを設定します。

SPEAKER TYPE (スピーカー・タイプ)

1x10" :

10 インチ・スピーカー 1 個の後面開放方式の小型スピーカー・キャビネットです。

1x12" :

12 インチ・スピーカー 1 個の後面開放方式の小型スピーカー・キャビネットです。

2x12" :

12 インチ・スピーカー 2 個の後面開放方式の一般的なスピーカー・キャビネットです。

4x12" :

12 インチ・スピーカー 4 個の密閉方式のスピーカー・キャビネットです。大型アンプに最適です。

8x12" :

4x12" の 2 段積みです。

ORIGINAL :

“Type” で選んだアンプに搭載されているスピーカーです。

Mic Setting (マイク・セッティング)

マイクの位置をシミュレーションします。「Center」はスピーカー・コーンの中央にマイクをセッティングした状態をシミュレーションします。「1 cm ~ 10 cm」は、スピーカー・コーンの中央から設定した距離だけマイクを移動した状態をシミュレーションします。

Mic Level (マイク・レベル)

マイクの音量を調節します。

Direct Level (ダイレクト・レベル)

ダイレクト音の音量を調節します。

※ タイプに「Full range」を選んだときは、Mic Level=100, Direct Level=0 で使用してください。

OVERDRIVE/DISTORTION（オーバードライブ／ディストーション）

音を歪ませて、ロング・サステインを得るエフェクトです。15種類の歪み、2種類のカスタム設定、接続した外部エフェクターを使用できるエクスターナル・オーバードライブ／ディストーションを備えています。

パラメーター	設定値
On/Off	Off, On
Type	下記参照
Drive	0 ～ 100
Bass	-50 ～ +50
Treble	-50 ～ +50
Level	0 ～ 100

On/Off（エフェクト・オン／オフ）

オーバードライブ／ディストーションのエフェクト・オン／オフを設定します。

Type（タイプ）

歪みかたを選びます。

	[TYPE VARIATION]		
	消灯	赤点灯	緑点灯
OD/BOOST	Blues OD	Turbo OD	Booster
	ボス BD-2 風のクランチ・サウンドです。	ボス OD-2 風の、ハイ・ゲインなオーバードライブ・サウンドです。	COSM アンプに相性の良い、新開発のブースターです。
DIST	Distortion	American DS	GUV DS
	オーソドックスなディストーション・サウンドです。	Proco RAT のサウンドをモデリングしています。	Marshall の GUV' NOR のサウンドをモデリングしています。
CLASSIC	OD-1	T-Scream	DST+
	ボス OD-1 のサウンドです。	Ibanez の TS-808 のサウンドをモデリングしています。	MXR の DISTORTION+ のサウンドをモデリングしています。
FUZZ	'60s FUZZ	Oct Fuzz	MUFF FUZZ
	FUZZFACE のサウンドをモデリングしています。	ACETONE の FUZZ のサウンドをモデリングしています。	Electro-Harmonix の Big Muff π のサウンドをモデリングしています。
METAL	Metal Zone	R-MAN	Heavy Metal
	ボス MT-2 のサウンドです。	ROCKMAN のサウンドをモデリングしています。	ヘビーなディストーション・サウンドです。
CUSTOM	Custom1	Custom2	External
	カスタム用タイプ 1	カスタム用タイプ 2	EXTERNAL ジャックに接続した外部エフェクターを使用するときを選びます。

TYPE に CUSTOM を選んだとき

TYPE が CUSTOM のときには、以下のパラメーターを設定することができます。



『オーバードライブ／ディストーションの「カスタム」を設定する』（P.54）

パラメーター	設定値
Custom Type（1 ～ 3）	OD-1, OD-2, CRUNCH, DS-1, DS-2, METAL-1, METAL-2, FUZZ
Custom Bottom（1 ～ 3）	-50 ～ +50
Custom Top（1 ～ 3）	-50 ～ +50
Custom Low（1 ～ 3）	-50 ～ +50
Custom High（1 ～ 3）	-50 ～ +50

第4章 エフェクトの紹介

Drive (ドライブ)

歪みぐあいを調節します。

Bass (ベース)

低音域の音質を調節します。

Treble (トレブル)

高音域の音質を調節します。

Level (レベル)

音量を調節します。

DELAY (ディレイ)

ダイレクト音から遅れた音 (ディレイ音) を加えることにより、音に厚みをつけたり、特殊効果を作り出したりします。

パラメーター	設定値
On/Off	Off, On
Type	Single, Pan
Delay Time	0 ms ~ 1800 ms, BPM ♪ ~ BPM ♪
Delay Time (Fine)	0 msec ~ 20 msec
Tap Time	0 % ~ 100 % (Type = Pan)
Feedback	0 ~ 100
High Cut Filter	700 Hz ~ 11.0 kHz, Flat
Effect Level	0 ~ 120

On/Off (エフェクト・オン/オフ)

ディレイのエフェクト・オン/オフを設定します。

Type (タイプ)

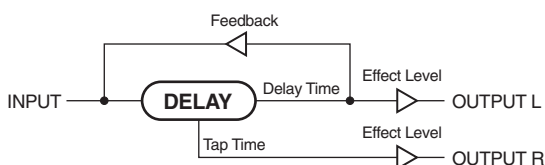
ディレイ音の出力方法を設定します。

Single (シングル) :

ディレイ・タイムとフィードバックを調節して、通常のディレイ効果が得られます。

Pan (パン) :

ステレオ出力時専用のディレイです。ディレイ・タイムをL/Rチャンネルに振り分けたタップ・ディレイ効果が得られます。



Delay Time (ディレイ・タイム)

ディレイ・タイム (音を遅らせる時間) を調節します。

※ BPMに設定した場合は、パッチごとに設定するマスターBPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。

曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される時間が長い場合は、BPMの2倍または4倍の時間に同期するようになります)。

BPMに設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスターBPMの設定画面が表示されます。

Delay Time Fine (ディレイ・タイム・ファイン)

ディレイ・タイムを微調整します。

Tap Time (タップ・タイム)

ライト・チャンネルのディレイ・タイムを調節します。レフト・チャンネルのディレイ・タイムを100%と考えて、ライト・チャンネルのディレイ・タイムを調節します。

Feedback (フィードバック)

フィードバックとは、ディレイ信号をディレイの入力に戻すことをいいます。ここでは入力に戻す量を調節します。値を大きくするほどディレイの繰り返し回数が多くなります。

High Cut Filter (ハイ・カット・フィルター)

ハイ・カット・フィルターは設定された周波数より高い周波数成分をカットします。ここでは、ハイ・カット・フィルターの効き始める周波数を調節します。「Flat」にすると、ハイ・カット・フィルターは働きません。

Effect Level (エフェクト・レベル)

ディレイ音の音量を調節します。



[TAP] を数回押すと、ボタンを押した間隔がディレイ・タイムとして設定されます。

ディレイ・タイムをBPMに設定して [TAP] を数回押すと、マスターBPMを変えることができます。

CHORUS (コーラス)

ダイレクト音に微妙に揺れる音を加えて、広がりと厚みのある美しいサウンドに変えるエフェクトです。

パラメーター	設定値
On/Off	Off, On
Mode	Mono, Stereo
Rate	0 ~ 100, BPM ♪ ~ BPM ♪
Depth	0 ~ 100
Pre Delay	0.0 msec ~ 40.0 msec
High Cut Filter	700 Hz ~ 11.0 kHz, Flat
Effect Level	0 ~ 100

On/Off (エフェクト・オン/オフ)

コーラスのエフェクト・オン/オフを設定します。

Mode (モード)

コーラスのモードを選びます。

Mono (モノ) :

L/R とも同じ音を出力するコーラスです。

Stereo (ステレオ) :

L/Rに別々のコーラス音を加えるステレオ2相コーラスです。

Rate (レート)

コーラス効果の速さを調節します。

- ※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定するマスター BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。
- 曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が速い場合は、BPM の 1/2 または 1/4 に同期するようになります)。
- BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Depth (デプス)

コーラス効果の深さを調節します。ダブリングとして使用する際は「0」でお使いください。

Pre Delay (プリ・ディレイ)

ダイレクト音が出力されてから、エフェクト音出力されるまでの時間を調節します。プリ・ディレイを長くすると、複数の音が鳴っている効果 (ダブリング効果) が得られます。

High Cut Filter (ハイ・カット・フィルター)

ハイ・カット・フィルターは、設定された周波数より高い周波数成分をカットします。ここでは、ハイ・カット・フィルターの効き始める周波数を調節します。「Flat」にすると、ハイ・カット・フィルターは動きません。

Effect Level (エフェクト・レベル)

エフェクト音の音量を調節します。

REVERB (リバーブ)

音に残響を加えるエフェクトです。

パラメーター	設定値
On/Off	Off, On
Type	Room 1, Room 2, Hall 1, Hall 2, Plate
Reverb Time	0.1 sec ~ 10.0 sec
Pre Delay	0 msec ~ 100 msec
Low Cut Filter	55.0 Hz ~ 800 Hz
High Cut Filter	700 Hz ~ 11.0 kHz, Flat
Density	0 ~ 10
Effect Level	0 ~ 100

On/Off (エフェクト・オン/オフ)

リバーブのエフェクト・オン/オフを設定します。

Type (タイプ)

リバーブのタイプを設定します。設定によってさまざまな空間をシミュレーションできます。

Room 1 (ルーム 1) :

室内での残響音をシミュレーションしたリバーブです。ライブな部屋をイメージした明るい音色の残響音を得られます。

Room 2 (ルーム 2) :

室内での残響音をシミュレーションしたリバーブです。暖かみのある残響音を得られます。

Hall 1 (ホール 1) :

コンサート・ホールでの残響音をシミュレーションしたリバーブです。クリアで広がりのある残響音を得られます。

Hall 2 (ホール 2) :

コンサート・ホールでの残響音をシミュレーションしたリバーブです。落ち着いたマイルドな残響音を得られます。

Plate (プレート) :

プレート・リバーブ (金属板の振動を利用したリバーブ・ユニット) をシミュレーションしたリバーブです。高域が伸びた金属的な響きを得られます。

Reverb Time (リバーブ・タイム)

リバーブ音の長さ (時間) を調節します。

Pre Delay (プリ・ディレイ)

リバーブ音出力されるまでの時間を調節します。

第4章 エフェクトの紹介

Low Cut Filter（ロー・カット・フィルター）

ロー・カット・フィルターは、設定された周波数より低い周波数成分をカットします。ここでは、ロー・カット・フィルターの効き始める周波数を調節します。

High Cut Filter（ハイ・カット・フィルター）

ハイ・カット・フィルターは、設定された周波数より高い周波数成分をカットします。ここでは、ハイ・カット・フィルターの効き始める周波数を調節します。「Flat」にすると、ハイ・カット・フィルターは動きません。

Density（デンシティー）

リバーブ音の密度を調節します。

Effect Level（エフェクト・レベル）

リバーブ音の音量を調節します。

WAH（ワウ）

フィルターの周波数特性を変化させることで、独特の音色が得られるエフェクトがワウです。

「ペダル・ワウ」は、エクスプレッション・ペダルなどの操作でワウ効果をリアルタイムにコントロールします。

「オート・ワウ」は、フィルターを周期的に変化させたり入力の音量によって変化させたりして、自動的にワウ効果を得ることができます。

「フィックスド・ワウ」は、ワウ・ペダルを任意の位置で止めて、フィルターのように使用したときの効果が得られます。

※ 外部エクスプレッション・ペダルをワウ・ペダルとして使うときは、フィックスド・ワウ(FW)を選んでください。

パラメーター	設定値
--------	-----

On/Off	Off, On
FX Select	WAH, AW, FW

● WAH ; Pedal Wah

Type	CRY WAH, VO WAH, Fat WAH, Light WAH, 7String WAH, Custom1, Custom2, Custom3
Pdl Position	0 ~ 100
Level	0 ~ 100

● AW ; Auto Wah

Mode	LPF, BPF
Polarity	Down, Up
Sensitivity	0 ~ 100
Frequency	0 ~ 100
Peak	0 ~ 100
Rate	0 ~ 100, BPM ♩ ~ BPM ♪
Depth	0 ~ 100
Level	0 ~ 100

● FW ; Fixed Wah

Type	CRY WAH, VO WAH, Fat WAH, Light WAH, 7String WAH, Custom1, Custom2, Custom3
Pdl Position	0 ~ 100
Level	0 ~ 100

On/Off（エフェクト・オン／オフ）

ペダル・ワウ／オート・ワウ／フィックスド・ワウのエフェクト・オン／オフを設定します。

FX Select（エフェクト・セレクト）

ワウの動作を設定します。

WAH :

ペダル・ワウとして動作します。

AW :

オート・ワウとして動作します。

FW :

フィックスド・ワウとして動作します。

■ WAH（ペダル・ワウ）

エクスプレッション・ペダルを操作すると、ワウ・ペダルの効果が得られます。

WAH を選ぶと、本体のエクスプレッション・ペダルが自動的にワウ・ペダルになります。

Type（タイプ）

ワウのタイプを選びます。

CRY WAH :

70 年代の CRYBABY をモデリングしています。

VO WAH :

VOX の V846 をモデリングしています。

Fat WAH :

図太い音色のワウです。

Light WAH :

クセの無い上品なワウです。

7String WAH :

7 弦ギターに対応した、可変範囲の広いワウです。

Custom1 ~ 3 :

カスタム専用パラメーターをエディットして作られたワウです。

Type に Custom1 ～ 3 を選んだとき

Type が Custom1 ～ 3 のときには、以下のパラメーターを設定することができます。



『ペダル・ワウの「カスタム」を設定する』(P.55)

パラメーター	設定値
Custom Type (1 ～ 3)	CRY WAH, VO WAH, Fat WAH, Light WAH, 7String WAH
Custom Q (1 ～ 3)	-50 ～ +50
Custom Range Low (1 ～ 3)	-50 ～ +50
Custom Range High (1 ～ 3)	-50 ～ +50
Custom Presence (1 ～ 3)	-50 ～ +50

PdI Position (ペダル・ポジション)

ワウ・ペダルのペダル位置を調節します。

Level (レベル)

音量を調節します。

■ AW (オート・ワウ)

Mode (モード)

ワウのモードを選びます。

LPF (ロー・パス・フィルター) :

広い周波数範囲でワウ効果が得られます。

BPF (バンド・パス・フィルター) :

狭い周波数範囲でワウ効果が得られます。

Polarity (ポラリティー)

入力に応じてフィルターが変化する方向を選びます。

Up (アップ) :

フィルターが高い周波数方向に動きます。

Down (ダウン) :

フィルターが低い周波数方向に動きます。

Sens (センシティブィティー)

ポラリティーの設定によってフィルターが変化するときの感度を調節します。値を大きくするほど反応が強くなり、値を「0」にするとピッキングによるワウ効果はなくなります。

Frequency (フリケンシー)

ワウ効果の基準周波数を調節します。

Peak (ピーク)

基準周波数付近のワウ効果のかかり具合を調節します。値を小さくすると基準周波数の周辺の広い範囲でワウ効果が得られ、値を大きくすると基準周波数付近の狭い範囲でワウ効果が得られます。

※ 値を「50」にすると、標準的なワウ・サウンドが得られます。

Rate (レート)

オート・ワウの周期を調節します。

※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定するマスター BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。

曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が速い場合は、BPM の 1/2 または 1/4 に同期するようになります)。

BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Depth (デプス)

オート・ワウの深さを調節します。

Level (レベル)

音量を調節します。

■ FW (フィックスド・ワウ)

ワウ・ペダルを任意の位置で止めて、フィルターのように使用したときの効果が得られます。

Type (タイプ)

ワウのタイプを選びます。

各タイプの効果については、「ペダル・ワウ」を参照してください。

PdI Position (ペダル・ポジション)

ワウ・ペダルのペダル位置を調節します。

※ このパラメーターを外部エクспレッション・ペダルに割り当てて操作すると、ペダル・ワウと同じ効果が得られます。

Level (レベル)

音量を調節します。

EQ（イコライザー）

音質を調整します。中高域、中低域には、パラメトリック・タイプを採用しています。

パラメーター	設定値
On/Off	Off, On
Low EQ	-20 dB ~ +20 dB
Low-Middle Frequency	100 Hz ~ 10.0 kHz
Low-Middle Q	0.5 ~ 16
Low-Middle EQ	-20 dB ~ +20 dB
High-Middle Frequency	100 Hz ~ 10.0 kHz
High-Middle Q	0.5 ~ 16
High-Middle EQ	-20 dB ~ +20 dB
High EQ	-20 dB ~ +20 dB
Level	-20 dB ~ +20 dB

On/Off（エフェクト・オン／オフ）

イコライザーのエフェクト・オン／オフを設定します。

Low EQ（ロー・イコライザー）

低音域の音質を調節します。

Low-Middle Frequency（ロー・ミドル・フリケンシー）

「Low-Middle EQ」で調節するときの中心周波数を設定します。

Low-Middle Q（ロー・ミドル Q）

「Low-Middle Frequency」で設定された周波数を中心に、EQのかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。

Low-Middle EQ（ロー・ミドル・イコライザー）

中低域の音質を調節します。

High-Middle Frequency（ハイ・ミドル・フリケンシー）

「High-Middle EQ」で調節するときの中心周波数を設定します。

High-Middle Q（ハイ・ミドル Q）

「High-Middle Frequency」で設定された周波数を中心に、EQのかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。

High-Middle EQ（ハイ・ミドル・イコライザー）

中高域の音質を調節します。

High EQ（ハイ・イコライザー）

高音域の音質を調節します。

Level（レベル）

イコライザー通過後の音量を調節します。

FX-1

FX-1 では、次の中から使用するエフェクトを選ぶことができます。

- COMPRESSOR（コンプレッサー）
- LIMITER（リミッター）
- AC GUITAR SIM（アコースティック・ギター・シミュレーター）
- PICKUP SIM（ピックアップ・シミュレーター）
- TREMOLO（トレモロ）
- SLOW GEAR（スロー・ギア）
- FEEDBACKER（フィードバックカー）
- ANTI-FEEDBACK（アンチ・フィードバック）
- DEFRETTER（デフレッター）

パラメーター	設定値
On/Off	Off, On
FX Select	CS, LM, AC, PIC, TR, SG, FB, AFB, FRT

● CS ; Compressor

Sustain	0 ~ 100
Attack	0 ~ 100
Tone	-50 ~ +50
Level	0 ~ 100

● LM ; Limiter

Threshold	0 ~ 100
Release	0 ~ 100
Tone	-50 ~ +50
Level	0 ~ 100

● AC ; Acoustic Guitar Simulator

Top	0 ~ 100
Body	0 ~ 100
Level	0 ~ 100

● PIC ; Pickup Simulator

Type	'S'to'H', 'H'to'S', 'H'to'HF'
Tone	-50 ~ +50
Level	0 ~ 100

● TR ; Tremolo

Wave Shape	0 ~ 100
Rate	0 ~ 100, BPM 。 ~ BPM ♪
Depth	0 ~ 100

● SG ; Slow Gear

Sensitivity	0 ~ 100
Rise Time	0 ~ 100

● FB ; Feedbacker

Mode	OSC, Natural	
Rise Time	0 ~ 100	Mode= OSC
Rise Time (▲)	0 ~ 100	Mode= OSC
F.B.Level	0 ~ 100	
F.B.Level (▲)	0 ~ 100	Mode= OSC
Vibrato Rate	0 ~ 100, BPM	。 ~ BPM ♪
		Mode= OSC
Vibrato Depth	0 ~ 100	Mode= OSC

● AFB ; Anti Feedback

Freq1	0 ~ 100
Depth1	0 ~ 100
Freq2	0 ~ 100
Depth2	0 ~ 100
Freq3	0 ~ 100
Depth3	0 ~ 100

● FRT ; Defretter

Tone	-50 ~ +50
Sens	0 ~ 100
Attack	0 ~ 100
Depth	0 ~ 100
Resonance	0 ~ 100
Effect Level	0 ~ 100
Direct Level	0 ~ 100

On/Off (エフェクト・オン/オフ)

FX-1 のエフェクト・オン/オフを設定します。

FX Select (エフェクト・セレクト)

使用するエフェクトを選びます。

■ CS (コンプレッサー)

コンプレッサーは、大入力を圧縮し小入力を増幅することで、音量を均一化して音を歪ませずにサステイン効果（音を延ばす効果）を得るエフェクトです。

Sustain (サステイン)

小入力信号を増幅し、一定の音量にする範囲（時間）を調節します。値を大きくするほどサステインが長くなります。

Attack (アタック)

ピッキング時のアタックの強さを調節します。値を大きくするほど音の立ち上がりが鋭くなり、歯切れの良いサウンドになります。

Tone (トーン)

音質を調節します。

Level (レベル)

音量を調節します。

■ LM (リミッター)

大入力を抑えて歪みを防ぎます。

Threshold (スレッシュホールド)

ギターの入力信号に合わせて調節します。設定したレベル以上の信号が入力されると、信号が抑えられます。

Release (リリース)

信号がスレッシュホールド・レベル以下になってから、効果がなくなるまでの時間を調節します。

Tone (トーン)

音質を調節します。

Level (レベル)

音量を調節します。

■ AC (アコースティック・ギター・シミュレーター)

アコースティック・ギターの音をシミュレーションします。エレクトリック・ギターでアコースティック・ギターの音色が得られます。

Top (トップ)

トップ・プレート（表板）による弦への干渉を調節します。アタック感や倍音成分を調節します。

Body (ボディー)

ボディー（胴体）による音の共鳴を調節します。アコースティック・ギター特有の音の柔らかさや音の厚みを調節します。

Level (レベル)

アコースティック・ギター・シミュレーターの音量を調節します。

■ PIC (ピックアップ・シミュレーター)

異なるタイプのピックアップの音色を作り出します。シングル・コイルのギターでもハム・バックングのような太い音色を得ることができます。

Type (タイプ)

ピックアップのタイプを選びます。

'S' to 'H' (Single to Hum) :

シングル・コイル・ピックアップの音をハム・バックング・ピックアップの音にします。

'H' to 'S' (Hum to Single) :

ハムバックング・ピックアップの音をシングル・コイルの音にします。

第4章 エフェクトの紹介

'H' to 'HF' (Hum to Half-tone) :

ハムバック・ピックアップの音をシングル・コイル・ピックアップのハーフ・トーンの音にします。

Tone (トーン)

音質を調節します。

Level (レベル)

音量を調節します。

■ TR (トレモロ)

音量を周期的に変えるエフェクトです。

Wave Shape (ウェーブ・シェイプ)

音量変化を調節します。

Rate (レイト)

エフェクトのかかる周期を調節します。

- ※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定するマスター BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。
曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が早い場合は、BPM の 1/2 または 1/4 に同期するようになります)。
BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Depth (デプス)

エフェクトのかかる深さを調節します。

■ SG (スロー・ギア)

ボリューム奏法 (バイオリン奏法) の効果を作り出します。

Sensitivity (センシティブィー)

スロー・ギアの感度を調節します。感度を低くすると、弱いピッキングではスロー・ギアの効果はかからず、強いピッキングだけにスロー・ギアの効果が現れます。感度を高くすると、ピッキングの強弱に関わらずスロー・ギアの効果が現れます。

Rise Time (ライズ・タイム)

ピッキングを行ってから音量が最大になるまでの時間を調節します。

■ FB (フィードバック)

フィードバック奏法の効果を作り出します。

Mode (モード)

オシレーター「OSC」またはナチュラル「Natural」を選びます。

OSC (オシレーター) :

フィードバック音を擬似的に内部で作ります。

単音で正確に弾いたあとにエフェクト・オンに切り替えるとフィードバック効果が得られ、エフェクト・オフに切り換えるとフィードバック効果はなくなります。

エフェクト・オン／オフの切り替えは CTL ペダルで行ない、ペダルを踏んでいる間だけエフェクト・オンにします。CTL ペダルの設定をしてください。

- ※ 詳しくは、『第5章 エクスプレッション／CTL ペダルを使うための設定』(P.47) をご覧ください。

- ※ フィードバックさせる音は単音で正確に弾いてください。その後、音が安定して鳴っているときにエフェクト・オンにしてください。

Natural (ナチュラル) :

入力されたギター音のピッチ (音程) を分析して、フィードバック音を作り出します。

Rise Time (ライズ・タイム)

エフェクト・オンに切り換えてから、フィードバック音の音量が最大になるまでの時間を調節します。

Rise Time (▲) (ライズ・タイム)

エフェクト・オンに切り換えてから、1 オクターブ高いフィードバック音の音量が最大になるまでの時間を調節します。

F.B.Level (フィードバック・レベル)

フィードバック音の音量を調節します。

F.B.Level (▲) (フィードバック・レベル)

1 オクターブ高いフィードバック音の音量を調節します。

Vibrato Rate (ビブラート・レイト)

フィードバック時のビブラートの周期を調節します。

- ※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定する Master BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。
曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が早い場合は、BPM の 1/2 または 1/4 に同期するようになります)。
BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Vibrato Depth (ビブラート・デプス)

フィードバック時のビブラートの深さを調節します。

■ AFB (アンチ・フィードバック)

ギターのボディなどが共鳴してハウリングが起こるのを防ぎます。

Freq1 ～ 3 (フリケンシー)

固定のハウリング除去ポイント(周波数)を設定します。

除去ポイントは3つまで設定することができます。

Depth1 ～ 3 (デプス)

3つの除去ポイントそれぞれの、ハウリング除去の効きの強さを調節します。

■ FRT (デフレッター)

フレットレス・ギターをシミュレートすることができます。

Tone (トーン)

音のこもり具合を調節します。

Sens (センス)

入力音に対する感度を調節します。

Attack (アタック)

ピッキング時の音の立ち上がりを調節します。

Depth (デプス)

倍音を調節します。

Resonance (レゾナンス)

音にクセを付けます。

Effect Level (エフェクト・レベル)

デフレッターの音量を調節します。

Direct Level (ダイレクト・レベル)

ダイレクト音の音量を調節します。

FX-2

FX-2では、次の中から使用するエフェクトを選ぶことができます。

- PHASER (フェイザー)
- FLANGER (フランジャー)
- HARMONIST (ハーモニスト)
- PITCH SHIFTER (ピッチ・シフター)
- PEDAL BEND (ペダル・ベンド)
- 2x2 CHORUS (2x2 コーラス)
- PAN (パン)
- VIBRATO (ビブラート)
- UNI-V (ユニ-V)
- SHORT DELAY (ショート・ディレイ)
- HUMANIZER (ヒューマナイザー)
- RING MOD (リング・モジュレーター)
- SLICER (スライサー)
- AUTO RIFF (オート・リフ)
- GUITAR SYNTH (ギター・シンセ)
- SUB EQUALIZER (サブ・イコライザー)

パラメーター	設定値
On/Off	Off, On
FX Select	PH, FL, HR, PS, PB, 2CE, PAN, VB, UV, SDD, HU, RM, SL, AR, SYN, SEQ
● PH ; Phaser	
Type	4stage, 8stage, 12stage, Bi-Phase
Rate	0 ～ 100, BPM ♩ ～ BPM ♪
Depth	0 ～ 100
Manual	0 ～ 100
Resonance	0 ～ 100
Step	Off, On
Step Rate	0 ～ 100, BPM ♩ ～ BPM ♪ Step= On
Effect Level	0 ～ 100
Direct Level	0 ～ 100
● FL ; Flanger	
Rate	0 ～ 100, BPM ♩ ～ BPM ♪
Depth	0 ～ 100
Manual	0 ～ 100
Resonance	0 ～ 100
Separation	0 ～ 100
Effect Level	0 ～ 100
Direct Level	0 ～ 100

第4章 エフェクトの紹介

● HR ; Harmonist

Voice	1-Voice, 2-Mono, 2-Stereo
Harmony	-2oct ~ +2oct, Scale 1 ~ Scale29
Pre Delay	0 ms ~ 300 ms, BPM ♪ ~ BPM ♪
Feedback	0 ~ 100
Level	0 ~ 100
Key	C(Am) ~ B(G#m)
Direct Level	0 ~ 100
(User Scale)	
User	1 ~ 29
DIR	C ~ B
EFF	C ~ B (± 2 octave)

● PS ; Pitch Shifter

Voice	1-Voice, 2-Mono, 2-Stereo
Mode	Fast, Medium, Slow, Mono
Pitch	-24 ~ +24
Fine	-50 ~ +50
Pre Delay	0 ms ~ 300 ms, BPM ♪ ~ BPM ♪
Feedback	0 ~ 100
Level	0 ~ 100
Direct Level	0 ~ 100

● PB ; Pedal Bend

Pitch Min	-24 ~ +24
Pitch Max	-24 ~ +24
PdL Position	0 ~ 100
Effect Level	0 ~ 100
Direct Level	0 ~ 100

● 2CE ; 2x2 Chorus

Xover f	100 Hz ~ 4.00 kHz
Low Rate	0 ~ 100, BPM ♪ ~ BPM ♪
Low Depth	0 ~ 100
Low Pre Delay	0.0 msec ~ 40.0 msec
Low Level	0 ~ 100
High Rate	0 ~ 100, BPM ♪ ~ BPM ♪
High Depth	0 ~ 100
High Pre Delay	0.0 msec ~ 40.0 msec
High Level	0 ~ 100

● PAN ; Pan

Wave Shape	0 ~ 100
Rate	0 ~ 100, BPM ♪ ~ BPM ♪
Depth	0 ~ 100

● VB ; Vibrato

Rate	0 ~ 100, BPM ♪ ~ BPM ♪
Depth	0 ~ 100
Trigger	Off, On
Rise Time	0 ~ 100

● UV ; Uni-V

Rate	0 ~ 100, BPM ♪ ~ BPM ♪
Depth	0 ~ 100
Level	0 ~ 100

● SDD ; Short Delay

Delay Time	0 ms ~ 400 ms, BPM ♪ ~ BPM ♪
Feedback	0 ~ 100
Effect Level	0 ~ 120

● HU ; Humanizer

Mode	Picking, Auto, Random
Vowel1	a, e, i, o, u Mode= Picking, Auto
Vowel2	a, e, i, o, u Mode= Picking, Auto
Sensitivity	0 ~ 100 Mode= Picking
Rate	0 ~ 100, BPM ♪ ~ BPM ♪
Depth	0 ~ 100
Manual	0 ~ 100 Mode= Auto
Level	0 ~ 100

● RM ; Ring Modulator

Mode	Normal, Intelligent
Frequency	0 ~ 100
Effect Level	0 ~ 100
Direct Level	0 ~ 100

● SL ; Slicer

Pattern	P1 ~ P20
Rate	0 ~ 100, BPM ♪ ~ BPM ♪
Triggr Sens	0 ~ 100

● AR ; Auto Riff

Phrase	Preset1 ~ Preset30, User1 ~ User10
Loop	Off, On
Tempo	0 ~ 100, BPM ♪ ~ BPM ♪
Sens	0 ~ 100
Key	C(Am) ~ B(G#m) Phrase = Preset
Attack	0 ~ 100
Hold	Off, On
Effect Level	0 ~ 100
Direct Level	0 ~ 100

(Auto Riff Phrase)

User	1 ~ 10
IN	C ~ B
Step	1 ~ 16
Out	C ~ B (± 2 octave) , -, end

● SYN ; Guitar Synth

Sensitivity	0 ~ 100	
Wave	Square, Saw, Brass, Bow	
Chromatic	Off, On	Wave= Square, Saw
Octave Shift	0, -1, -2	Wave= Square, Saw
PWM Rate	0 ~ 100	Wave= Square
PWM Depth	0 ~ 100	Wave= Square
Cutoff Frequency	0 ~ 100	
Resonance	0 ~ 100	
Filter Sensitivity	0 ~ 100	
Filter Decay	0 ~ 100	
Filter Depth	-100 ~ 100	
Attack	Decay, 0 ~ 100	
Release	0 ~ 100	
Velocity	0 ~ 100	
Hold	Off, On	Wave= Square, Saw
Synth Level	0 ~ 100	
Direct Level	0 ~ 100	

● SEQ ; Sub Equalizer

Low EQ	-20 dB ~ +20 dB
Low-Middle Frequency	100 Hz ~ 10.0 kHz
Low-Middle Q	0.5 ~ 16
Low-Middle EQ	-20 dB ~ +20 dB
High-Middle Frequency	100 Hz ~ 10.0 kHz
High-Middle Q	0.5 ~ 16
High-Middle EQ	-20 dB ~ +20 dB
High EQ	-20 dB ~ +20 dB
Level	-20 dB ~ +20 dB

On/Off (エフェクト・オン／オフ)

FX-2 のエフェクト・オン／オフを設定します。

FX Select (エフェクト・セレクト)

使用するエフェクトを選びます。

■ PH (フェイザー)

ダイレクト音に位相のずれた音を加えることで、音に回転感を加えるフェイズ効果を作り出します。

Type (タイプ)

フェイザーの構成を選びます。

4Stage :

4 段フェイザーです。軽いフェイズ効果が得られます。

8Stage :

8 段フェイザーです。ポピュラーなフェイズ効果です。

12Stage :

12 段フェイザーです。深みのあるフェイズ効果が得られます。

Bi-Phase :

フェイズ・シフト回路を 2 台直列に接続したフェイザーです。

Rate (レート)

回転の速さを調節します。

※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定するマスター BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。

曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が速い場合は、BPM の 1/2 または 1/4 に同期するようになります)。

BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Depth (デプス)

回転の深さを調節します。

Manual (マニュアル)

フェイズ効果のかかる中心周波数を調節します。

Resonance (レゾナンス)

レゾナンス量 (フィードバック量) を調節します。値を大きくするほど効果が強調され、クセの強い音になります。

Step (ステップ)

ステップ機能のオン／オフを設定します。「On」にすると、音の変化が階段状になります。

Step Rate (ステップ・レート)

レートとデプスを階段状に変化させる周期を調節します。値を大きくするほど変化が細くなります。

※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定するマスター BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。

曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が速い場合は、BPM の 1/2 または 1/4 に同期するようになります)。

BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Effect Level (エフェクト・レベル)

フェイザーの音量を調節します。

Direct Level (ダイレクト・レベル)

ダイレクト音の音量を調節します。

■ FL (フランジャー)

音に“うねり”を与えるフランジング効果を作り出します。

Rate (レイト)

うねりの速さを調節します。

- ※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定するマスター BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。
曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が速い場合は、BPM の 1/2 または 1/4 に同期するようになります)。
BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Depth (デプス)

うねりの深さを調節します。

Manual (マニュアル)

効果をかける中心周波数を調節します。

Resonance (レゾナンス)

レゾナンス量 (フィードバック量) を調節します。値を大きくするほど効果が強調され、クセの強い音になります。

Separation (セパレーション)

広がりを調節します。値を大きくするほど左右の広がりが増します。

Effect Level (エフェクト・レベル)

フランジャーの音量を調節します。

Direct Level (ダイレクト・レベル)

ダイレクト音の音量を調節します。

■ HR (ハーモニスト)

入力されたギターのパitch (音程) を分析することによって pitch・シフト量を調整し、ダイアトニック・スケール上でのハーモニーを作ることができるエフェクトです。

- ※ 音程を分析する関係上、和音を (2 つ以上の音を同時に) 弾くことはできません。

Voice (ボイス)

pitch・シフト音 (ハーモニー) の音数を選びます。

1-Voice (1- ボイス) :

1 音の pitch・シフト音をモノで出力します。

2-Mono (2- モノ) :

2 音の pitch・シフト音 (HR1, HR2) をモノで出力します。

2-Stereo (2- ステレオ) :

2 音の pitch・シフト音 (HR1, HR2) をそれぞれ左チャンネル、右チャンネルに出力します。

Harmony (ハーモニー)

ハーモニーを作り出すとき、入力音に加える音の高さを設定します。入力音に対して、上下 2 オクターブまで設定することができます。

Scale 1 ~ Scale29 を選んだときは、ユーザーの設定したスケールに対応したハーモニーを作り出します。

PreDly (プリ・ディレイ)

ダイレクト音が発音されてからハーモニー音が発音されるまでの時間を調節します。通常は “0ms” に合わせてください。

- ※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定するマスター BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。
曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が速い場合は、BPM の 2 倍または 4 倍に同期するようになります)。
BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Feedback (フィードバック)

ハーモニー音のフィードバック量を調節します。

Level (レベル)

ハーモニー音の音量を調節します。

Key (キー)

演奏する曲のキーを選びます。キーを設定することによって、曲に合ったハーモニーを作り出すことができます。演奏曲のキーは、楽譜の調号 (♯, ♭) によって次のようになります。

Major	C	F	B [♭]	E [♭]	A [♭]	D [♭]	G [♭]
Minor	Am	Dm	Gm	Cm	Fm	B [♭] m	E [♭] m
Major	G	D	A	E	B	F [♯]	
Minor	Em	Bm	F [♯] m	C [♯] m	G [♯] m	D [♯] m	

Direct Level (ダイレクト・レベル)

ダイレクト音の音量を調節します。

ハーモニストのスケールを作成する (ユーザー・スケール)

Harmony に “-2oct ~ +2oct” のいずれかを選んだとき、思っようなハーモニーにならないときは、「ユーザー・スケール」を使います。

29 種類の「ユーザー・スケール」を設定することができます。

1. [FX-2] を押してから PARAMETER [◀] [▶] を押して、“FX Select” を表示させます。
2. PATCH/VALUE ダイアルで、“HR” を選びます。
3. PARAMETER [◀] [▶] で “HR1 Harm” (または “HR2 Harm”) を選び、PATCH/VALUE ダイアルで PATCH/VALUE ダイアルで Scale 1 ~ 29 のいずれかを選びます。
4. PARAMETER [▶] を数回押して、ユーザー・スケールの設定画面を表示させます。

```
Key=C   DIR EFF
User1: C  -C ♯
```

5. PARAMETER [◀] [▶] でカーソルを移動させ、PATCH/VALUE ダイアルでユーザー・スケールを設定します。

User (ユーザー) :

ユーザー・スケールの番号を切り替えることができます。

DIR (ダイレクト) :

入力音の音名を設定します。ギターを単音で弾いて GT-6 に音名を判断させ、入力音を設定することもできます。

EFF (エフェクト) :

出力音の音名を設定します。

音名の横に表示される三角はオクターブを示しています。

下向きの三角が 1 つで 1 オクターブ下、2 つで 2 オクターブ下になります。

上向きの三角が 1 つで 1 オクターブ上、2 つで 2 オクターブ上になります。

■ PS (ピッチ・シフター)

ピッチを±2 オクターブ変化させることができるエフェクトです。

Voice (ボイス)

ピッチ・シフト音 (ハーモニー) の音数を選びます。

1-Voice (1- ボイス) :

1 音のピッチ・シフト音をモノで出力します。

2-Mono (2- モノ) :

2 音のピッチ・シフト音 (PS1, PS2) をモノで出力します。

2-Stereo (2- ステレオ) :

2 音のピッチ・シフト音 (PS1, PS2) をそれぞれ左チャンネル、右チャンネルに出力します。

Mode (モード)

ピッチ・シフターのモードを選びます。

Fast, Medium, Slow (ファースト、ミディアム、スロー) :

通常のピッチ・シフターで、和音が入力できます。「Fast」「Medium」「Slow」の順でレスポンスは遅くなりますが、変調感 (音揺れ) がなくなります。

Mono (モノ) :

単音入力用のモードです。

外部エクスプレッション・ペダルでペダル・ベンドの効果を得たいときに設定します。

Pitch (ピッチ)

ピッチ・シフト量 (音の高さが変化する量) を、半音単位で調節します。

Fine (ファイン)

ピッチ・シフト音の変化量を微調整をします。

※ ファインの変化量「100」がピッチの変化量「1」に相当します。

PreDly (プリ・ディレイ)

ダイレクト音が発音されてからピッチ・シフト音が発音されるまでの時間を調節します。通常は「0ms」に合わせてください。

※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定するマスター BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。

曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が速い場合は、BPM の 2 倍または 4 倍に同期するようになります)。

BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Feedback (フィードバック)

ピッチ・シフト音のフィードバック量を調節します。

Level (レベル)

ピッチ・シフト音の音量を調節します。

Direct Level (ダイレクト・レベル)

ダイレクト音の音量を調節します。

■ PB (ペダル・ベンド)

ペダル操作でピッチ・ベンド効果が得られるエフェクトです。PB を選ぶと、本体のエクスプレッション・ペダルが自動的にペダル・ベンドになります。

Pitch Min (ピッチ・ミニマム)

エクスプレッション・ペダルを戻したときのピッチを設定します。

Pitch Max (ピッチ・マックス)

エクスプレッション・ペダルを踏み込んだときのピッチを設定します。

PdI Position (ペダル・ポジション)

ペダル・ベンドのペダル位置を調節します。

Effect Level (エフェクト・レベル)

ピッチ・ベンド音の音量を調節します。

Direct Level (ダイレクト・レベル)

ダイレクト音の音量を調節します。

■ 2CE (2x2 コーラス)

帯域分割による低音用と高音用 2 種類のステレオ・コーラスを用意することにより、より自然なコーラス・サウンドが得られます。

Xover f (クロスオーバー・フリクエンシー)

ダイレクト音の周波数成分を低音域と高音域に分ける周波数を設定します。

Low Rate (ロー・レート)

低音域のコーラス効果の速さを調節します。

- ※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定するマスター BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。
- 曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が速い場合は、BPM の 1/2 または 1/4 に同期するようになります)。
- BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Low Depth (ロー・デプス)

低音域のコーラス効果の深さを調節します。ダブリングとして使用するときは「0」でお使いください。

Low Pre Delay (ロー・プリ・ディレイ)

低音域のダイレクト音が出力されてから、エフェクト音が出力されるまでの時間を調節します。プリ・ディレイを長くすると複数の音が鳴っている効果 (ダブリング効果) が得られます。

Low Level (ロー・レベル)

低音域の音量を調節します。

High Rate (ハイ・レート)

高音域のコーラス効果の速さを調節します。

- ※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定するマスター BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。
- 曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が速い場合は、BPM の 1/2 または 1/4 に同期するようになります)。
- BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

High Depth (ハイ・デプス)

高音域のコーラス効果の深さを調節します。ダブリングとして使用するときは「0」でお使いください。

High Pre Delay (ハイ・プリ・ディレイ)

高音域のダイレクト音が出力されてから、エフェクト音が出力されるまでの時間を調節します。プリ・ディレイを長くすると複数の音が鳴っている効果 (ダブリング効果) が得られます。

High Level (ハイ・レベル)

高音域の音量を調節します。

■ PAN (パン)

左右の音量を交互に変えることにより、ステレオで鳴らした時に音が左右のスピーカーの間を飛び交うような効果が得られます。

Wave Shape (ウェーブ・シェイプ)

音量変化を調節します。

Rate (レート)

音量変化の周期を調節します。

- ※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定するマスター BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。
- 曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が速い場合は、BPM の 1/2 または 1/4 に同期するようになります)。
- BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Depth (デプス)

音量変化の深さを調節します。

■ VB (ビブラート)

ダイレクト音のピッチ (音の高さ) を微妙に揺らしてビブラート効果を作り出します。

Rate (レート)

ビブラートの周期を調節します。

※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定するマスター BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。

曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が速い場合は、BPM の 1/2 または 1/4 に同期するようになります)。

BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Depth (デプス)

ビブラートの深さを調節します。

Trigger (トリガー)

フット・スイッチでビブラートのオン／オフを切り換えます。

※ ビブラート効果を作り出すときだけ、フット・スイッチを踏んでトリガー・オンにすることを前提としたパラメーターです。

Rise Time (ライズ・タイム)

トリガーをオンしてから設定したビブラート効果が得られるまでの時間を調節します。

■ UV (ユニ V)

フェイザーと同じようなエフェクトですが、通常のフェイザーでは得られない独特のウネリが特徴的です。

Rate (レート)

エフェクトのかかる周期を調節します。

※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定する Master BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が速い場合は、BPM の 1/2 または 1/4 に同期するようになります)。

BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Depth (デプス)

エフェクトのかかる深さを調節します。

Level (レベル)

音量を調節します。

■ SDD (ショート・ディレイ)

最大ディレイ・タイム 400 ms のディレイです。音に厚みをつけるときに効果的なエフェクトです。

Delay Time (ディレイ・タイム)

ディレイ・タイム (音を遅らせる時間) を調節します。

※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定するマスター BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。

曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が速い場合は、BPM の 2 倍または 4 倍に同期するようになります)。

BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Feedback (フィードバック)

フィードバックとは、ディレイ信号をディレイの入力に戻すことをいいます。ここでは入力に戻す量を調節します。値を大きくするとディレイの繰り返し回数が多くなります。

Effect Level (エフェクト・レベル)

ディレイ音の音量を調節します。

■ HU (ヒューマナイザー)

ギター音を人間の声のような音に変化させるエフェクトです。

Mode (モード)

母音を切り換えるモードを設定します。

Picking (ピッキング) :

ピッキングに合わせて Vowel1 (ヴォウエル 1) から Vowel2 (ヴォウエル 2) に変化します。変化する時間はレートで調節します。

Auto (オート) :

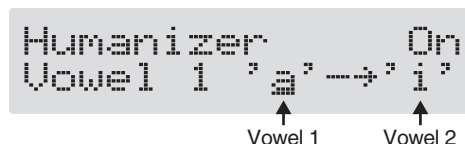
レートとデプスを調節して 2 つの母音 (Vowel1, Vowel2) を切り換えます。

Random (ランダム) :

5 つの母音 (a, e, i, o, u) が「Rate」と「Depth」の調節によってランダムに切り換わります。

Vowel 1 (ヴォウエル 1)

1 つめの母音を選びます。



Vowel 2 (ヴォウエル 2)

2 つめの母音を選びます。

Sensitivity (センシティブィー)

ヒューマナイザーの感度を調節します。感度を低くすると、弱いピッキングではヒューマナイザーの効果はかからず、強いピッキングだけにヒューマナイザーの効果が現れます。感度を高くすると、ピッキングの強弱に関わらずヒューマナイザーの効果が現れます。

Rate (レート)

2 つの母音を切り換える周期を調節します。

- ※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定するマスター BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。
曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が速い場合は、BPM の 1/2 または 1/4 に同期するようになります)。
BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Depth (デプス)

効果の深さを調節します。

Manual (マニュアル)

2 つの母音を切り換えるポイントを調節します。「50」に設定するとヴォウエル 1 と 2 は同じ時間で切り換わり、「50」以下に設定するとヴォウエル 1 の時間が短くなります。「50」以上に設定するとヴォウエル 1 の時間が長くなります。

Level (レベル)

ヒューマナイザーの音量を調節します。

■ RM (リング・モジュレーター)

内部の発振器とギターの原音を掛け合わせるにより、音程感のない金属的な響きに変えるエフェクトです。

Mode (モード)

リング・モジュレーターのモードを設定します。

Normal (ノーマル) :

通常のリング・モジュレーターです。

Intelligent (インテリジェント) :

入力音のピッチ (音の高さ) に合わせて発振周波数が変化し、「Normal」とは違った音程感のある音が得られます。このエフェクトでは、ギター音のピッチが正しく検出されないと、思うような効果が得られません。単音で使うことをおすすめします。

Frequency (フリケンシー)

内部発振器の発振周波数を調節します。

Effect Level (エフェクト・レベル)

エフェクト音の音量を調節します。

Direct Level (ダイレクト・レベル)

ダイレクト音の音量を調節します。

■ SL (スライサー)

音を連続的にカットしてバックিং・フレーズを刻んでいるような効果を作り出します。

Pattern (パターン)

音をカットするスライス・パターンを選びます。

Rate (レート)

音をカットする周期を調節します。

- ※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定するマスター BPM (P.46) の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。
曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます (設定される周期が速い場合は、BPM の 1/2 または 1/4 に同期するようになります)。
BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Trigger Sens (トリガー・センス)

トリガーがかかる感度を調節します。値を低くすると、弱いピッキングではパターンがリトリガーされずに連続カットされ、強いピッキングのときだけフレーズがリトリガーされパターンの頭からカットされます。値を高くすると、弱いピッキングでもパターンがリトリガーされます。

■ AR (オート・リフ)

単音をピッキングするだけでフレーズを自動的に作り出します。超速弾きプレイのサウンドが簡単に得られます。

- ※ オート・リフを演奏中に、次の操作をすると音が乱れることがあります。
 - アンチ・フィードバックを使う
 - 多量の MIDI データを受信する

Phrase (フレーズ)

オート・リフが作り出すフレーズを選びます。

User 1 ~ 10 を選んだときは、ユーザーが設定したフレーズが使われます。

Loop（ループ）

「On」にするとフレーズが連続再生されます。

Tempo（テンポ）

フレーズの速さを調節します。

※ BPM に設定した場合は、パッチごとに設定するマスター BPM（P.46）の値に応じて各パラメーターの値が設定されます。

曲のテンポに合わせたエフェクト・サウンドの設定が簡単にできます（設定される周期が速い場合は、BPM の 1/2 または 1/4 に同期するようになります）。

BPM に設定した場合、PARAMETER [▶] を押していくと、マスター BPM の設定画面が表示されます。

Sens（センシティブィー）

トリガーがかかる感度を調節します。値を低くすると、弱いピッキングではフレーズがリトリガーされずに連続再生され、強いピッキングのときだけフレーズがリトリガーされフレーズの頭から再生されます。値を高くすると、弱いピッキングでもフレーズがリトリガーされます。値を「100」にするとリトリガーはかかりません。

Key（キー）

演奏する曲のキーを選びます。

Attack（アタック）

アタックの強さを調節します。フレーズの各音にアタックを付加することによってピッキングしたような効果を作り出します。

Hold（ホールド）

ピッキングしたあとに「On」にすると、入力信号がなくてもエフェクト音が持続されます。

Effect Level（エフェクト・レベル）

フレーズの音量を調節します。

Direct Level（ダイレクト・レベル）

ダイレクト音の音量を調節します。

オリジナルのフレーズを作る（ユーザー・フレーズ）

あらかじめ用意されている 30 種類のフレーズ以外に、オリジナルのフレーズ（ユーザー・フレーズ）を 10 種類作ることができます。

1. [FX-2] を押してから PARAMETER [◀] [▶] を押して、「FX Select」を表示させます。
2. PATCH/VALUE ダイアルで、「AR」を選びます。
3. PARAMETER [▶] を数回押して「Phrase」を選び、PATCH/VALUE ダイアルで User1 ～ 10 のいずれかを選びます。

4. PARAMETER [▶] を数回押して、ユーザー・フレーズの設定画面を表示させます。

User1 STEP OUT
IN:C 1 C

5. PARAMETER [◀] [▶] でカーソルを移動させ、PATCH/VALUE ダイアルでユーザー・フレーズを設定します。

User（ユーザー）：

ユーザー・フレーズの番号を設定します。

IN（イン）：

入力音の音名を設定します。ギターを単音で弾いて GT-6 に音名を判断させ、入力音を設定することもできます。

STEP（ステップ）：

ステップ番号を設定します。ギターをピッキングしてステップを進めることもできます。

OUT（アウト）：

出力音の音名を設定します。

■ SYN（ギター・シンセ）

エレキ・ギターのピッチを検出して、シンセサイザー・サウンドを出力します。



ギター・シンセを使う際は、次の点にご注意ください。

- ※ 和音を弾いたときは正確に動作しません。他の弦を確実にミュートして、単音で弾いてください。
- ※ ある音が鳴っている状態で次の音を弾く場合は、前の音を確実にミュートしたあとに、アタックをハッキリとつけて弾いてください。
- ※ アタックを検出できなかった場合は、正確に発音しないことがあります。

Sensitivity（センシティブィー）

入力感度を調節します。値を高く設定した方が内部音源の反応もよくなりますが、ミス・タッチなどによる誤動作も増えていきます。誤動作をしない範囲で高い値に設定してください。

Wave（ウェーブ）

ギター・シンセの元となるウェーブの種類を選びます。

Square（スクエア）：

入力されたギター音からピッチ（音の高さ）情報とアタック情報を検出して、内部音源から「方形波（□□□）」の信号を発音します。

第4章 エフェクトの紹介

Saw (ソー) :

入力されたギター音からピッチ (音の高さ) 情報とアタック情報を検出して、内部音源から“のこぎり波 ()”の信号を発音します。

Brass (ブラス) :

ギターの入力音を直接加工してギター・シンセ・サウンドを作り出します。音の立ち上がりが早く、エッジが尖った音を出力します。

Bow (ボウ) :

ギターの入力音を直接加工してギター・シンセ・サウンドを作り出します。アタック感がなく柔らかな音を出力します。

Chromatic (クロマチック)

クロマチック機能をオン/オフします。“On”にすると、シンセ音の音程変化は半音刻みになります。チョーキングやビブラートなど半音以下の音程変化には反応しません。キーボードのように半音以上で音程が変わる楽器をリアルに表現したいときに便利です。

※ ウェーブに「Square」または「Saw」を選んだ場合に設定するパラメーターです。

Octave Shift (オクターブ・シフト)

内部音源の発振音を、ギター音のピッチをもとにオクターブ単位で切り換えます。

※ ウェーブに「Square」または「Saw」を選んだ場合に設定するパラメーターです。

PWM Rate (パルス・ワイズ・モジュレーション・レイト)

内部音源の波形 (Square のみ) にモジュレーション (変調) をかけることによって、音のひろがりや厚みをつけます。値を大きくするほど変調の周期が速くなります。

※ ウェーブに「Square」を選んだ場合に設定するパラメーターです。

PWM Depth (パルス・ワイズ・モジュレーション・デプス)

PWMの深さを調節します。値を「0」にすると、PWMの効果はありません。

※ ウェーブに「Square」を選んだ場合に設定するパラメーターです。

Cutoff Freq (カットオフ・フリケンシー)

音の倍音成分をカットする周波数 (カットオフ周波数) を調節します。

Resonance (レゾナンス)

カットオフ周波数付近の倍音成分を、どのくらい強調するかを調節します。

Filter Sensitivity (フィルター・センシティブィティー)

フィルターの感度を調節します。感度を低くすると、弱いピッキングではフィルターは変化せずに強いピッキングだけに変化します。感度を高くすると、ピッキングの強弱に関わらずフィルターが変化します。値が「0」のときは、ピッキングの強弱に関わらずフィルターのかかりかたは固定になります。

Filter Decay (フィルター・ディケイ)

フィルターの変化が落ち着くまでの時間を調節します。

Filter Depth (フィルター・デプス)

フィルターの深さを調節します。値を大きくするほどフィルターの変化が大きくなります。また、「+」と「-」でフィルターの極性が逆になります。

Attack (アタック)

シンセ音の立ち上がり時間を調節します。値を小さくすると短い時間で立ち上がり、値を大きくするとゆっくりした立ち上がりになります。

また、「Decay」に設定すると短い時間で立ち上がり、ギター音の入力に関わらずリリース状態になります。

※ ウェーブで「Brass」「Bow」を選んだ場合、アタックを「Decay」または「0」にしても、立ち上がり時間はある程度以上は速くなりません。

Release (リリース)

ギター音の入力が終了してからシンセ音が減衰するまでの時間を調節します。

※ ウェーブで「Brass」「Bow」を選んだ場合は、ギター信号そのものを加工するため、リリースを長くしてもギター信号が減衰するとシンセ音も減衰します。

Velocity (ベロシティー)

シンセ音の音量変化量を調節します。値を大きくするほどピッキングの強弱に合わせて音量変化が大きくなります。値を「0」にすると、ピッキングの強弱による音量変化はありません。

Hold (ホールド)

シンセ音の出力を持続させる機能です。シンセ音を出力しているときにホールドを「On」にすると、「Off」にするまでシンセ音の出力が持続します。

ホールド・オン/オフの操作はフット・スイッチで行ないます。通常は「Off」に設定してください。

※ ウェーブに「Square」または「Saw」を選んだ場合に設定するパラメーターです。

Synth Level (シンセ・レベル)

シンセ音の音量を調節します。

Direct Level (ダイレクト・レベル)

ダイレクト音の音量を調節します。

■ SEQ (サブ・イコライザー)

サブ・イコライザーとして音質を調整します。中高域、中低域には、パラメトリック・タイプを採用しています。

Low EQ (ロー・イコライザー)

低音域の音質を調節します。

Low-Middle Frequency (ロー・ミドル・フリケンシー)

「Low-Middle Q」で調節するときの中心周波数を設定します。

Low-Middle Q (ロー・ミドル Q)

「Low-Middle Frequency」で設定された周波数を中心に EQ のかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。

Low-Middle EQ (ロー・ミドル・イコライザー)

中低域の音質を調節します。

High-Middle Frequency (ハイ・ミドル・フリケンシー)

「High-Middle EQ」で調節するときの中心周波数を設定します。

High-Middle Q (ハイ・ミドル Q)

「High-Middle Frequency」で設定された周波数を中心に EQ のかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。

High-Middle EQ (ハイ・ミドル・イコライザー)

中高域の音質を調節します。

High EQ (ハイ・イコライザー)

高音域の音質を調節します。

Level (レベル)

イコライザー通過後の音量を調節します。

NS (ノイズ・サプレッサー)

ギターのピックアップで拾うノイズやハムを抑えるエフェクトです。ギター音のエンベロープ（音量の時間変化）に併せてノイズを減らすため、ギター音への影響がほとんどなく、自然な効果が得られます。

※ ノイズ・サプレッサーは、残響系エフェクトより前に接続してください。残響系エフェクトの不自然なとぎれを防ぎます。

パラメーター	設定値
On/Off	Off, On
Threshold	0 ~ 100
Release	0 ~ 100

On/Off (エフェクト・オン／オフ)

ノイズ・サプレッサーのオン／オフを設定します。

設定は、PATCH/VALUE ダイアルで行います。

※ [NAME/NS/MASTER] を押しても、ノイズ・サプレッサーのオン／オフを切り替えることはできません。

Threshold (スレシヨルド)

ノイズの大きさに応じて調節します。ノイズが大きいときは値を大きく、ノイズが小さいときは値を小さくします。ギター音の減衰が自然に聞こえるように調節してください。

※ スレシヨルドを大きな値に設定すると、ギターのボリュームを絞って演奏したときに音が出なくなることがあります。

Release (リリース)

ノイズ・サプレッサーが働き始めてからノイズの音量が「0」になるまでの時間を調節します。

MASTER (マスター)

パラメーター	設定値
Patch Level	0 ~ 200
Master BPM	40 ~ 250

Patch Level (パッチ・レベル)

GT-6 の出力音量を調節します。

Master BPM (マスター BPM)

各パッチの BPM を設定します。

- ※ BPM (beat per minutes) とは、1 分間あたりの 4 分音符の拍数を表します。
- ※ 外部 MIDI 機器が接続されているとき、マスター BPM は外部 MIDI 機器のテンポに同期するため、マスター BPM の設定をすることはできません。マスター BPM を設定するには“MIDI: Sync Clock” (P.65) を Internal に設定してください。

マスター BPM のコントロール

CTL ペダルを利用してマスター BPM を入力する場合は、ペダル・アサインを次のように設定してください。

クイック・セッティング (P.47)

CTL PEDAL : P09 = BPM (TAP)

マニュアル・セッティング (P.49)

CTL PEDAL : On

CTL PEDAL Target : Master BPM (Tap)

CTL PEDAL Target Min : Off

CTL PEDAL Target Max : On

CTL PEDAL Source Mode : Normal

FV (フット・ボリューム)

音量をコントロールするエフェクトです。

通常はエクスプレッション・ペダルで操作します。

パラメーター	設定値
Level	0 ~ 100

Level (レベル)

フット・ボリュームの音量を設定します。

第5章 エクスプレッション／CTL ペダルを使うための設定（ペダル・アサイン）

エクスプレッション・ペダル／CTL ペダルでエフェクトをコントロールするための設定をします。

エクスプレッション・ペダルを使うための設定

通常、エクスプレッション・ペダルには「FV」（フット・ボリューム）が割り当てられており、音量をコントロールする「ボリューム・ペダル」として使うことができます。

音量の変化幅を設定する

エクスプレッション・ペダルを操作したときに変化する音量の最小値と最大値を設定することができます。

1. [PEDAL ASSIGN] を押します。
2. PARAMETER [◀] [▶] を押して、次の画面を表示させます。
(最小値を設定するとき)

```
EXP PEDAL      On
Foot Vol Min    0
```

(最大値を設定するとき)

```
EXP PEDAL      On
Foot Vol Max    100
```

3. PATCH/VALUE ダイヤルで、値を設定します。
設定値：0～100
4. 設定を保存するときは、ライト操作（P.22）を行います。
[EXIT] を押すと、プレイ画面に戻ります。

メモ

「WAH」（ペダル・ワウ：P.30）やFX-2の「PB」（ペダル・バンド：P.40）をオンにしたときは、自動的にエクスプレッション・ペダルが「ペダル・ワウ」や「ペダル・バンド」として動作するようになります。

※ ペダル・ワウやペダル・バンドをオフにすると、自動的に「ボリューム・ペダル」として動作するようになります。

エクスプレッション・ペダルを「ボリューム・ペダル」として使いたくない場合

次の操作で、エクスプレッション・ペダルをオフにします。

1. [PEDAL ASSIGN] を押します。
2. PARAMETER [◀] [▶] を押して、次の画面のいずれかを表示させます。

```
EXP PEDAL      On
Foot Vol Min    0
```

```
EXP PEDAL      On
Foot Vol Max    100
```

3. [PEDAL ASSIGN] を押して“Off”にします。
4. 設定を保存するときは、ライト操作（P.22）を行います。
[EXIT] を押すと、プレイ画面に戻ります。

エクスプレッション・ペダル・スイッチ／CTL ペダルを使うための設定

時間をかけずに設定をする（クイック・セッティング）

クイック・セッティングは、あらかじめ用意されている「ペダル・セッティング」を選ぶだけで、関連するパラメーターが瞬時に最適な値に設定される機能です。1つ1つパラメーターを選んで設定をする手間を省くことができます。

エクスプレッション・ペダル・スイッチ用のペダル・セッティング

エクスプレッション・ペダルのつま先部分を強く踏み込んだときにコントロール可能なパラメーターを選びます。

- P01: WAH
- P02: FX-2
- P03: OD/DS
- P04: DELAY
- P05: CHORUS
- P06: EQ
- P07: FX-1
- P08: LEVEL INC
- P09: TUNER
- P10: MANUAL

CTL ペダル用のペダル・セッティング

P01: OD/DS
P02: DELAY
P03: CHORUS
P04: EQ
P05: FX-1
P06: FX-2
P07: WAH
P08: TUNER
P09: BPM (TAP)
P10: MANUAL

1. [PEDAL ASSIGN] を押します。
2. PARAMETER [◀] [▶] を押して、次の画面を表示させます。

（エクスプレッション・ペダル・スイッチ）

EXP SW On
P01: WAH

（CTL ペダル）

CTL PEDAL On
P01: OD/DS



[▶] ([◀]) を押しながら [◀] ([▶]) を押すと、上の2つの画面へ、素早く移動することができます。

3. PATCH/VALUE ダイアルで、ペダル・セッティングを選びます。

※ エクスプレッション・ペダル・スイッチまたは CTL ペダルを使わないときは、“Off” を選びます。

4. 必要に応じて、操作2～3を繰り返します。
5. 設定を保存するときは、ライト操作（P.22）を行います。
[EXIT] を押すと、プレイ画面に戻ります。

「クイック・セッティング」の設定を修正する

クイック・セッティングによって設定されたパラメーターの値を、必要に応じて変更することができます。

1. [PEDAL ASSIGN] を押します。
2. PARAMETER [◀] [▶] を押して、次の画面を表示させます。

エクスプレッション・ペダル・スイッチ ターゲット	EXP SW Target Wah: On/Off
エクスプレッション・ペダル・スイッチ ターゲットの変化幅: Min	EXP SW Target Min: Off
エクスプレッション・ペダル・スイッチ ターゲットの変化幅: Max	EXP SW Target Max: Off
エクスプレッション・ペダル・スイッチ ソース・モード	EXP SW Source Mode: Toggle
CTLペダル ターゲット	CTL PEDAL Target DD: On/Off
CTLペダル ターゲットの変化幅: Min	CTL PEDAL Target Min: Off
CTLペダル ターゲットの変化幅: Max	CTL PEDAL Target Max: Off
CTLペダル ソース・モード	CTL PEDAL Source Mode: Toggle

3. PATCH/VALUE ダイアルで、設定値を変更します。
4. 必要に応じて、操作2～3を繰り返します。
5. 設定を保存するときは、ライト操作（P.22）を行います。
[EXIT] を押すと、プレイ画面に戻ります。

ターゲット

コントロールするパラメーターを選びます。

ターゲットの変化幅

コントロールするパラメーターの変化する範囲を設定します。

最小値（Min）から最大値（Max）の間を変化します。

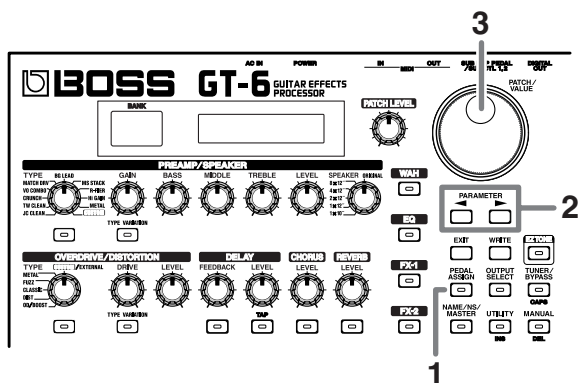
ソース・モード

フット・スイッチの動作を設定します。（P.51）

本体ペダル／外部ペダル／外部 MIDI 機器でエフェクトをコントロールする

本体のエクスプレッション・ペダル、エクスプレッション・ペダル・スイッチ、CTL ペダル、そして GT-6 に接続したペダルや外部 MIDI 機器でエフェクトをコントロールするときに設定します。

どのコントローラーでどのパラメーターをコントロールするかは、各パッチに 8 種類（アサイン・ナンバー 1～8）まで設定することができます。



1. [PEDALASSIGN] を押します。
2. PARAMETER [◀] [▶] を押して、次の画面を表示させます。

アサイン・オン／オフ クイック・セッティング	ASSIGN 1 On P01: PATCH LEVEL
ターゲット	ASSIGN 1 Target MST: Patch Level
ターゲットの変化幅: Min	ASSIGN 1 Target Min: 0
ターゲットの変化幅: Max	ASSIGN 1 Target Max: 200
ソース	ASSIGN 1 Source EXP PEDAL
ソース・モード	ASSIGN 1 Source Mode: Normal
アクション・レンジ ロー	ASSIGN 1 Source Act. Range Lo: 0
アクション・レンジ ハイ	ASSIGN 1 Source Act. Range Hi: 127

3. VALUE ダイアルで設定値を変更します。
4. 操作 2～3 を繰り返して、設定を完成させます。
5. 設定を保存するときは、ライト操作 (P.22) を行います。
[EXIT] を押すと、プレイ画面に戻ります。

アサイン・オン／オフ

ASSIGN 1 On
P01: PATCH LEVEL

8 種類（ASSIGN 1～8）のアサインのオン／オフを設定します。使用するアサインの設定だけを“On”にします。

※ 使わないアサインの設定は、必ず“Off”にしてください。

時間をかけずに設定をする（クイック・セッティング）

「クイック・セッティング」を使うと、以降説明するパラメーターの 1 つ 1 つを設定することなく、設定作業を簡単に済ませることができます。

アサイン・オン／オフの画面で PATCH/VALUE ダイアルを回し、あらかじめ用意されているペダル・セッティングを選ぶと、関連するパラメーターが瞬時に最適な値に設定されます。

- P01: PATCH LEVEL
- P02: PREAMP GAIN
- P03: OD/DS DRIVE
- P04: DELAY LEVEL
- P05: CHORUS LEVEL
- P06: REVERB LEVEL
- P07: MASTER BPM
- P08: SUB EXP FV
- P09: SUB EXP FW
- P10: SUB EXP PS

ターゲット

ASSIGN 1 Target
FU : Level

操作するパラメーターを設定します。ターゲットに設定できるパラメーターは、次のとおりです。

- パッチ・レベル
- パッチ・レベルの INC/DEC（変化のしかた）
- 各エフェクトのエフェクト・オン／オフ
- エフェクトのパラメーター
- マスター BPM（タップ入力）
- マニュアル・オン／オフ
- チューナー／バイパスのオン／オフ
- ディレイ・タイム（タップ入力）
- MIDI スタート／ストップ
- MMC スタート／ストップ

※ 複数のコントローラーで同じターゲットをコントロールするように設定することもできますが、その場合、それぞれのソースで同時にパラメーターを変化させないでください。同時に変化させると、ノイズを発生することがあります。

※ MIDI スタート／ストップをターゲットに選んだ場合、受信側の機器のシンク・クロック・モードを“Remote（リモート）”にする必要があります。

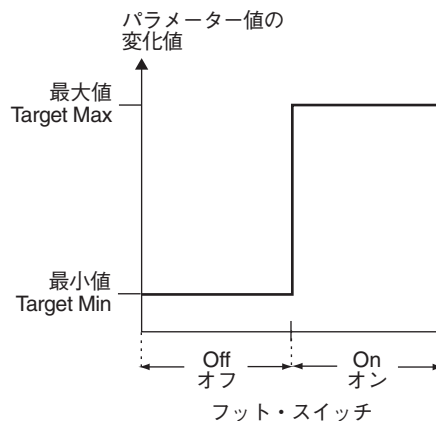
ターゲット・レンジ（ターゲットの変化幅）

ASSIGN 1 Target
Min: 0

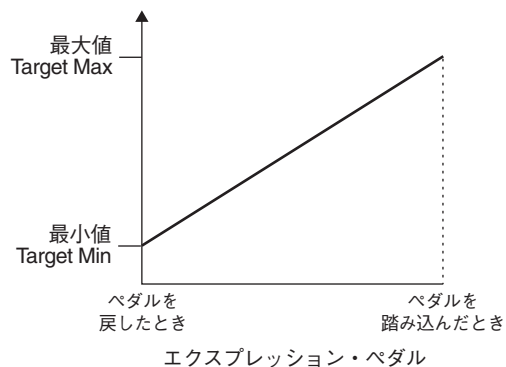
ターゲットに設定したパラメーターの値は、GT-6 で設定した“最小値（Min）”と“最大値（Max）”の間を変化します。コントロール・ペダルやフット・スイッチのように、オン／オフを切り替えるコントローラーを使ったときは、オフ（CLOSE）で“最小値”、オン（OPEN）で“最大値”になります。エクスプレッション・ペダルのように、連続的に値が変化するコントローラーを使ったときは、“最小値”と“最大値”の範囲で設定値が変化します。

また、オン／オフを切り替えるようなターゲットのときは、受信した情報の中間値を境に、オン／オフが切り替わります。

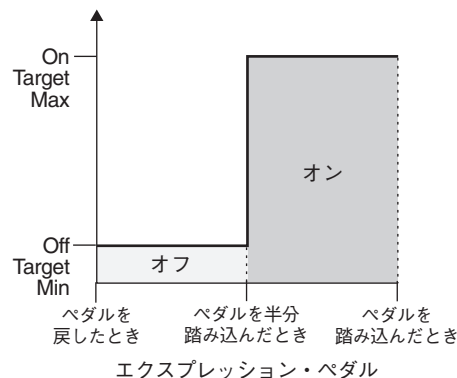
フット・スイッチを使ったとき



エクスプレッション・ペダルを使ったとき



エクスプレッション・ペダルでオン／オフのターゲットをコントロールしたとき



※ 設定できる範囲は、ターゲットの設定によって変化します。

※ “最大値”よりも“最小値”を大きな値にしたときは、パラメーターの変化が逆になります。

※ “最小値”と“最大値”を設定してからターゲットを変更すると、設定値が変わることがあります。ターゲットを変更したときは、“最小値”と“最大値”を確認してください。

ソース

```
ASSIGN 1 Source
EXP PEDAL
```

ターゲットのパラメーターを操作するコントローラー（ソース）を設定します。

ソースに設定できるコントローラーは、次のとおりです。

- 本体のエクスプレッション・ペダル
 - 本体のCTL ペダル
 - 本体のエクスプレッション・ペダル・スイッチ
（ペダルのつま先部分を強く踏み込んだときに機能するスイッチ）
 - SUB EXP PEDAL/SUB CTL 1, 2 ジャックに接続した外部ペダル（エクスプレッション・ペダルまたはフット・スイッチ）
 - 外部 MIDI 機器からのコントロール・チェンジ情報（1～31, 64～95）
- ※ CTL ペダル・インジケーターは、CTL ペダルでの設定に従います。

ソース・モード

```
ASSIGN 1 Source
Mode: Normal
```

ソースにモーメンタリー・タイプのフット・スイッチ（別売：FS-5U など）を接続したときに、フット・スイッチの操作でどのように設定値を変化させるかを設定します。

- ※ 本体のコントロール・ペダルはモーメンタリー・タイプです。使用する目的に合わせて設定を切り替えてください。

Normal（ノーマル）

通常はオフ（最小値）になり、フット・スイッチを踏んでいる間だけオン（最大値）になります。

Toggle（トグル）

フット・スイッチを踏むたびにオフ（最小値）／オン（最大値）が切り替わります。

- ※ ラッチ・タイプのフット・スイッチ（別売：FS-5L など）を接続したときや、コントローラーにフット・スイッチ以外を設定したときは、“Normal” に設定してください。

モーメンタリー・タイプとラッチ・タイプの使い分け
エフェクト・オン／オフをフット・スイッチで切り替える場合

フット・スイッチにはモーメンタリー、ラッチのどちらを使っても構いません。

モーメンタリー・タイプを使うときは“Toggle” に設定します。

ラッチ・タイプを使うときは“Normal” に設定します。どちらもフット・スイッチを踏むたびにエフェクト・オン／オフが切り替わります。

フット・スイッチを踏んでいる間だけエフェクトのかかりを深くする、または踏んでいる間だけエフェクト・オンにする場合

フット・スイッチはモーメンタリー・タイプを使って“Normal” に設定します。

フット・スイッチを踏んでいる間と踏んでいないときで、エフェクトの状態をかえることができます。

ラッチ・タイプのフット・スイッチでこのような動作をさせることはできません。

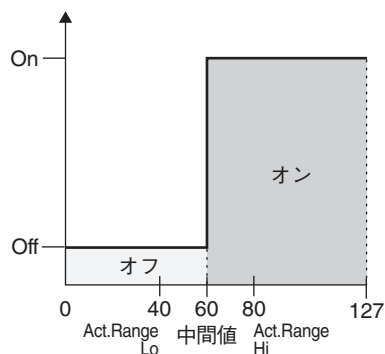
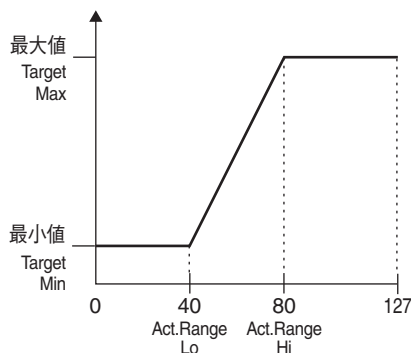
アクティブ・レンジ

```
ASSIGN 1 Source
Act.Range Lo: 0
```

```
ASSIGN 1 Source
Act.Range Hi: 127
```

エクスプレッション・ペダルなど、連続的に値が変化するコントローラーをソースにしたときの、設定値が変化する操作範囲を設定します。コントローラーを操作範囲外で動かしても設定値は変化せず、“最小値”もしくは“最大値”のままになります。

（例）Act. Range Lo : 40、Act.Range Hi : 80 のとき



※ フット・スイッチのようにオン／オフを切り替えるコントローラーをソースに使ったときは“Lo : 0”、“Hi : 127”のままでお使いください。設定によっては、設定値が変化しないことがあります。

外部エクスプレッション・ペダルで、フット・ボリューム／ワウ／ピッチ・ベンドをコントロールする

SUB EXP PEDAL/SUB CTL 1,2 ジャックに接続したエクスプレッション・ペダルでフット・ボリューム／ワウ／ピッチ・ベンドをコントロールするときは、以下の設定をします。

※ SYS: Sub CTL1 Func (P.63) を“Assignable” に設定してください。

1. [PEDAL ASSIGN] を押します。
2. PARAMETER [◀] [▶] を押して、ASSIGN 1 ～ 8 のいずれかを選びます。

※ 画面上段の表示が点滅しているときは、[PEDAL ASSIGN] を押して点滅を点灯に変えます。

3. PATCH/VALUE ダイヤルで、次の設定を選びます。

フット・ボリュームの場合：

P08: SUB EXP FV

ワウの場合：

P09: SUB EXP FW

ピッチ・ベンドの場合：

P10: SUB EXP PS

```
ASSIGN 1 On
P08: SUB EXP FV
```

```
ASSIGN 1 On
P08: SUB EXP FW
```

```
ASSIGN 1 On
P08: SUB EXP PS
```

4. 3の操作でワウまたはピッチ・ベンドを選んだときは、次の操作をします。

ワウの場合：

[WAH] を押して“On”を表示させます。

次に、PARAMETER [◀] [▶] を押して“FX Select”を表示させ、PATCH/VALUE ダイヤルで“FW”を選びます。

ピッチ・ベンドの場合：

[FX-2] を押して“On”を表示させます。

次に、PARAMETER [◀] [▶] を押して“FX Select”を表示させ、PATCH/VALUE ダイヤルで“PS”を選びます。

第 6 章 カスタマイズ機能を使う

カスタマイズ機能を使うと、「プリアンプ／スピーカー・シミュレーター」「オーバードライブ／ディストーション」「ペダル・ワウ」について、ユーザー自らがエフェクターを設計する感覚で設定をさらに細かく変更し、「カスタム」として本体に記憶させることが可能です。

記憶したカスタム・タイプは、別のパッチでも使用することができます。

以降記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標でボスとは関係ありません。

本書ではCOSMによってシミュレートされたサウンドを適切に表現するために、これらの名称を使用しています。

プリアンプの「カスタム」を設定する

カスタム 1 (Custom1)、カスタム 2 (Custom2)、カスタム 3 (Custom3) の 3 種類を設定しておくことができます。

※ カスタム 1、2、3 をエディットすると、カスタムを使用しているパッチの音色はすべて変更されます。

1. PREAMP/SPEAKER の TYPE つまみを「CUSTOM」に合わせます。
2. PREAMP/SPEAKER の [TYPE VARIATION] を押して“Custom1” “Custom2” “Custom3” のいずれかを表示させます。

Preamp/SP On
Type Custom1

3. PREAMP/SPEAKER のオン／オフ・スイッチを押します。
PREAMP/SPEAKERのエディット画面が表示されます。
4. PARAMETER [◀] [▶] を押して、カスタム専用のパラメーターを表示させます。

カスタム タイプ	EDIT CUSTOM 1 Type JC Clean
カスタム ボトム	EDIT CUSTOM 1 Bottom 0
カスタム エッジ	EDIT CUSTOM 1 Edge 0
カスタム ベース・フリクエンシー	EDIT CUSTOM 1 Bass Freq 0
カスタム トレブル・フリクエンシー	EDIT CUSTOM 1 Treble Freq 0

カスタム プリアンプ・ロー	EDIT CUSTOM 1 Preamp Low 0
カスタム プリアンプ・ハイ	EDIT CUSTOM 1 Preamp High 0
カスタム スピーカー・ロー	EDIT CUSTOM 1 Speaker Low 0
カスタム スピーカー・ハイ	EDIT CUSTOM 1 Speaker High 0

5. PATCH/VALUE ダイアルを回して、設定値を変更します。
6. 必要なだけ、4～5 の操作を繰り返します。
7. [EXIT] を押して、プレイ画面に戻ります。

Type (タイプ)

基本となるタイプを選びます。

JC Clean :

ローランド JC-120 のサウンドです。

TW Clean :

Fender の Twin Reverb をモデリングしています。

Crunch :

自然な歪みの得られるクランチ・サウンドです。

VO Lead :

VOX AC-30TB のリード・サウンドをモデリングしています。

BG Lead :

MESA/Boogie コンボ・アンプのリード・サウンドをモデリングしています。

MS1959 Stk :

Marshall 1959 のインプット I に入力したサウンドをモデリングしています。

MODERN Stk :

MESA/Boogie DUAL Rectifier の ORANGE チャンネルをモデリングしています。

Bottom (ボトム) -50 ~ +50

低音域での歪みぐあいを調節します。

Edge (エッジ) -50 ~ +50

高音域での歪みぐあいを調節します。

Bass Freq (ベース・フリクエンシー) -50 ~ +50

BASS つまみの効く周波数を調節します。

Treble Freq (トレブル・フリクエンシー) -50 ~ +50

TREBLE つまみの効く周波数を調節します。

Preamp Low (プリアンプ・ロー) -50 ~ +50

プリアンプ部の低音域の音色を調節します。

Preamp High (プリアンプ・ハイ) -50 ~ +50

プリアンプ部の高音域の音色を調節します。

Speaker Low (スピーカー・ロー) -50 ~ +50

スピーカー部の低音域の音色を調節します。

Speaker High (スピーカー・ハイ) -50 ~ +50

スピーカー部の高音域の音色を調節します。

オーバードライブ／ディストーションの「カスタム」を設定する

本体にカスタム 1 (Custom1)、カスタム 2 (Custom2) の 2 種類を設定しておくことができます。

※ カスタム 1、2 をエディットすると、カスタムを使用しているパッチの音色はすべて変更されます

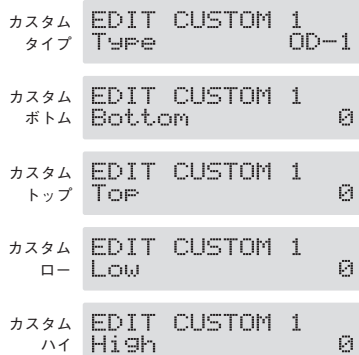
1. OVERDRIVE/DISTORTION の TYPE つまみを「CUSTOM/EXTERNAL」に合わせます。
2. OVERDRIVE/DISTORTION の [TYPE VARIATION] を押して “Custom1” または “Custom2” を表示させます。



3. [OVERDRIVE/DISTORTION] を押します。

OVERDRIVE/DISTORTION のエディット画面が表示されます。

4. PARAMETER [◀] [▶] を押して、カスタム専用のパラメーターを表示させます。



カスタム タイプ	EDIT CUSTOM 1 Type	OD-1
カスタム ボトム	EDIT CUSTOM 1 Bottom	0
カスタム トップ	EDIT CUSTOM 1 Top	0
カスタム ロー	EDIT CUSTOM 1 Low	0
カスタム ハイ	EDIT CUSTOM 1 High	0

5. PATCH/VALUE ダイアルを回して、設定値を変更します。

6. 必要なだけ、4 ~ 5 の操作を繰り返します。

7. [EXIT] を押して、プレイ画面に戻ります。

Type (タイプ)

基本となるタイプを選びます

OD-1 :

ボス OD-1 のサウンドです。

OD-2 :

ボス OD-2 のサウンドです。

CRUNCH :

ボス BD-2 のクランチ・サウンドです。

DS-1 :

オーソドックスなディストーション・サウンドです。

DS-2 :

ヘビーなディストーション・サウンドです

METAL1 :

ボス MT-2 のサウンドです。

METAL2 :

ヘビーなメタル・サウンドです。

FUZZ :

FUZZFACE のサウンドをモデリングしています。

Bottom (ボトム) -50 ~ +50

低音域での歪みぐあいを調節します。

Top (トップ) -50 ~ +50

高音域での歪みぐあいを調節します。

Low (ロー) -50 ~ +50

低音域の音色を調節します。

High (ハイ) -50 ~ +50

高音域の音色を調節します。

ペダル・ワウの「カスタム」を設定する

カスタム 1 (CUSTOM1)、カスタム 2 (CUSTOM2)、カスタム 3 (CUSTOM3) の 3 種類を設定しておくことができます。

※ カスタム 1、2、3 をエディットするとカスタムを使用しているパッチの音色はすべて変更されます。

1. [WAH] を押します。

WAH のエディット画面が表示されます。

2. PARAMETER [◀] [▶] を押して “FX Select” を表示させ、PATCH/VALUE ダイアルで “WAH” または “FW” を選びます。

3. PARAMETER [◀] [▶] を押して、“Type” を表示させます。

4. PATCH/VALUE ダイアルを回して、“Custom1 ~ 3” のいずれかを選びます。

```
Pedal Wah On
Type Custom1
```

5. PARAMETER [◀] [▶] を押して、カスタム専用のパラメーターを表示させます。

カスタム タイプ	EDIT CUSTOM 1 Type CRY WAH
カスタム Q	EDIT CUSTOM 1 Q 0
カスタム レンジ・ロー	EDIT CUSTOM 1 Range Low 0
カスタム レンジ・ハイ	EDIT CUSTOM 1 Range High 0
カスタム プレゼンス	EDIT CUSTOM 1 Presence 0

6. PATCH/VALUE ダイアルを回して、設定値を変更します。

7. 必要なだけ、3 ~ 5 の操作を繰り返します。

8. [EXIT] を押して、プレイ画面に戻ります。

Type (タイプ)

基本となるタイプを選びます。

CRY WAH :

70 年代の CRYBABY をモデリングしています。

VO WAH :

VOX の V846 をモデリングしています。

Fat WAH :

図太い音色のワウです。

Light WAH :

クセの無い上品なワウです。

7String WAH :

7 弦ギターに対応した、可変範囲の広いワウです。

Q -50 ~ +50

ワウ効果の音色にクセを付ける度合いを調節します。

Range Low (レンジ・ロー) -50 ~ +50

ペダルを戻したときの音色を設定します。

Range High (レンジ・ハイ) -50 ~ +50

ペダルを踏み込んだ時の音色を設定します。

Presence (プレゼンス) -50 ~ +50

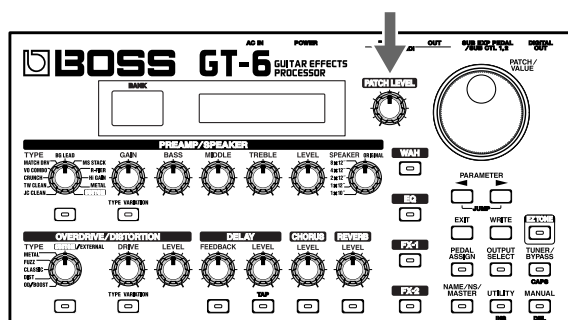
ワウ効果の音質を調節します。

第 7 章 GT-6 の便利な機能

パッチの音量を素早く調節する (PATCH LEVEL つまみ)

現在選ばれているパッチの音量を素早く調節したいときは、PATCH LEVEL つまみを使います。

PATCH LEVEL つまみを回すと、現在選ばれているパッチに設定されているパッチ・レベルを直接コントロールすることができます。



※ ライト操作 (P.22) を行うと、PATCH LEVEL つまみで調節したパッチ・レベルが記憶されます。

各エフェクトをペダルでオン／オフさせる (マニュアル・モード)

GT-6 は、ペダルを「指定したエフェクトのオン／オフ切り替え用ペダル」として使用するマニュアル・モードを備えています。

マニュアル・モードを利用すると、パッチ・ナンバーはそのまま、指定したエフェクトのオン／オフを切り替えることができます。

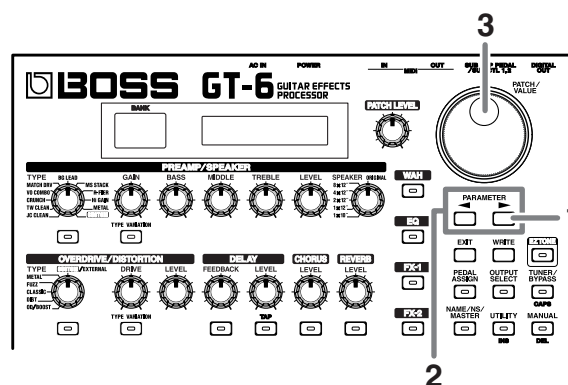
マニュアル・モードに切り替える

[MANUAL] を押すたびに、マニュアル・モードのオン／オフが切り替わります。

マニュアル・モードをオンにすると、ディスプレイの表示が次のようになります。



ペダルでオン／オフさせるエフェクトを選ぶ



1. マニュアル・モードがオンの状態で PARAMETER [▶] を押し、次の画面を表示させます。

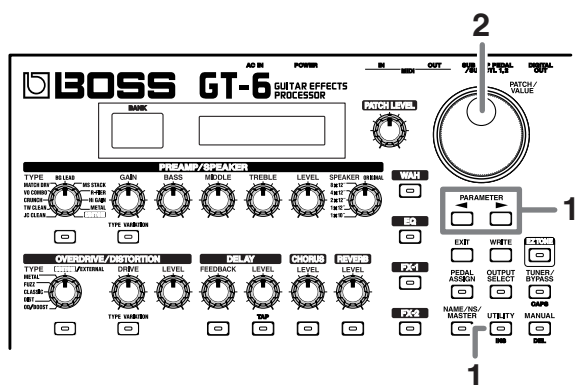


2. PARAMETER [◀] [▶] を押して、設定を変更するペダルにカーソルを合わせます。
3. VALUE ダイヤルで、ペダルに対応させるエフェクトを選びます。
4. 2～3の操作を繰り返して、各ペダルに対応させるエフェクトを選びます。

マニュアル・モードでプリアンプの音色を比較する

「アンプ・スイッチ・モード」の設定により、修正前と修正後のプリアンプの音色を比較することができます。

プリアンプを割り当てたペダルを操作したとき、オンになるとパッチに設定されているプリアンプの音色になり、オフになるとプリアンプはオンのまま、現在のつまみの位置の音色になります。



1. [UTILITY] を押してから PARAMETER [◀] [▶] を押して、「Amp Switch」を表示させます。

```
SYS: Amp Switch
Amp On/Off
```

2. VALUE ダイヤルで、アンプ・スイッチ・モードの設定をします。

Amp On/Off :

プリアンプをオン／オフします。

Toggle to Knobs :

プリアンプを割り当てたペダルのインジケータが点灯しているときはマニュアル・モードにする前の音色、点滅しているときは現在のつまみの位置の音色になります。

- ※ プリアンプがオフになっているときは無効になります。

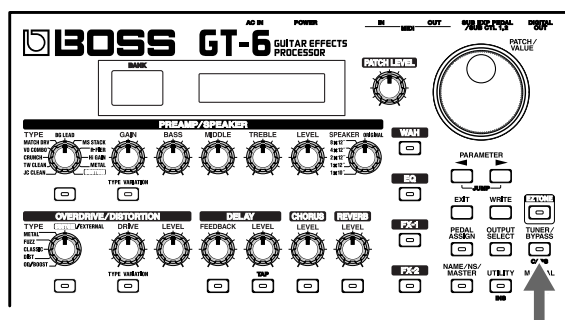
3. [EXIT] を押して、プレイ画面に戻ります。

ギターをチューニングする

チューナー／バイパス機能をオンにすると、入力音を直接出力する状態（バイパス）になり、チューナーが動作します。

この状態でギターをチューニングすることができます。

チューナー／バイパス機能をオンにする



[TUNER/BYPASS] を押すたびに、チューナー／バイパスのオン／オフが切り替わります。

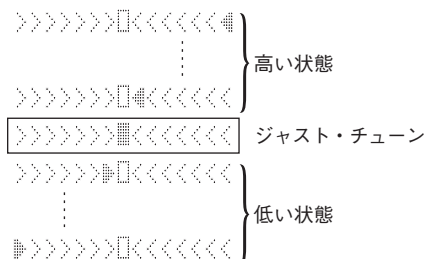
チューナー／バイパスがオンになると、ボタンのインジケータが点灯します。

チューニング時の表示について

GT-6 の内蔵チューナーは、ディスプレイの上段に音名、下段にチューニング・ガイドが表示され、入力音と表示音のズレが表示されます。



正確な音の高さからのズレが±50セント以内の場合、チューニング・ガイドにズレの大きさが表示されます。チューニング・ガイドを見ながら、中央の表示が「■」になるようにチューニングをします。



チューニングのしかた

1. チューニングする弦を開放の単音で弾きます。

弾いた弦のピッチに近い音名がディスプレイに表示されます。

- ※ チューニングする弦だけを単音で正確に弾いてください。

2. チューニングしている弦の音名がディスプレイに表示されるようにチューニングします。

	7 弦	6 弦	5 弦	4 弦	3 弦	2 弦	1 弦
レギュラー	B	E	A	D	G	B	E
半音下げ	A#	D#	G#	C#	F#	A#	D#
1 音下げ	A	D	G	C	F	A	D

3. チューニング・ガイドを見ながら、中央の表示が“■”になるようにチューニングをします。

4. 操作1～3を繰り返して、すべての弦をチューニングします。

- ※ アームのついたギターをチューニングする場合は、1 本の弦を合わせると他の弦がずれることがあります。その場合、最初は音名が表示される程度に合わせ、その後、各弦を何回もチューニングし直すようにしてください。

チューナーの設定を変える

チューナーに関する以下の設定を変更することができます。

基準ピッチ (435 ～ 445 Hz)

TUNER Pitch
A = 440Hz

演奏時に音の高さの基準になる楽器（例えばピアノ）の A4（ピアノでは鍵盤中央のラの音）の周波数を基準ピッチといいます。GT-6 では、435 ～ 445Hz の間で基準ピッチを設定することができます。

- ※ 工場出荷時は、440 Hz に設定されています。

チューナー／バイパス時の音量設定 (Mute, Bypass)

TUNER Out
Bypass

チューナー／バイパス時の出力を設定します。

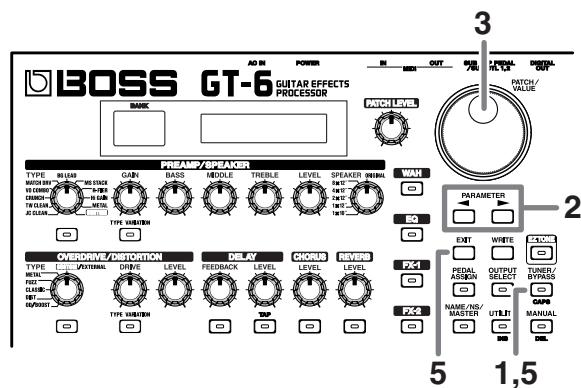
Mute :

何も出力しないミュート状態になります。

Bypass :

入力音を直接出力するバイパス状態になります。

- ※ 工場出荷時は、“Bypass” に設定されています。
- ※ “Bypass” に設定されている場合は、チューナー／バイパスがオンのときにエクスプレッション・ペダルを操作すると、ダイレクト音の音量を調節することができます。



1. [TUNER/BYPASS] を押して、インジケータを点灯させます。
2. PARAMETER [◀] [▶] を押して、“TUNER Pitch” または “TUNER Out” を表示させます。
3. VALUE ダイヤルで設定を変更します。
4. 2～3 の操作を繰り返して、各項目の設定を変更します。
5. [TUNER/BYPASS] または [EXIT] を押してプレイ画面に戻ります。

ナンバー・ペダルでチューナー／バイパスをオン／オフする

ナンバー・ペダルでチューナー／バイパスのオン／オフできるように設定することができます。

1. [UTILITY] を押してから PARAMETER [◀] [▶] を押して、“SYS: Pdl Tuner SW” を表示させます。

SYS: Pdl Tuner SW
Off

2. PATCH/VALUE ダイアルを回して、On にします。

3. [EXIT] を押して、プレイ画面に戻ります。

現在選ばれているパッチのナンバーと同じナンバーのペダルを踏むと、チューナー／バイパスがオンになります。もう一度踏むとオフになります。



CTL ペダルでチューナー／バイパスをオン／オフする

ペダル・アサイン (P.47) の設定で、クイック・セッティングを利用して CTL ペダルにペダル・セッティングの P08= TUNER を設定すると、CTL ペダルでチューナー／バイパスをオン／オフさせることができます。

エクスプレッション・ペダルを戻したときにチューナー／バイパスをオンにする

エクスプレッション・ペダルを「ボリューム・ペダル」として動作させる場合、ペダル・アサイン (P.49) の設定で、ASSIGN 1～8 のいずれかを以下のように設定します。

Target : TUNER On/Off

Target Min : On

Target Max : Off

Source : EXP PEDAL

Mode : Normal

Act. Range Lo : 0

Act. Range Hi : 1 ~ 127

この設定により、演奏中にエクスプレッション・ペダルを戻したときにチューナー／バイパスをオンにすることができます。

使用環境に応じて全体の音質を調節する（グローバル）

GT-6 には、すべてのパッチ共通で一時的に設定を変更する機能を備えています。これを「グローバル機能」といいます。

グローバル機能を利用すると、各パッチに設定されている内容はそのまま、使用する機材や環境に合わせた一時的な設定変更を短時間で行うことができます。

1. [UTILITY] を押してから PARAMETER [◀] [▶] を押して、次の画面を表示させます。

グローバル ロー・イコライザー	GLOB: Low EQ	0dB
グローバル ハイ・イコライザー	GLOB: High EQ	0dB
グローバル ノイズサプレッサー・スレッシュホールド	GLOB: NS Threshold	0dB
グローバル リバーブ・レベル	GLOB: Reverb Level	100%

2. PATCH/VALUE ダイアルを回して、設定値を変更します。

3. 必要に応じて、操作 1～2 を繰り返します。

4. [EXIT] を押して、プレイ画面に戻ります。

Low EQ（ロー・イコライザー）-20 dB ~ +20 dB

低音域の音質を調節します。

※ 各パッチのイコライザー・オン／オフの設定に関わらず音質を調節します。

High EQ（ハイ・イコライザー）-20 dB ~ +20 dB

高音域の音質を調節します。

※ 各パッチのイコライザー・オン／オフの設定に関わらず音質を調節します。

NS Threshold（ノイズ・サプレッサー・スレッシュホールド）-20 dB ~ +20 dB

各パッチに設定されているノイズ・サプレッサーのスレッシュホールド・レベルを -20 dB ~ +20 dB の範囲で調節します。接続するギターが変わったとき、ギターの出力レベルに合わせて調節すると効果的です。

※ 各パッチに設定されている内容で使用する場合は、“0 dB” に設定してください。

※ ノイズ・サプレッサーをオフにしているパッチでは効果がありません。

Reverb Level (リバーブ・レベル) 0 % ~ 200 %

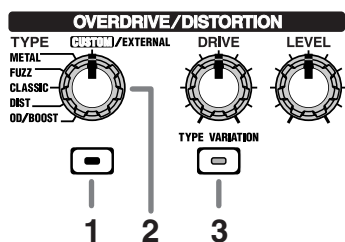
各パッチに設定されているリバーブ・レベルを 0% ~ 200% の範囲で調節します。演奏する空間の残響に合わせてリバーブ・レベルを調節すると効果的です。

- ※ 各パッチに設定されている内容で使用する場合は、“100%” に設定してください。
- ※ リバースをオフにしているパッチでは効果がありません。

外部エフェクターを使う

リア・パネルの EXTERNAL ジャックに接続した外部エフェクターを、本体のオーバードライブ／ディストーションの代わりに使用することができます。

外部エフェクターを使うときは、OVERDRIVE/DISTORTION
の TYPE を “External” にする必要があります。



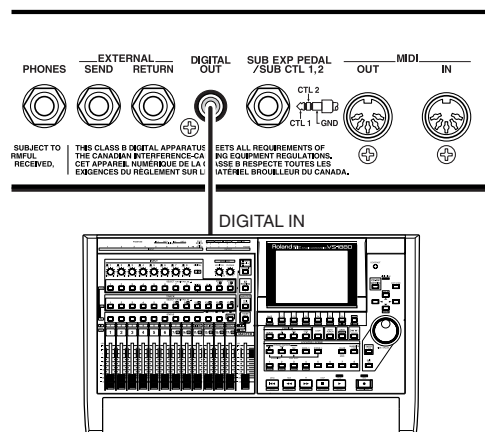
1. [OVERDRIVE/DISTORTION] を押して、インジケータを点灯させます。
2. OVERDRIVE/DISTORTION の TYPE つまみを、CUSTOM/EXTERNAL に合わせます。
3. OVERDRIVE/DISTORTION の [TYPE VARIATION] を数回押してインジケータを緑色に点灯させ、“External” を表示させます。

Overdrive/Dst On
External

- 4. [EXIT] を押して、プレイ画面に戻ります。**
- OVERDRIVE/DISTORTION の DRIVE つまみで、外部エフェクターに送る信号のレベル（SEND・レベル）を調節することができます。
 - OVERDRIVE/DISTORTION の LEVEL つまみで、外部エフェクターから送られてくる信号のレベル（RETURN・レベル）を調節することができます。

デジタル・アウトを使う

リア・パネルの DIGITAL OUT コネクターからはデジタル・オーディオ信号が出力されます。デジタル・イン端子のあるデジタル・レコーダーなどに直接接続して、音質劣化の無いレコーディングをすることができます。



エフェクトの出力レベルをレベル・メーターで確認する

各エフェクトの出力レベルをメーター表示させることができます。各エフェクトの出力レベルのチェックに便利です。

- ※ [UTILITY] を押してから、PARAMETER [◀] [▶] を押して選ぶこともできます。

PETER: Input

- 2. PATCH/VALUE つまみを回して出力レベルをチェックするエフェクトを選びます。**
- ※ オンになっているエフェクトだけを選ぶことができます。
 - ※ “Input” を選ぶと、INPUT ジャックへ入力された信号のレベルを確認することができます。“Output” を選ぶと、GT-6 から出力される信号のレベルを確認することができます。
 - ※ 出力レベルが大きすぎると、十分な効果を発揮できません。メーターが振りきれないように各エフェクトの出力レベルをチェックして、適切な値に調節してください。

- 3. 「EXIT」を押して、プレイ画面に戻ります。**

第 8 章 その他の機能

ディスプレイのコントラストを調節する (LCD コントラスト)

GT-6 を設置する位置によっては、ディスプレイ (右側) の表示が見えにくくなることがあります。その場合は、ディスプレイのコントラスト (明瞭度) を調節します。

1. [UTILITY] を数回押して、“LCD Contrast” を表示させます。

※ [UTILITY] を押してから、PARAMETER [◀] [▶] を押して選ぶこともできます。

```
SYS:LCD Contrast
16
```

2. PATCH/VALUE ダイアルを回して、コントラストを調節します。

設定値：1 ~ 16

3. [EXIT] を押して、プレイ画面に戻ります。

PATCH/VALUE ダイアルの動作を設定する (ダイアル・ファンクション)

PATCH/VALUE ダイアル操作して、パッチが切り替えられるようにするかしないかを設定します。

1. [UTILITY] を押してから PARAMETER [◀] [▶] を押して、“Dial Func” を表示させます。

```
SYS:Dial Func
PATCH No.& VALUE
```

2. PATCH/VALUE ダイアルを回して、PATCH/VALUE ダイアルの動作を設定します。。

PATCH No.& VALUE :

パッチの切り替えと、設定値の変更の両方に使用します。ペダル操作によるパッチの切り替え以外に、PATCH/VALUE ダイアルを回してもパッチが切り替わります。

VALUE Only :

PATCH/VALUE ダイアルは、設定値の変更をするときだけに使用します。

3. [EXIT] を押して、プレイ画面に戻ります。

パッチ切り替えのタイミングを設定する (パッチ・チェンジ・モード)

ペダルを操作してパッチを切り替えるとき、どのタイミングで次のパッチに切り替わるようにするかを設定します。

1. [UTILITY] を押してから PARAMETER [◀] [▶] を押して、“Patch Change” を表示させます。

```
SYS:Patch Change
Wait for a NUM.
```

2. PATCH/VALUE ダイアルを回して、パッチ切り替えのタイミングを設定します。

Immediate :

バンク・ナンバーのいずれかのペダルを踏んだ瞬間に次のパッチに切り替わります。

Wait for a NUM. :

バンク・ペダルを踏んでバンクを切り替えても、ディスプレイの表示が変化するだけでパッチは切り替わりません。ナンバー・ペダルを踏んだ時点でバンクとナンバーが確定され、次のパッチに切り替わります。

3. [EXIT] を押して、プレイ画面に戻ります。

切り替え可能なバンクを限定する (バンク・エクステント)

切り替え可能なバンクの上限を設定して切り替えるバンクの範囲を限定することにより、必要なパッチだけが選べるようになります。

1. [UTILITY] を押してから PARAMETER [◀] [▶] を押して、“Bank Extent” を表示させます。

```
SYS:Bank Extent
85
```

2. PATCH/VALUE ダイアルを回して、バンクの上限を設定します。

設定値：1 ~ 85

3. [EXIT] を押して、プレイ画面に戻ります。

「エクスプレッション・ペダル・ホールド」を設定する

パッチを切り替えたとき、ペダル・アサイン (P.47) の操作状態が次のパッチに反映されるか／反映されないかを設定します。

※ アサインのソース・モードがトグル動作 (踏むたびに Min 値と Max 値が切り替わる動作) の場合には、エクスプレッション・ペダル・ホールドの処理は行われません。

1. [UTILITY] を押してから、PARAMETER [◀] [▶] を押して、“EXP Pdl Hold” を表示させます。

```
SYS:EXP Pdl Hold
On
```

2. PATCH/VALUE ダイアルを回して、エクスプレッション・ペダル・ホールドを設定します。

On : ペダル・アサインの操作状態が反映されます。

(例)

エクスプレッション・ペダルで音量をコントロールしている状態でパッチを切り替えると、次のパッチの音量は、現在のペダルの位置 (傾き) を反映した値になります。

切り替えたパッチがエクスプレッション・ペダルでワウをコントロールするように設定していたときは、音量はパッチに設定されている値になり、ワウの効果が現在のペダルの位置 (傾き) を反映した値で得られます。

Off : ペダル・アサインの操作状態は反映されません。

(例)

エクスプレッション・ペダルで音量をコントロールしている状態でパッチを切り替えると、次のパッチの音量はパッチに設定されている値になります。

エクスプレッション・ペダルを操作し、その情報が GT-6 に伝わると、操作に応じた音量になります。

3. [EXIT] を押して、プレイ画面に戻ります。

つまみの動作を設定する (ノブ・モード)

つまみを操作したときの設定値の変化のしかたを設定します。

1. [UTILITY] を押してから、PARAMETER [◀] [▶] を押して、“Knob Mode” を表示させます。

```
SYS:Knob Mode
Immediate
```

2. PATCH/VALUE ダイアルを回して、ノブ・モードを設定します。

Immediate :

つまみを操作すると、すぐに値が変更されます。

Current Setting :

つまみを操作して、つまみの位置がパッチに設定されている値と一致した時点から値が変わり始めます。

3. [EXIT] を押して、プレイ画面に戻ります。

外部フット・スイッチの使いかたを設定する (SUB CTL1, 2 ファンクション)

リア・パネルの SUB EXP PEDAL/SUB CTL1,2 ジャックにフット・スイッチを接続して使う場合の、フット・スイッチの働きを「サブ・コントロール 1」と「サブ・コントロール 2」で設定します。

- ※ 専用の接続コード PCS-31 (Roland : 別売) を使ってフット・スイッチを 2 個接続した場合、白い線のあるプラグに接続したフット・スイッチがサブ・コントロール 1、赤い線のあるプラグに接続したフット・スイッチがサブ・コントロール 2 の設定で動作します。
- ※ フット・スイッチを 1 つだけ接続したときには、サブ・コントロール 1 の設定が有効になります。

1. [UTILITY] を押してから PARAMETER [◀] [▶] を押して、“Sub CTL1 Func” または “Sub CTL2 Func” を表示させます。

```
SYS: SubCTL1 Func  
Assignable
```

```
SYS: SubCTL2 Func  
Assignable
```

2. PATCH/VALUE ダイヤルを回して、フット・スイッチの働きを設定します。

Assignable :

各パッチのペダル・アサイン (P.47) で設定されているコントローラーとして使います。

MANUAL On/Off :

マニュアル・オン／オフ用のフット・スイッチとして使います。モーメンタリー・タイプのフット・スイッチ (別売 : FS-5U など) を接続してください。

TUNER On/Off :

チューナー・オン／オフ用のフット・スイッチとして使います。モーメンタリー・タイプのフット・スイッチ (別売 : FS-5U など) を接続してください。

MIDI Start/Stop :

外部 MIDI 機器 (シーケンサーなど) のスタート／ストップ用のフット・スイッチとして使います。

MMC Play/Stop :

外部 MIDI 機器 (ハードディスク・レコーダーなど) のプレイ／ストップ用のフット・スイッチとして使います。

3. [EXIT] を押して、プレイ画面に戻ります。

第 9 章 MIDI の使いかた

MIDI で何ができるのか

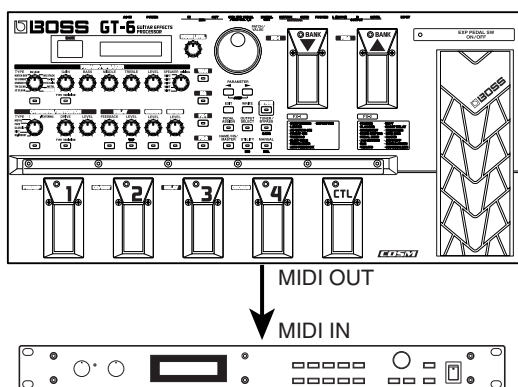
GT-6 では、MIDI を使って次の操作をすることができます。

- ※ MIDI では、接続する機器との間で MIDI チャンネルを合わせる必要があります。MIDI チャンネルが正しく設定されていないと、他の MIDI 機器とのデータ送受信はできません。

GT-6 からの操作

プログラム・チェンジ情報の出力

GT-6 でパッチを選ぶと、それと同時に選んだパッチ・ナンバーに対応したプログラム・チェンジ情報が送信されます。外部 MIDI 機器は受信したプログラム・チェンジ情報に対応したセッティングに切り換わります。



コントロール・チェンジ情報の出力

CTL ペダル、エクスプレッション・ペダル、エクスプレッション・ペダル・スイッチや SUB EXP PEDAL/SUB CTL 1,2 ジャックに接続した外部機器の操作情報をコントロール・チェンジ情報として出力します。外部 MIDI 機器のパラメーター操作などに利用できます。

データの送信

GT-6 に記憶されているエフェクト音などの設定内容をエクスプローション情報を使って他の MIDI 機器に転送することができます。他の GT-6 を同じ設定にしたり、シーケンサーなどにエフェクト音の設定内容を保存したりすることができます。

外部 MIDI 機器からの操作

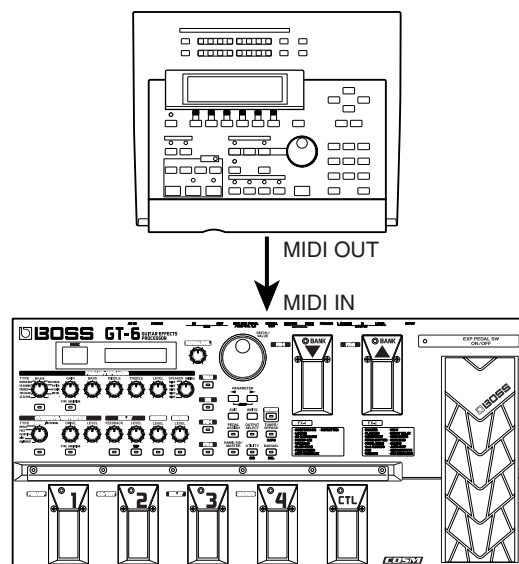
パッチ・ナンバーの切り替え

外部 MIDI 機器からのプログラム・チェンジ情報に対応して、GT-6 のパッチが同時に切り換わります。

メモ

MIDI のプログラム・チェンジ情報と GT-6 のパッチの対応を、プログラム・チェンジ・マップ (P.69) で設定することができます。他の MIDI 機器とエフェクト音を対応させるときに設定します。

下図の接続は、シーケンサーによる自動演奏をバックにギターを弾く場合です。GT-6 のパッチを切り換えたい位置に、そのパッチに対応したプログラム・ナンバーを演奏データと共に入れておくと、自動的にパッチが切り替わります。



コントロール・チェンジ情報の受信

メモ

コントロール・チェンジ情報を受信して、指定したパラメーターを演奏中にコントロールすることができます。コントロールするパラメーターはペダル・アサイン (P.47) で設定します。

データの受信

他の GT-6 から送信されたデータや、シーケンサーに保存したデータを受信します。

MIDI に関する機能を設定する

GT-6 の MIDI に関する機能について説明します。使いかたに応じて設定してください。

1. [UTILITY] を数回押して、次の画面を表示させます。

```
MIDI:RX Channel
Channel = 1
```

2. PARAMETER [◀] [▶] を押して、設定するパラメーターを画面に表示させます。
3. PATCH/VALUE ダイアルを回して、設定値を変更します。
4. 必要に応じて 2 ～ 3 の操作を繰り返します。
5. [EXIT] を押して、プレイ画面に戻ります。

MIDI RX Channel (MIDI 受信チャンネル) 1 ～ 16

```
MIDI:RX Channel
Channel = 1
```

MIDI 情報を受信するための MIDI チャンネルを設定します。

※ 工場出荷時には、“1” に設定されています。

MIDI Omni Mode (MIDI オムニ・モード) Omni Off, Omni On

```
MIDI:Omni Mode
Omni On
```

“Omni On” にすると、MIDI チャンネルの設定に関係なく、すべての MIDI チャンネルの情報を受信します。

- ※ オムニ・モードをオンにしても、エクスクルーシブ情報の受信は、「デバイス ID」で設定されているデバイス ID のデータだけを受信します。
- ※ 工場出荷時には、“Omni On” に設定されています。

MIDI TX Channel (MIDI 送信チャンネル) 1 ～ 16, Rx

```
MIDI:TX Channel
Channel = Rx
```

MIDI 情報を送信するための MIDI 送信チャンネルを設定します。“Rx” に設定すると、MIDI 受信チャンネルと同じ MIDI チャンネルになります。

※ 工場出荷時には、“Rx” に設定されています。

MIDI Device ID (MIDI デバイス ID) 1 ～ 32

```
MIDI:Device ID
ID = 1
```

エクスクルーシブ情報の送受信に用いるデバイス ID を設定します。

※ 工場出荷時には、“1” に設定されています。

MIDI Sync Clock (MIDI シンク・クロック) Auto, Internal

```
MIDI:Sync Clock
Auto
```

MIDI シーケンサーなどの外部 MIDI 機器に同期させて演奏させることができます。

Auto : 外部 MIDI 機器の MIDI クロックを受けていないときは、MASTER BPM で設定したテンポに同期し、外部 MIDI 機器の MIDI クロックを受けたときはそれに同期します。

Internal : MASTER BPM で設定したテンポに同期します。

※ 工場出荷時には、“Auto” に設定されています。

※ 外部 MIDI 機器が接続されているとき、マスター BPM は外部 MIDI 機器のテンポに同期するため、マスター BPM の設定をすることはできません。マスター BPM を設定するには“Internal” に設定してください。

※ 外部 MIDI 機器の MIDI クロック信号で同期演奏させた場合、MIDI クロックの誤差によって演奏がズレることがあります。

第9章 MIDI の使いかた

MIDI PC OUT (MIDI プログラム・チェンジ・アウト)
Off, On

```
MIDI:PC OUT
On
```

GT-6 でパッチを切り替えたときに、プログラム・チェンジ情報を出力するか／しないかを設定します。

Off: パッチを切り替えてもプログラム・チェンジ情報は出力されません。

On: パッチを切り替えると同時に、プログラム・チェンジ情報を出力します。

※ GT-6 では、プログラム・チェンジ情報の出力と同時にバンク・セレクト情報も出力します。詳しくは、『バンク・セレクト情報を利用したパッチの切り替え』(P.72) をご覧ください。

MIDI EXP OUT (MIDI エクスプレッション・ペダル・アウト)
Off, 1 ~ 31, 33 ~ 95

```
MIDI:EXP OUT
CC# 7
```

エクスプレッション・ペダルの操作情報をコントロール・チェンジ情報として出力するときの、コントローラー・ナンバーを設定します。“Off” に設定すると、コントロール・チェンジ情報は出力されません。

MIDI EXP SW OUT (MIDI エクスプレッション・ペダル・スイッチ・アウト)
Off, 1 ~ 31, 33 ~ 95

```
MIDI:EXP SW OUT
CC#81
```

エクスプレッション・ペダル・スイッチの操作情報をコントロール・チェンジ情報として出力するときの、コントローラー・ナンバーを設定します。“Off” に設定すると、コントロール・チェンジ情報は出力されません。

MIDI CTL OUT (MIDI コントロール・ペダル・アウト)
Off, 1 ~ 31, 33 ~ 95

```
MIDI:CTL OUT
CC#80
```

CTL ペダルの操作情報をコントロール・チェンジ情報として出力するときの、コントローラー・ナンバーを設定します。“Off” に設定すると、コントロール・チェンジ情報は出力されません。

MIDI SUB CTL1OUT (MIDI サブ・コントロール1アウト)
Off, 1 ~ 31, 33 ~ 95

```
MIDI:SubCTL1 OUT
Off
```

SUB CTL 1 ジャックに接続した外部ペダルの操作情報をコントロール・チェンジ情報として出力するときの、コントローラー・ナンバーを設定します。“Off” に設定すると、コントロール・チェンジ情報は出力されません。

MIDI SUB CTL2OUT (MIDI サブ・コントロール2アウト)
Off, 1 ~ 31, 33 ~ 95

```
MIDI:SubCTL2 OUT
Off
```

SUB CTL 2 ジャックに接続した外部ペダルの操作情報をコントロール・チェンジ情報として出力するときの、コントローラー・ナンバーを設定します。“Off” に設定すると、コントロール・チェンジ情報は出力されません。

MIDI データを送受信する

GT-6 では、エクスクルーシブ情報を使って他の GT-6 を同じ設定にしたり、MIDI シーケンサーなどにエフェクトの設定内容を保存しておくことができます。データを送信することを「バルク・ダンプ」、データを受信することを「バルク・ロード」といいます。

外部 MIDI 機器にデータを送信する (バルク・ダンプ)

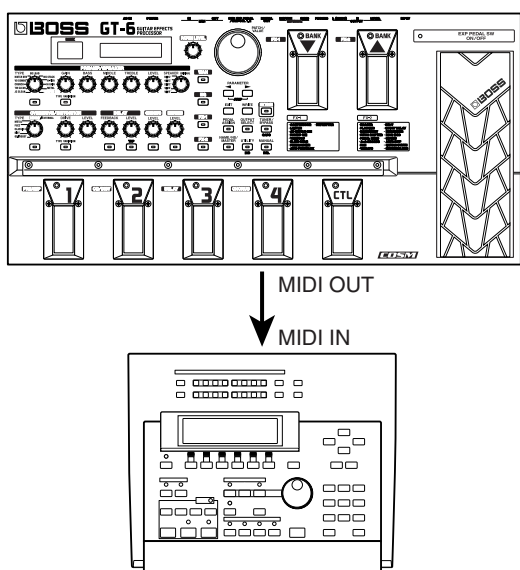
送信できるデータは次のとおりです。データを送信するときは、送信開始から終了までを範囲指定して送信することができます。

表示	送信するデータ
System	ユーティリティー中のパラメーター、ハーモニスト・スケール、オート・リフ・フレーズおよびプリアンプ、オーバードライブ/ディストーション、ワウのカスタム・エディット・パラメーターの設定内容
#1-1 ~ #35-4	パッチ・ナンバー 1-1 ~ 35-4 の設定内容
Temp	現在呼び出しているパッチの設定内容

接続のしかた

MIDI シーケンサーに保存する場合

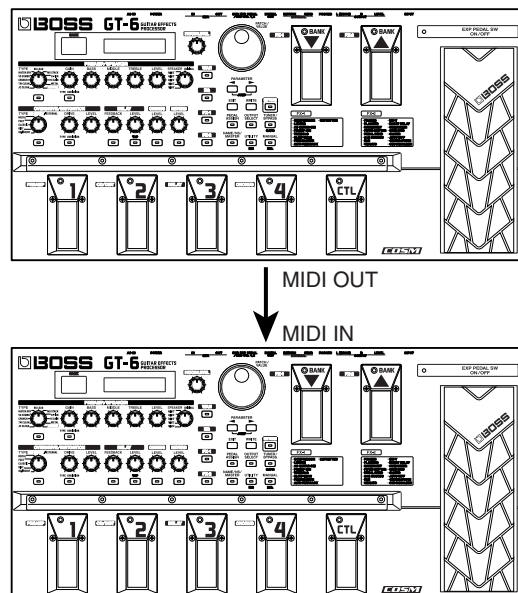
下図のように接続し、MIDI シーケンサーをエクスクルーシブ情報の受信待機状態にします。



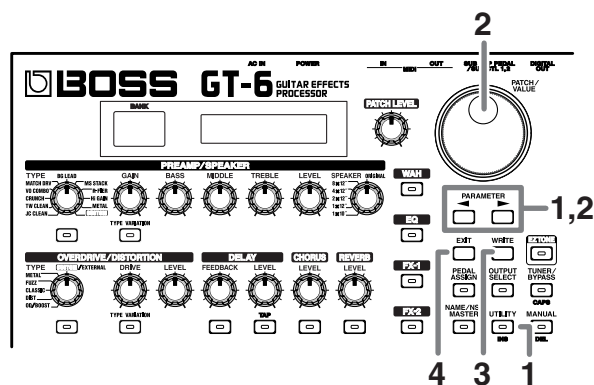
※ シーケンサーの操作については、使用するシーケンサーの取扱説明書をご覧ください。

他の GT-6 にデータを送信する場合

下図のように接続し、送信側と受信側のデバイス ID を合わせます。



送信のしかた



1. [UTILITY] を押してから PARAMETER [◀] [▶] を押して、“Bulk Dump” を表示させます。

MIDI: Bulk Dump
System Temp

2. PARAMETER [◀] [▶] でカーソルを移動させ、PATCH/VALUE ダイヤルで送信の開始/終了になるデータを選びます。
3. 送信データが決まったら、[WRITE] を押します。データが送信されます。

MIDI: Bulk Dump
Data Dumping...

送信が終了すると、送信前の画面に戻ります。

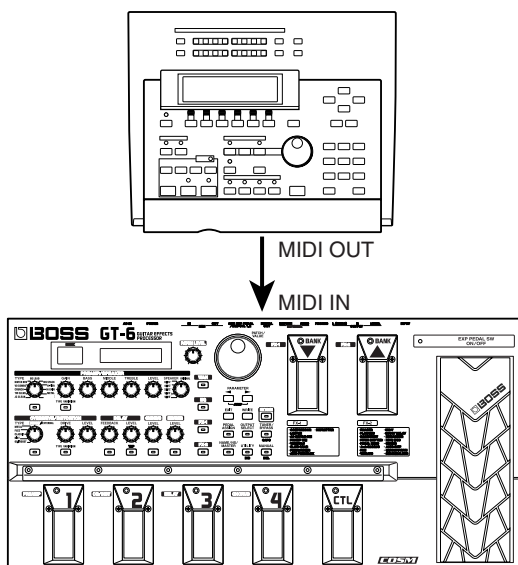
4. [EXIT] を押して、プレイ画面に戻ります。

外部 MIDI 機器からのデータを受信する (バルク・ロード)

接続のしかた

MIDI シーケンサーに保存したデータを受信する場合

以下のように接続します。GT-6 は、MIDI シーケンサーにデータを送信したときと同じデバイス ID に合わせます。



※ シーケンサーの操作については、使用する機器の取扱説明書をご覧ください。

受信のしかた

1. [UTILITY] を押してから PARAMETER [◀] [▶] を押して、“Bulk Load” を表示させます。

MIDI: Bulk Load
Waiting...

2. 外部 MIDI 機器からデータを送信します。

GT-6 がデータを受信すると、ディスプレイに次のように表示されます。

MIDI: Bulk Load
Receiving...

データの受信が終了すると、ディスプレイの表示が次のようになります。

MIDI: Bulk Load
Idling...

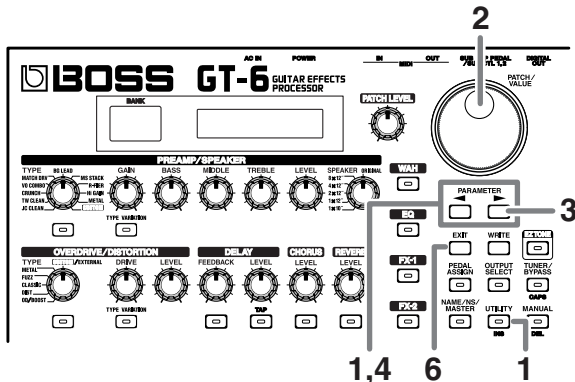
この状態で、さらにデータを受信することができます。

3. [EXIT] を押してバルク・ロードを終了します。

[EXIT] を押すと、ディスプレイに “Checking...” と表示して受信データのチェックを行ないます。チェック終了後、プレイ画面に戻ります。

プログラム・チェンジ・マップを設定する

外部 MIDI 機器から送信されるプログラム・チェンジ情報でパッチを切り替えるときに、GT-6 が受信したプログラム・チェンジ情報と切り替わるパッチの対応を「プログラム・チェンジ・マップ」で自由に設定することができます。



1. [UTILITY] を押してから PARAMETER [◀] [▶] を押して、“MIDI Map Select” を表示させます。

MIDI:Map Select
Fix

2. PATCH/VALUE ダイヤルで “Prog” にします。

- ※ “Fix” にすると、プログラム・チェンジ・マップの設定はできません（表示されません）。
- ※ “MIDI Map Select”（MIDI マップ・セレクト）については、次項をご覧ください。

3. PARAMETER [▶] を押して “MIDI Program Map” を表示させます。

MIDI:Program Map
B#0 PC# 1→ 1-1

↑ ↑ ↑
バンク・セレクト プログラム パッチ
ナンバー ナンバー ナンバー

4. PARAMETER [◀] [▶] でカーソルを移動させ、TIMEVALUE ダイヤルで、受信するプログラム・ナンバーと対応するパッチのナンバーを設定します。

- ※ バンク・セレクト・ナンバーを設定する場合も、同じ操作をします。

※ バンク・セレクト情報を使わず、プログラム・チェンジ情報だけでプログラム・チェンジを行なうときは、バンク・セレクト・ナンバー “0” のときのプログラム・ナンバー（1～128）を設定してください。

5. 4 の操作を必要なだけ繰り返して、各プログラム・ナンバーに対応させるパッチ・ナンバーを設定し、プログラム・チェンジ・マップを完成させます。
6. [EXIT] を押してプレイ画面に戻ります。

プログラム・チェンジ・マップの設定を有効／無効にする（MIDI マップ・セレクト）

GT-6 が受信したプログラム・チェンジ情報に対して、プログラム・チェンジ・マップの設定に従ったパッチに切り替えるか、初期設定に従ったパッチに切り替えるかを設定します。

1. [UTILITY] を数回押してから、PARAMETER [◀] [▶] を押して “MIDI Map Select” を表示させます。

MIDI:Map Select
Fix

2. PATCH/VALUE ダイヤルで、“Fix” または “Prog” を選びます。

Fix :

初期設定のパッチに切り替わります。

初期設定の内容については、『バンク・セレクト情報を利用したパッチの切り替え』（P.72）をご覧ください。

Prog :

プログラム・チェンジ・マップで設定したパッチに切り替わります。

3. [EXIT] を押してプレイ画面に戻ります。

MIDI について

MIDI とは、Musical Instrument Digital Interface の略で、音楽の演奏情報や音の切り換え情報などを、楽器間で伝えることのできる世界統一規格です。MIDI 規格に対応していれば、メーカーや楽器の種類が異なっても、機器に応じて演奏情報を伝えられます。

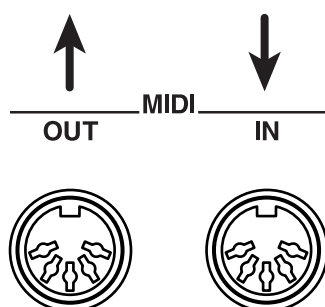
MIDI 規格では、鍵盤を叩いたり、ペダルを踏んだりといった演奏情報を、MIDI 情報として扱います。

MIDI 情報のやりとり

まず、MIDI 情報がどのようにやりとりされているかを簡単に説明します。

MIDI 端子について

MIDI 情報のやりとりは、次の端子で行ないます。使いかたに応じて、これらの端子に MIDI ケーブルをつなぎます。



MIDI IN： 他の MIDI 機器からの情報を受ける。

MIDI OUT： 本機からの情報を送る。

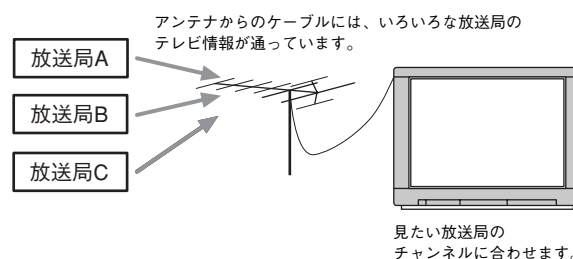
MIDI THRU： MIDI IN からの情報をそのまま送る。

※ GT-6 は、“MIDI IN”と“MIDI OUT”を装備しています。

MIDI チャンネル

MIDI では、複数の MIDI 機器に、それぞれ違った情報を 1 本の MIDI ケーブルで送ることができます。これは MIDI チャンネルという考えかたがあるからです。

MIDI チャンネルは、テレビのチャンネルと考えかたが似ています。テレビのチャンネルを切り換えると、いろいろな放送局の番組が見られます。これは、送信側と受信側のチャンネルが一致したときに、そのチャンネルの情報が伝わるからです。



MIDI には 1 ～ 16 のチャンネルがあり、送信側のチャンネルと一致している楽器（受信側）に MIDI 情報が伝わります。

※ オムニ・モードをオンにすると、MIDI チャンネルの設定に関係なく、どの MIDI チャンネルの情報でも受信できます。特定の MIDI チャンネルでコントロールする必要がないときは、オムニ・オンにしてもかまいません。

GT-6 で扱う主な MIDI 情報

MIDI には、さまざまな演奏表現を伝えるために、いろいろな種類の MIDI 情報（メッセージ）があります。MIDI 情報は、MIDI チャンネルごとに扱う情報（チャンネル・メッセージ）と、MIDI チャンネルに関係なく扱う情報（システム・メッセージ）に大きく分けられます。

チャンネル・メッセージ

演奏操作を伝えるための情報です。通常はこれらの情報だけでほとんどのコントロールができます。各 MIDI 情報でどのようにコントロールされるかは、受信側の設定で決まります。

プログラム・チェンジ情報

一般には、音色切り換えに使われる情報で、1 ～ 128 のプログラム・チェンジ・ナンバーで音色を切り換えます。また、GT-6 では、コントロール・チェンジ情報のバンク・セレクト情報と併用して、340 種類のパッチ・ナンバーを切り換えることができます。

コントロール・チェンジ情報

コントロール・チェンジ情報は、演奏表現を高めるための情報です。各機能は、コントローラー・ナンバーで区別され、MIDI 機器によってコントロールできる機能が異なります。GT-6 では、指定したパラメーターをコントロールできます。

システム・メッセージ

システム・メッセージには、エクスクルーシブ情報や、同期演奏に必要な情報、トラブル防止のための情報などがあります。

エクスクルーシブ情報

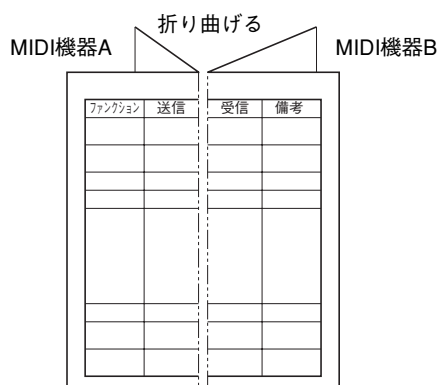
エクスクルーシブ情報は、機器固有の音色などの情報を扱います。基本的には、同じメーカーの同機種の間で情報のやりとりができます。エクスクルーシブ情報を使えば、パラメーターの設定をシーケンサーに記憶させたり、他の GT-6 にパラメーターの設定を転送することができます。

エクスクルーシブ情報をやりとりする場合は、相互の楽器のデバイス ID ナンバーを合わせる必要があります。

MIDI インプリメンテーションについて

MIDI を使うことでさまざまな楽器と会話できるようになりますが、すべての情報をやりとりできるわけではありません。接続している MIDI 機器の間でやりとりできる情報は、相互の楽器で共通している情報だけです。

そのため、各 MIDI 情報の対応をすばやく知るために、それぞれの MIDI 機器の取扱説明書には MIDI インプリメンテーション・チャートが必ずついています。相互の MIDI 機器の MIDI インプリメンテーション・チャートを比較すれば、どの情報がどのようにやりとりできるかを確認できます。チャートの大きさは統一されているので、送信側と受信側の機器のチャートを重ね合わせて確認できます。



この機器の MIDI 動作仕様をくわしく説明した「MIDI インプリメンテーション」(別売)があります。プログラミング等で必要な場合は、販売店に注文してください。

バンク・セレクト情報を利用したパッチの切り替え

バンク・セレクト情報とは、コントロール・チェンジ情報のコントローラー・ナンバー 0 番と 32 番の値です。通常は、プログラム・チェンジ情報と組み合わせて音色を切り替えます。

GT-6 では、パッチ・ナンバーを切り替えるときに使います。

GT-6 から外部 MIDI 機器のパッチ・ナンバーを切り替える

GT-6 を操作してパッチを切り換えると、バンク・セレクト情報とプログラム・チェンジ情報が送信されます。GT-6 が送信するバンク・セレクト情報とプログラム・チェンジ情報の関係は、次の表のようになります。

バンク	ナンバー				バンク	ナンバー				バンク	ナンバー			
	1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4
1	0,0,1	0,0,2	0,0,3	0,0,4	31	1,0,21	1,0,22	1,0,23	1,0,24	61	2,0,41	2,0,42	2,0,43	2,0,44
2	0,0,5	0,0,6	0,0,7	0,0,8	32	1,0,25	1,0,26	1,0,27	1,0,28	62	2,0,45	2,0,46	2,0,47	2,0,48
3	0,0,9	0,0,10	0,0,11	0,0,12	33	1,0,29	1,0,30	1,0,31	1,0,32	63	2,0,49	2,0,50	2,0,51	2,0,52
4	0,0,13	0,0,14	0,0,15	0,0,16	34	1,0,33	1,0,34	1,0,35	1,0,36	64	2,0,53	2,0,54	2,0,55	2,0,56
5	0,0,17	0,0,18	0,0,19	0,0,20	35	1,0,37	1,0,38	1,0,39	1,0,40	65	2,0,57	2,0,58	2,0,59	2,0,60
6	0,0,21	0,0,22	0,0,23	0,0,24	36	1,0,41	1,0,42	1,0,43	1,0,44	66	2,0,61	2,0,62	2,0,63	2,0,64
7	0,0,25	0,0,26	0,0,27	0,0,28	37	1,0,45	1,0,46	1,0,47	1,0,48	67	2,0,65	2,0,66	2,0,67	2,0,68
8	0,0,29	0,0,30	0,0,31	0,0,32	38	1,0,49	1,0,50	1,0,51	1,0,52	68	2,0,69	2,0,70	2,0,71	2,0,72
9	0,0,33	0,0,34	0,0,35	0,0,36	39	1,0,53	1,0,54	1,0,55	1,0,56	69	2,0,73	2,0,74	2,0,75	2,0,76
10	0,0,37	0,0,38	0,0,39	0,0,40	40	1,0,57	1,0,58	1,0,59	1,0,60	70	2,0,77	2,0,78	2,0,79	2,0,80
11	0,0,41	0,0,42	0,0,43	0,0,44	41	1,0,61	1,0,62	1,0,63	1,0,64	71	2,0,81	2,0,82	2,0,83	2,0,84
12	0,0,45	0,0,46	0,0,47	0,0,48	42	1,0,65	1,0,66	1,0,67	1,0,68	72	2,0,85	2,0,86	2,0,87	2,0,88
13	0,0,49	0,0,50	0,0,51	0,0,52	43	1,0,69	1,0,70	1,0,71	1,0,72	73	2,0,89	2,0,90	2,0,91	2,0,92
14	0,0,53	0,0,54	0,0,55	0,0,56	44	1,0,73	1,0,74	1,0,75	1,0,76	74	2,0,93	2,0,94	2,0,95	2,0,96
15	0,0,57	0,0,58	0,0,59	0,0,60	45	1,0,77	1,0,78	1,0,79	1,0,80	75	2,0,97	2,0,98	2,0,99	2,0,100
16	0,0,61	0,0,62	0,0,63	0,0,64	46	1,0,81	1,0,82	1,0,83	1,0,84	76	3,0,1	3,0,2	3,0,3	3,0,4
17	0,0,65	0,0,66	0,0,67	0,0,68	47	1,0,85	1,0,86	1,0,87	1,0,88	77	3,0,5	3,0,6	3,0,7	3,0,8
18	0,0,69	0,0,70	0,0,71	0,0,72	48	1,0,89	1,0,90	1,0,91	1,0,92	78	3,0,9	3,0,10	3,0,11	3,0,12
19	0,0,73	0,0,74	0,0,75	0,0,76	49	1,0,93	1,0,94	1,0,95	1,0,96	79	3,0,13	3,0,14	3,0,15	3,0,16
20	0,0,77	0,0,78	0,0,79	0,0,80	50	1,0,97	1,0,98	1,0,99	1,0,100	80	3,0,17	3,0,18	3,0,19	3,0,20
21	0,0,81	0,0,82	0,0,83	0,0,84	51	2,0,1	2,0,2	2,0,3	2,0,4	81	3,0,21	3,0,22	3,0,23	3,0,24
22	0,0,85	0,0,86	0,0,87	0,0,88	52	2,0,5	2,0,6	2,0,7	2,0,8	82	3,0,25	3,0,26	3,0,27	3,0,28
23	0,0,89	0,0,90	0,0,91	0,0,92	53	2,0,9	2,0,10	2,0,11	2,0,12	83	3,0,29	3,0,30	3,0,31	3,0,32
24	0,0,93	0,0,94	0,0,95	0,0,96	54	2,0,13	2,0,14	2,0,15	2,0,16	84	3,0,33	3,0,34	3,0,35	3,0,36
25	0,0,97	0,0,98	0,0,99	0,0,100	55	2,0,17	2,0,18	2,0,19	2,0,20	85	3,0,37	3,0,38	3,0,39	3,0,40
26	1,0,1	1,0,2	1,0,3	1,0,4	56	2,0,21	2,0,22	2,0,23	2,0,24	バンク・セレクトMSB バンク・セレクトLSB プログラム・ナンバー				
27	1,0,5	1,0,6	1,0,7	1,0,8	57	2,0,25	2,0,26	2,0,27	2,0,28					
28	1,0,9	1,0,10	1,0,11	1,0,12	58	2,0,29	2,0,30	2,0,31	2,0,32					
29	1,0,13	1,0,14	1,0,15	1,0,16	59	2,0,33	2,0,34	2,0,35	2,0,36					
30	1,0,17	1,0,18	1,0,19	1,0,20	60	2,0,37	2,0,38	2,0,39	2,0,40					

※ 受信側の機器がバンク・セレクト情報を認識するかどうかは、受信機器の取扱説明書に掲載されている MIDI インプリメンテーション・チャートの、コントロール・チェンジの記載をご覧ください。

※ 受信側の機器がバンク・セレクト情報を認識しない場合は、バンク・セレクト情報を無視してプログラム・チェンジ情報だけを認識します。

外部 MIDI 機器から GT-6 のパッチ・ナンバーを切り替える

外部 MIDI 機器からバンク・セレクト情報を利用して GT-6 のパッチ・ナンバーを切り替えるときは、外部 MIDI 機器から送信されるバンク・セレクト情報／プログラム・チェンジ情報と GT-6 のパッチ・ナンバーの対応を、次の表で確認してください。

PC#	バンク・セレクト				PC#	バンク・セレクト				PC#	バンク・セレクト			
	0	1	2	3		0	1	2	3		0	1	2	3
1	1-1	26-1	51-1	76-1	36	9-4	34-4	59-4	84-4	71	18-3	43-3	68-3	:
2	1-2	26-2	51-2	76-2	37	10-1	35-1	60-1	85-1	72	18-4	43-4	68-4	:
3	1-3	26-3	51-3	76-3	38	10-2	35-2	60-2	85-2	73	19-1	44-1	69-1	:
4	1-4	26-4	51-4	76-4	39	10-3	35-3	60-3	85-3	74	19-2	44-2	69-2	:
5	2-1	27-1	52-1	77-1	40	10-4	35-4	60-4	85-4	75	19-3	44-3	69-3	:
6	2-2	27-2	52-2	77-2	41	11-1	36-1	61-1	:	76	19-4	44-4	69-4	:
7	2-3	27-3	52-3	77-3	42	11-2	36-2	61-2	:	77	20-1	45-1	70-1	:
8	2-4	27-4	52-4	77-4	43	11-3	36-3	61-3	:	78	20-2	45-2	70-2	:
9	3-1	28-1	53-1	78-1	44	11-4	36-4	61-4	:	79	20-3	45-3	70-3	:
10	3-2	28-2	53-2	78-2	45	12-1	37-1	62-1	:	80	20-4	45-4	70-4	:
11	3-3	28-3	53-3	78-3	46	12-2	37-2	62-2	:	81	21-1	46-1	71-1	:
12	3-4	28-4	53-4	78-4	47	12-3	37-3	62-3	:	82	21-2	46-2	71-2	:
13	4-1	29-1	54-1	79-1	48	12-4	37-4	62-4	:	83	21-3	46-3	71-3	:
14	4-2	29-2	54-2	79-2	49	13-1	38-1	63-1	:	84	21-4	46-4	71-4	:
15	4-3	29-3	54-3	79-3	50	13-2	38-2	63-2	:	85	21-1	47-1	72-1	:
16	4-4	29-4	54-4	79-4	51	13-3	38-3	63-3	:	86	22-2	47-2	72-2	:
17	5-1	30-1	55-1	80-1	52	13-4	38-4	63-4	:	87	22-3	47-3	72-3	:
18	5-2	30-2	55-2	80-2	53	14-1	39-1	64-1	:	88	22-4	47-4	72-4	:
19	5-3	30-3	55-3	80-3	54	14-2	39-2	64-2	:	89	23-1	48-1	73-1	:
20	5-4	30-4	55-4	80-4	55	14-3	39-3	64-3	:	90	23-2	48-2	73-2	:
21	6-1	31-1	56-1	81-1	56	14-4	39-4	64-4	:	91	23-3	48-3	73-3	:
22	6-2	31-2	56-2	81-2	57	15-1	40-1	65-1	:	92	23-4	48-4	73-4	:
23	6-3	31-3	56-3	81-3	58	15-2	40-2	65-2	:	93	24-1	49-1	74-1	:
24	6-4	31-4	56-4	81-4	59	15-3	40-3	65-3	:	94	24-2	49-2	74-2	:
25	7-1	32-1	57-1	82-1	60	15-4	40-4	65-4	:	95	24-3	49-3	74-3	:
26	7-2	32-2	57-2	82-2	61	16-1	41-1	66-1	:	96	24-4	49-4	74-4	:
27	7-3	32-3	57-3	82-3	62	16-2	41-2	66-2	:	97	25-1	50-1	75-1	:
28	7-4	32-4	57-4	82-4	63	16-3	41-3	66-3	:	98	25-2	50-2	75-2	:
29	8-1	33-1	58-1	83-1	64	16-4	41-4	66-4	:	99	25-3	50-3	75-3	:
30	8-2	33-2	58-2	83-2	65	17-1	42-1	67-1	:	100	25-4	50-4	75-4	:
31	8-3	33-3	58-3	83-3	66	17-2	42-2	67-2	:	:	:	:	:	:
32	8-4	33-4	58-4	83-4	67	17-3	42-3	67-3	:	:	:	:	:	:
33	9-1	34-1	59-1	84-1	68	17-4	42-4	67-4	:	:	:	:	:	:
34	9-2	34-2	59-2	84-2	69	18-1	43-1	68-1	:	:	:	:	:	:
35	9-3	34-3	59-3	84-3	70	18-2	43-2	68-2	:	128	25-4	50-4	75-4	85-4

PC# : プログラム・ナンバー

工場出荷時の設定

チューナー

TUNER Pitch : A= 440 Hz
TUNER Out : Bypass

アウトプット・セレクト

Output Select : COMBO AMP

グローバル

Low EQ : 0dB
High EQ : 0dB
NS Threshold : 0dB
Reverb Level : 100%

システム

LCD Contrast : 16
BANK Extent : 85
Patch Change Mode : Wait for a Num.
EXP Pdl Hold : On
Dial Function : PATCH No.& VALUE
Knob Mode : Immediate
Pedal Tuner SW: Off
Amp Switch Mode : Amp On/Off
Sub CTL1 Func : Assignable
Sub CTL2 Func : Assignable

MIDI

MIDI RX Channel : 1
MIDI Omni Mode : Omni On
MIDI TX Channel : Rx
MIDI Device ID : 1
MIDI Sync Clock : Auto
MIDI PC OUT : On
MIDI EXP OUT : 7
MIDI EXP SW OUT : 81
MIDI CTL OUT : 80
MIDI Sub CTL1OUT : Off
MIDI Sub CTL2OUT : Off
MIDI Map Select : Fix

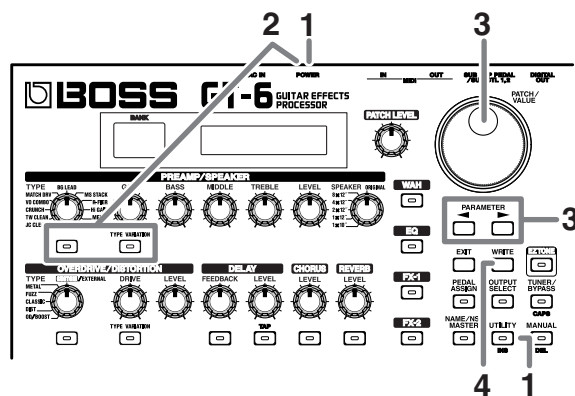
マニュアル

1 : PRE (PRE/SP SIM)
2 : OD (OD/DS)
3 : DD (DELAY)
4 : CE (CHORUS)
▲ : FX-1
▼ : FX-2

工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

GT-6 を工場出荷時の設定に戻すことを「ファクトリー・リセット」といいます。

すべての設定を工場出荷時の設定に戻すこと以外に、工場出荷時の設定に戻したい設定の範囲を指定することもできます。



1. 電源をオフにします。
2. PREAMP/SPEAKER のオン/オフ・ボタンと [TYPE VARIATION] を押しながら電源をオンにします。
ファクトリー・リセットの範囲設定画面が表示されます。

Factory Reset
System #35-4

ファクトリー・リセットの範囲

※ ファクトリー・リセットを中止するときは [EXIT] を押します。

3. PARAMETER [◀] [▶] でカーソルを移動させ、PATCH/VALUE ダイアルで工場出荷時の設定に戻す設定の範囲を指定します。

System :

システムのパラメーター、ハーモニスト・スケール、オート・リフ・フレーズおよびプリアンプ、オーバードライブ/ディストーション、ワウのカスタム・エディット・パラメーターの設定内容

1-1 ~ # 35-4 :

パッチ・ナンバー 1-1 ~ 35-4 の設定内容

4. ファクトリー・リセットを実行するときは、[WRITE] を押します。

指定した範囲のデータが工場出荷時の設定に戻り、プレイ画面に戻ります。

故障と思う前に～ちょっとお調べください

音が出なくなったり、動作がおかしいと思ったら、まず次の点をチェックしてください。次のチェックをしても直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのローランド・サービス・ステーションにご連絡ください。

音が出ない／音が小さい

- 接続ケーブルが断線していませんか。
→ 接続ケーブルを交換してみてください。
- 他の機器と正しく接続されていますか。
→ 他の機器との接続を確認してください (P.12)。
- 接続しているアンプ／ミキサーの電源が入っていない、またはボリュームが下がっていませんか。
→ 接続している機器の設定を確認してください。
- OUTPUT LEVEL つまみが下がっていませんか。
→ OUTPUT LEVEL つまみを適切な位置に調節してください (P.13)。
- チューナー／バイパスがオンになっていませんか。
→ バイパス・チューニング時の音量設定が“Mute”になっているときは、チューナー／バイパスをオンにするとダイレクト音も出力されません (P.58)。
- 各エフェクトは正しく設定されていますか。
→ 「メーター機能」(P.60) を利用して各エフェクトの出力レベルを確認してください。メーターが振れないエフェクトがあるときは、そのエフェクトの設定内容を確認してください (P.24)。
- “FV: Level” または “MST: Patch Level” がペダル・アサインのターゲットに設定されていませんか。
→ ソースによる操作を行ってください。
- SEND/RETURN ジャックに接続している外部機器の電源が入っていない、またはボリュームが下がっていませんか。
→ 接続している機器の設定を確認してください。

INPUT や RETURN に接続した機器の音量が小さい

- 抵抗入りの接続ケーブルを使用していませんか。
→ 抵抗の入っていない接続ケーブル（ローランド：PCS シリーズなど）をご使用ください。

パッチが切り替わらない

- ディスプレイの表示がプレイ画面以外になっていませんか。
→ GT-6 では、プレイ画面以外ではパッチの切り替えができません。[EXIT] を押してプレイ画面に戻してください (P.13)。

ペダル・アサインで設定したパラメーターが思ったようにコントロールできない

- エフェクトがオフになっていませんか？
→ エクスプレッション・ペダルや CTL ペダルで操作するときには、コントロールするパラメーターを含むエフェクトがエフェクト・オンになっていることを確認してください。
- SUB CTL 1, 2 ファンクションの設定が“Assignable”以外に設定されていませんか？
→ SUB EXP/SUB CTL 1, 2 ジャックに接続したフット・スイッチで操作するときには、SUB CTL 1, 2 ファンクションの設定を“Assignable”にしてください (P.63)。
- MIDI チャンネルが一致していますか？
→ MIDI を利用して操作するときには、両方の機器の MIDI チャンネルが一致していることを確認してください (P.65)。
- 使用しているコントローラー・ナンバーが一致していることを確認してください (P.66)。

MIDI 情報を送受信しない

- MIDI ケーブルが断線していませんか。
→ MIDI ケーブルを交換してください。
- 外部 MIDI 機器とは正しく接続されていますか。
→ 外部 MIDI 機器との接続を確認してください。
- 外部 MIDI 機器と MIDI チャンネルが一致していますか。
→ 両方の機器の MIDI チャンネルが一致していることを確認してください (P.65)。
- GT-6 から送信する場合には、送信するための設定がされていますか。
→ プログラム・チェンジ情報送信のオン／オフ (P.66) や、送信するコントローラー・ナンバーの設定 (P.66) を確認してください。

エラー・メッセージ

操作を誤ったり、正しく実行できなかったときは、ディスプレイにエラー・メッセージが表示されます。表示のメッセージにしたがって対処してください。

Battery Low !

- 本体のメモリー・バックアップ用の電池が消耗しています。（このメッセージは、電源投入時に表示されます。）
- 早めに電池を交換してください。交換に関しては、ローランド・サービスにご相談ください。

MIDI Off Line !

- MIDI ケーブルの接続に問題があります。
- ケーブルの抜けや断線がないことを確認してください。

VALUE Locked !

- ダイヤル・ファンクション（P.61）が「VALUE Only」に設定されているのに、PATCH/VALUE ダイヤルを回してパッチを切り替えようとしています。
- PATCH/VALUE ダイヤルでパッチが切り替えられるようにしたいときは、ダイヤル・ファンクションを「PATCH No.& VALUE」に設定してください。

MIDI Buffer Full

- 受信したメッセージの量が多いため、正しく処理できませんでした。

ファンクション...		送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1—16 1—16	1—16 1—16	電源オフ後も記憶可能
モード	電源ON時 メッセージ 代用	X X *****	OMNI ON/OFF X X	電源オフ後も記憶可能
ノート ナンバー	音域	X *****	X *****	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	X X	X X	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	X X	X X	
ピッチ・ベンド		X	X	
コントロール チェンジ	0, 32	O (0~3)	O *1	バンク・セレクト
	1—31	O	O *2	
	33—63	O	X	
	64—95	O	O *2	
プログラム チェンジ	: 設定可能範囲	O 0—127	O 0—127	プログラム・ナンバー 1~128
エクスクルーシブ		O	O	
コモン	: ソング・ポジション	X	X	
	: ソング・セレクト	X	X	
	: チューン	X	X	
リアル タイム	: クロック : コマンド	X O	O X	
その他	: オール・サウンド・オフ : ローカルON/OFF : オール・ノート・オフ : アクティブ・センシング : リセット	X X X X X	X X X O X	
備考		*1 MSBデータの04H以上とLSBは無視します。 *2 「パラメーターのリアルタイム・コントロール」のために設定された メッセージを認識します。 この機器のMIDI動作仕様を詳しく説明した「MIDI インプリメンテーション」(別売)があります。 プログラミング等で必要な場合は、販売店に注文してください。		

モード1: オムニ・オン、ポリ

モード2: オムニ・オン、モノ

O: あり

モード3: オムニ・オフ、ポリ

モード4: オムニ・オフ、モノ

X: なし

主な仕様

GT-6 : ギター・エフェクツ・プロセッサー

AD 変換

24 ビット + AF 方式

DA 変換

24 ビット

サンプリング周波数

44.1 kHz

プログラム・メモリー

340 : 140 (ユーザー) + 200 (プリセット)

規定入力レベル

INPUT : -10 dBu

RETURN : -10 dBu

入力インピーダンス

INPUT : 1 M Ω

RETURN : 220 k Ω

規定出力レベル

OUTPUT : 0 dBu

SEND : -10 dBu

出力インピーダンス

OUTPUT : 2 k Ω

SEND : 2 k Ω

デジタル・アウト

EIAJ CP1201、S/P DIF に準拠

ダイナミック・レンジ

100 dB 以上 (IHF-A)

コントロール

<フロント・パネル>

(PREAMP/SPEAKER)

タイプつまみ

ゲインつまみ

ベースつまみ

ミドルつまみ

トレブルつまみ

レベルつまみ

スピーカーつまみ

オン／オフ・ボタン

タイプ・バリエーション・ボタン

(OVERDRIVE/DISTORTION)

タイプつまみ

ドライブつまみ

レベルつまみ

オン／オフ・ボタン

タイプ・バリエーション・ボタン

(DELAY)

フィードバックつまみ

レベルつまみ

オン／オフ・ボタン

タップ・ボタン

(CHORUS)

レベルつまみ

オン／オフ・ボタン

(REVERB)

レベルつまみ

オン／オフ・ボタン

(WAH)

オン／オフ・ボタン

(EQ)

オン／オフ・ボタン

(FX-1)

オン／オフ・ボタン

(FX-2)

オン／オフ・ボタン

(MASTER)

パッチ・レベルつまみ

パラメーター・ボタン L / R
 イグジット・ボタン
 ライト・ボタン
 EZ トーン・ボタン
 ペダル・アサイン・ボタン
 アウトプット・セレクト・ボタン
 チューナー／バイパス・ボタン
 ネーム／ノイズ・サプレッサー／マスター・ボタン
 ユーティリティ・ボタン
 マニュアル・ボタン
 ナンバー・ペダル 1～4
 バンク・ペダル（アップ／ダウン）
 コントロール・ペダル
 エクスプレッション・ペダル
 エクスプレッション・ペダル・スイッチ
 パッチ／バリュー・ダイヤル

<リア・パネル>
 アウトプット・レベルつまみ
 電源スイッチ

ディスプレイ

16 桁 2 行（バック照明付き LCD）
 7 セグメント 2 桁（LED）

接続端子

インプット・ジャック
 アウトプット・ジャック L (MONO) / R
 ヘッドホン・ジャック
 センド・ジャック
 リターン・ジャック
 デジタル・アウト・コネクタ（コアクシアル）
 サブ・エクスプレッション・ペダル／サブ・コントロール・ペダル 1,2 ジャック
 MIDI コネクタ IN/OUT
 AC アダプター・ジャック

電源

AC 14 V：付属 AC アダプター

消費電流

800 mA

外形寸法

515 (W) × 261 (D) × 75 (H) mm

重量

4.7 kg（AC アダプターを除く）

付属品

AC アダプター（BRC-100）
 取扱説明書
 はじめにお読みください（チラシ）
 パッチ・リスト
 保証書
 愛用者カード
 サービスの窓口

別売品

フット・スイッチ：FS-5U、FS-5L
 エクスプレッション・ペダル：
 EV-5（Roland）、FV-300L + PCS-33（Roland）
 接続コード：
 PCS-31（Roland）（ステレオ標準プラグー標準プラグ x 2）

※ 0 dBu = 0.775 Vrms



ご注意!

製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

AF 方式

AD コンバーターや DA コンバーターの S/N を飛躍的に向上させるローランド独自の方式です。

索引

A

AC アダプター 11

B

BANK 10
BASS 8
BPM 46

C

CHORUS 9, 29
COSM 7
CTL 10
CTL ペダル 47 ~ 48, 59

D

DELAY 9, 28
DIGITAL OUT 11, 60
DRIVE 9

E

EQ 9, 32
EXIT 10
EXP PEDAL SW 10
EXP PEDAL SW ON/OFF 10
EZ TONE 10
EZ トーン 17

F

FEEDBACK 9
FV 46
FX-1 9, 32
FX-2 10, 35

G

GAIN 8

I

INPUT 11

L

LCD コントラスト 61
LEVEL 9

M

MANUAL 10
MASTER 46
MIDDLE 9
MIDI 70
MIDI IN 11
MIDI OUT 11
MIDI インプリメンテーション 71, 77
MIDI インプリメンテーション・チャート 71, 77
MIDI チャンネル 70
MIDI マップ・セレクト 69

N

NAME/NS/MASTER 10
NS 45

O

OUTPUT 11

OUTPUT LEVEL 11
OUTPUT LEVEL つまみ 13
OUTPUT SELECT 10
Output Select 12
OUTPUT ジャック 12, 14
OVERDRIVE/DISTORTION 9, 27

P

PARAMETER 10
PATCH LEVEL 8, 56
PATCH/VALUE 10
PEDAL ASSIGN 10
POWER 11
PREAMP/SPEAKER 9, 24

R

RETURN 11
REVERB 9, 29

S

SEND 11
SPEAKER 9
SUB CTL 1, 2 ファンクション 63
SUB EXP PEDAL/SUB CTL 1,2 11

T

TAP 9, 28
TREBLE 9
TUNER/BYPASS 10
TYPE 8 ~ 9
TYPE VARIATION 9, 17 ~ 18

U

UTILITY 10

W

WAH 9, 30
WRITE 10

あ

アウトプット・セレクト 14
アクティブ・レンジ 52
アサイン 49

い

入れ替え 23

え

エクスクルーシブ情報 71
エクスプレッション・ペダル 10, 12 ~ 13, 47
エクスプレッション・ペダル・スイッチ 47
エクスプレッション・ペダル・ホールド 62
エフェクト・チェイン 21
エフェクト音 24

お

オーバードライブ/ディストーション 54

か

外部エフェクター 60
カスタマイズ機能 53

カスタム 53 ~ 55

き

基準ピッチ 58

く

クイック・セッティング 19, 47

グローバル 59

グローバル機能 59

こ

コード・フック 11, 13

コピー 22

コントロール・チェンジ情報 70

し

システム・メッセージ 70

そ

ソース 51

ソース・モード 51

た

ターゲット 50

ターゲット・レンジ 50

ダイヤル・ファンクション 61

ダイレクト音 24

ち

チャンネル・メッセージ 70

チューナー／バイパス機能 57

チューニング 57

チューニング・ガイド 57

つ

つまみ 17

て

ディスプレイ 8, 16

デジタル・アウト 60

な

ナンバー 15

ナンバー・ペダル 10, 59

の

ノイズ・サプレッサー 45

ノブ・モード 62

は

パッチ 15, 22 ~ 23

パッチ・チェンジ 15

パッチ・チェンジ・モード 61

パッチ・ネーム 21

バルク・ダンプ 67

バルク・ロード 67 ~ 68

バンク 15

バンク・エクステント 61

バンク・セレクト情報 72

ふ

ファクトリー・リセット 74

フット・スイッチ 13

フット・ボリューム 46

プリアンプ 53

プリセット・パッチ 15

プリセット・バンク 15

プレイ画面 13, 16

プログラム・チェンジ・マップ 69

プログラム・チェンジ情報 70

へ

ペダル・アサイン 47

ペダル・エフェクト 20

ペダル・セッティング 47 ~ 48

ペダル・ベンド 20

ペダル・ワウ 55

ほ

ポラリティー・スイッチ 13

ま

マスター 46

マスター BPM 46

マニュアル・モード 56

も

モーメンタリー・タイプ 51

ゆ

ユーザー・スケール 39

ユーザー・パッチ 15

ユーザー・バンク 15

ユーザー・フレーズ 43

ら

ライト操作 22

ラッチ・タイプ 51

れ

レベル・メーター 60

わ

ワウ 20

エキスプレッション・ペダルの調整

本機のエキスプレッション・ペダルは、最適な動作をするように工場出荷時に調整してありますが、経年変化や使用環境によって、この調整がズれる場合があります。

「ボリューム・ペダルで音が完全に消えない」などの症状が現れたときは、以下の手順で再調整することができます。

1. **[PEDAL ASSIGN]** を押しながら電源スイッチをオンにします。

次のような画面が交互に表示されます。

EXP CALIBRATION
Set Pedal to MIN



EXP CALIBRATION
Press [WRITE]

2. ペダルを戻した状態にして **[WRITE]** を押します。

“--- OK ! ---” と表示され、その後、次のような画面が交互に表示されます。

EXP CALIBRATION
Set Pedal to MAX



EXP CALIBRATION
Press [WRITE]

- ※ ペダルを戻した状態にしていなかったり、ペダルの位置（傾き）が不適当な状態で **[WRITE]** を押すと、“--- Area Over ! ---” と表示されて次の操作に進むことができません。ペダルの位置を再調整してください。

3. ペダルを踏み込んだ状態にして **[WRITE]** を押します。

“--- OK ! ---” と表示され、その後 “press [EXIT]” と表示されます。

- ※ ペダルを踏み込んだ状態にしていなかったり、ペダルの位置（傾き）が不適当な状態で **[WRITE]** を押すと、“--- Area Over ! ---” と表示されて次の操作に進むことができません。ペダルの位置を再調整してください。

4. **[EXIT]** を押します。

“Checking data please wait...” と表示され、プレイ画面に戻ります。

MEMO



ボス株式会社
発売元：ローランド株式会社

G6017297